

新入生アンケート報告書

平成16年度版

高等教育研究開発推進機構

目 次

. はじめに	1
. 調査の概要	2
. アンケート回答	
総合人間学部	3
文 学 部	7
教 育 学 部	15
法 学 部	18
経 済 学 部	26
理 学 部	37
医 学 部	48
薬 学 部	53
工 学 部	55
農 学 部	76

．はじめに

平成15年度より京都大学の教養教育・全学共通教育を運営する組織として、高等教育研究開発推進機構が発足したが、その当初から、4月の冒頭の入学式直前に新入生全員を対象にして全学共通教育に係るガイダンスを実施することになった。このガイダンスによって、本学の「自学自習」を基調にした教育理念と、教養教育の目的や方法を学生諸君に十分に理解してもらい、高い志を持って勉学をスタートしてもらうことを期している。

ガイダンスに先立って、まず新入生諸君には入学にあたっての抱負を、さらにガイダンスを受けての勉学への期待を自由に述べるアンケートを実施している。このアンケートによって、学生諸君がどのような意欲・熱意や期待を持っているかを鮮明に知ることができる。またこれを毎年継続することによって、学生諸君の意識状況の時代による変化をも把握することが期待される。このアンケートは1年後の2回生進級時に成績交付と併せて各人に返却される。学生諸君はこれをもとに1年間の学習を振り返り、また学生諸君から見た教育の問題点・改善点をフィードバックしてもらうよう計画されている。

今後の貴重な資料としてアンケート結果は毎年報告書として蓄積しておくこととする。平成15年度の新入生アンケート報告書は、提出されたもの全てをそのまま掲載し、アンケート結果の統計的分析も実施したが、学生諸君の記述には相当数重複した内容があるので、平成16年度の報告書では、全てを掲載せず重複を避けて選択した記録にとどめた。

なお、アンケート結果の統計的分析については今後、数年に一度程度のサイクルで実施する予定である。

平成17年3月

京都大学高等教育研究開発推進機構

．調査の概要

1．質問事項

あなたの京都大学入学に際しての抱負を聞かせてください

- 1．あなたは、京都大学で、何を求め、どんなことに取り組みたいですか。
- 2．本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

2．実施方法

平成16年4月2日(金)～6日(火)の3日間に、高等教育研究開発推進機構が実施した全学共通教育にかかる「新入生ガイダンス」の際に記名式のアンケート調査を行い、全学部合わせて2,782名の提出があり、このアンケートは2回生進級時に各自に返却することとした。各学部の提出者は下記のとおり

総合人間学部----- 127名(提出率96.2%)

文 学 部-----215名(提出率96.0%)

教 育 学 部-----62名(提出率98.4%)

法 学 部-----300名(提出率89.3%)

経 済 学 部-----238名(提出率93.0%)

理 学 部-----283名(提出率93.7%)

医 学 部-----232名(提出率93.5%)

┌医学科---98名

└保健学科---134名

薬 学 部----- 83名(提出率96.5%)

工 学 部-----948名(提出率97.0%)

┌地球工学科--177名、建築学科--81名、物理工学科--233名

└電気電子工学科--131名、情報学科—95名、工業化学科--231名

農 学 部-----294名(提出率94.2%)

┌資源生物科学科--87名、応用生命科学科--48名、地域環境工学科--37名

└食料・環境経済学科--33名、森林科学科--57名、食品生物科学科—32名

．アンケート回答

総合人間学部（アンケート提出率 96.2%）

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（ : 男子、 : 女子）

正直自分が本当に何をしたいのかが決定できない。だからこの1年でいろいろな授業を聞き、自分がしたいことをまずはっきりと決めたい。したいことを決めた後でも幅広い知識を持てるようにしたい。そのために総合人間を選んだ。あと自分で自分の道を切り開きたい。

何を求めるかと言われるとなかなか返答しにくい。多少抽象的な答えが許されるならば、深く幅広い知識と、実践的な知恵、そして何かと役立つような人脈でしょうか。そのためには文理の境に拘泥せず、知的好奇心と本能の赴くままに様々なことを学ぶということでしょうか。

個人の自由を尊重しつつも、それでいて社会で共有できる価値観、道徳を作るために、その原理となる思想、哲学を古来からの思想を取り入れつつ作り出したい。

まずは情報を得たり他国の人と挨拶以上の会話をしたりするのに、十分な英語力を身に付けたい。またカリスマ性や気について学びたい。

体系的な知識を身に付け理系と文系の強みを生かした研究がしたい。出来れば環境に関わる研究がしたい。まずは勉強です。総合的な現代理解を目指し、かつそれを実用に生かすようにしたいと思う。国際文明論に先ず興味があり、他の分野の経済、環境、理学、心理、数学にも関心があり、今は浅く広くしかできていないが、出来るだけ個々の分野の深いところについていけるように励むつもりです。文武両道というわけではないが、部活にも入り、身体をある程度鍛えることもしていきます。アルバイトは勉強と部活をするならばそれだけで手一杯になりそうなのでしない予定です。また大学の授業での勉強に限らず、人や本から学んで行くつもりです。実社会、現実とのつながり、有用性の高いと思われるものから優先して勉強しようと思う。総合人間らしく、個々の分野間の研究、架け橋作りは理想的ですが可能性を探ってみたい。高校では取り組めなかったことに積極的に取り組んでいきたい。総合人間学部に入るからには、他の学部で取り組めないような幅広い分野を学びたい。私は特に心理学に興味があるため、深く心理学を追究していきたいと思っているが、それにとどまらない勉強がしたい。

今まで関わることのない専門的な学問を学び、視野を広げ、物事を多角的に見ることが出来るようになりたい。具体的には認知情報に関する知識を得て、人間の心理とコンピュータを連帯させた研究がしたい。

- ・多種多様な人々と触れ合うことで、新しい価値観を知り、それを自分のものにしたい。そのために海外に行くことを考えている。

- ・高いレベルの教育を出来る限り吸収したい。

私は2種類の学問を学びたい。

実生活に即した学問です。生きていく上で目標となるようなものを見いだせる学問をしたい。

前者とは正反対に、日常生活では見落としがちなものを見発見出来る学問がしたい。理論とか哲学とかはそればかり学んでも何の役にも立たないと思います。理論と実践をバランスよく体験していくことで、大学生活を手応えのあるものにしていきたい。

様々な分野の教養を身に付けることの出来る授業を提供してもらいたい。またそれらの中から特に気に入った分野を見つけて、その分野を専門的に研究していきたい。

- ・自然科学、環境問題について深く学習する。また様々な社会問題について学ぶ。そして学んだことを基礎に、これからの人間社会のあるべき姿について考えていく。

- ・課外活動にも積極的に参加していく。

文化的な見地からの人間の歴史と生物学的見地からの人間の特徴を考え合わせ人間の進歩の可能性を探りたい。(戦争はなくせるか、なくせないか。人間の行動にはフラクタルな図形(?)のようにパターンがあるのか。人間の基本的な性格からその集団の将来を予測する。等)

脳みそをフル活用させて賢くなれるような学ぶ環境を求めたい。交換留学をしたり、授業に力強くついていきたい。

僕は文系ですが、総合人間学部に入學して学ぶことで、理系的なもの見方も出来るようにして、一元的な考えにとらわれることなく、事物を捉えて処理していけるようにしたい。また法学部が第1志望だった

ので、国際政治や法律に関する内容に取り組みたい。

近年深刻な問題となりつつある地球環境問題に取り組みたい。学部の特長を生かして幅広い教養を持ち、視野を広く持って勉強していきたい。

僕の入った総合人間学部というのは他の大学ではほとんどない学部であるので、その点個性豊かな人間になれるような気がします。他大学では学べないことをどんどん学び、どんどん新しいことに取り組みで行きたい。

一定分野にとらわれず、好奇心・探求心の赴くままに実用に拘らず自由に教養を深めたい。よって大学側にはこのような環境を実現出来る環境を要求する。

勉強意欲を常に持ち、何事にも熱心に取り組みたい。でも頑張りすぎない。様々な考えを持った人達からいい刺激力を受けたい。

今はまだよくわからない。だが、アジアやアフリカに行って実際に現地の人と接しながら仕事が出来たらと考えているので、語学を極め、またその土地の歴史や宗教観・地理などを学びたい。

自分の興味のある分野（国際政治学）の知識を広げたり、留学生センターでの留学生との交流もしてみたい。京大にはきっといろいろな学問について世界に開かれている大学だろうし、あと友達をたくさん作り、サークル活動にも専念したい。学問についても日常生活についても自分の意欲さえあれば、かなり充実させることが出来る大学だと思っています。今の意欲をずっと持ち続けて頑張りたい。

自主性を身に付けることを求め、そのために必要と思われることに取り組みたい。

僕は自分について生や死などわからないことが多い。それらについてゆっくりと京都で考え、また自分がこれから何をしていきたいかを身に付けたい。

広い教養、その上で自分の学びたいことを深く探求したい。また新しいことに取り組み、友人を増やし、また自分の新たな一面を見出したい。そして卒業する頃には、立派に社会貢献出来る人物になっていたい。世界観を獲得し、社会的な難問を解決する方法を模索すること。そのために出来る限り見識を広めること。この世のすばらしいゲームに、そのゲームを作る人達に、そしてゲームたる現実に力を与え、大きな文化的発展をもたらす者に、私がそれらを行い、作り、また私がそれらに人を導く者の力となる“智”を強く求める。そしてその“智”を得るために、政治、経済、哲学、宗教、科学等の分野を問わず取り組もうと企んでいる。

幅広く様々な分野を学び、その中で一番自分がこれだと思える学問を決めて、一生かけて研究したい。だから大学ではしっかり学問に取り組みたい。またいろいろな考えを持っている人と知り合いたい。

語学をしっかりと身に付け、自由な環境の中で、自分が専門とした学問を学びたい。特に、総合人間学部では、主専攻、副専攻で、広く専攻することが出来るため広く学んでいきたい。

私は人間の営み（集団としての人間、個人としての人間の双方）というものを様々な視点から見つめてみたいと思っている。例えば経済、人間の社会を動かしてきたのは、歴史的にみて政治ではなく経済だと思う。政治は多くの場合一部の少数者の動きを表すに過ぎず、人間全体（主に庶民）を動かしてきたものは経済である。人間の歩んできた歴史を経済の視点から捉えることの重要性を今感じている。また生物の一種としての人間という視点も大切にしたい。いかに人間を特別視しようと、人間が生物の一種であることは疑いなくもっともその生物の定義をしたのは他ならぬ人間だが、私は人間の営みを他の生物と比較することなどにより、また別の視点から人間の営みを探求していきたい。私がこの目的を実現する場所として、京都大学を選んだのも、総合人間学部という学部があるからということもあるが、主として、ここには多種多様な学問が数多く揃っているからである。またこの風にも共鳴する部分もあるからということも言えよう。

レブイ=ストロース、仏教、シャーマニズム、この3つを大まかな軸として文化人類学の勉強に取り組みたい。

学業面では、当学部が掲げるようにジェネラリストを目指したい。広く深くあらゆる分野で十中八、九修得出来たらなあと思う。友人の面では、互いの長所を認め合い、短所を補いあえるようななれ合いの「親友」ではなく、生涯つきあえる「真友」を得たいと思う。人格の面では、自分の前に出て行く性格を伸ばしつつ謙虚さをしっかりと身に付け、誰にも認めてもらえるようになりたい。そして本当の自分自身に出会いたい。

- ・国際社会で通用する英語力を身に付け、日本文化の代表地である京都で、世界の文化と日本の文化を理解する。
- ・幅広い人間関係を築く。

求めるものは環境。大学の体制や大学内での人との出会い。人との関わり等全てをまとめて環境と呼んで

いる。密度の濃い時間をより多く過ごすため、また不可能だったことを可能にするための力を付けるためには環境が必要だ。取り組みたいのは、様々な知に触れること。様々な人と接することそして、密度の濃い時間を過ごすこと。

将来責任ある地位についたときそれにふさわしい知性、身体的、精神的な強さを身に付けているように自分を訓練したい。

まだ将来やりたいことを決められていないので、学校の先生から京都大学の総合人間学部はおもしろいとアドバイスしてもらい、自分のやりたいことを見つけようと思っている。授業を受けていくうちに、自分の興味をひくものを見つけとことん勉強したい。またいろんな人と交流したい。

自分の本当にやりたいことを見つけるために総合人間学部に入ったので、出来るだけ多種多様なことに取り組んで行きたい。また海外経験を積んで、より総合的なモノの考え方を身に付けたい。

コミュニケーションを勉強し、あらゆる活動において障害となるコミュニケーション上の問題(言葉によるものだけではなく、物理的な接触なども含める意味でのコミュニケーション上の問題)を解消する術を勉強したい。またその知識を生かして、マスコミやアドバタイズメントの有効な形を探したい。

将来的には研究職に就きたいと考えているため勉学に励むつもりです。自由の学風と呼ばれている本学において、なお一層様々な考えを持つ学生、教員が多いであろうと思われ、本学部を受験した。この大学で様々なひとのそれぞれ異なる考えに触れ、同じ考えを共有できる。あるいは本気になって論を戦わすことの出来る友人や師を見つけたいと思う。そうしたつきあいを通し、自分の考えをより具体的で明確なものにし、夢を実現するつもりです。

将来はイベント企画、雑誌編集、番組製作などに関わりたいと思っていますが、まだ興味の範囲が広いので、いろいろなことに取り組みたいと思っています。「何かを作りたい」とは強く思っているのですが、「何を」「何のために」作りたいのかを定めたいのです。一方いろいろと手を出したけれど、結局何も残らなかったということがないように手段としての語学力、パソコン能力を高めておきたい。特に英語が好きなので話せるようになりたい。専門的に学びたいことが見つかったら留学もしてみたい。あまりに将来に対して漠然としたイメージしか持っていないので正直不安ですが、今は可能性がたくさんあるので、あせらなくていい。学ぶ意識をしっかり持っていれば大丈夫だと自分に言い聞かせています。2年くらいして、「専門にいとけばよかった...」と後悔しないようにしたい。

自分の興味のある分野はもちろんのその他の様々な知識も身に付けた視野の広い人間になりたい。自分の目標を常に見失うことなく、部活動や友人との交流も大事にしてたくさんの人と関わって行きたい。特に興味があるのはブレインサイエンスで、総人で学ぶのが最適だと聞き、積極的に取り組んで行きたい。

新しいことを知りたい。知識は勿論いろんな人や考え方、ものの見方など、とにかく新しいことに触れて自分の世界を広げたい。だから講義も勿論楽しみですが、多くの人との出会いも楽しみです。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

専門だけではなく教養を身に付けられる様なことを学びたい。

まずは各外国語をその言語による文学を理解出来るようになるくらい修得したい。それから現在の複雑な社会情勢をある程度把握出来るだけの社会的素養(?)とか各種科学雑誌に発表されるような最新の研究成果を理解できるセンスとか、...

教養とは人間の背負っている歴史、文化を個人のうちに取り入れることと思うので、役に立つといった目先の利益にとらわれず、哲学、宗教、言語学、経済、法、数学、物理、生物など幅広く学びたい。

高校で触れてこなかった哲学や社会学などの科目や京都大学以外ではあまり受けることの出来ない霊長類学の講義など。

専攻する学問とはおそらくあまり関連のない自然科学分野を自分の幅を広げる気持ちで学びたい。

理系で受験したので、文系科目に重点を置いて、そしてこれまでの理系科目も発展させるようにバランスよく履修していこうと思う。特に様々な土地、時代の思想や言語の理解を深めたい。

自然科学については基礎と現在の研究の先端との差が大き過ぎるようなので、非常に学習が難しい。

社会学とか経済学とか社会の仕組みについて学んでみたい。理系に進みたいので今のうちに人文系のことをたくさん学びたい。

専門教育をいくつか選択しなければならないのですが、これが一番大事だと思います。直接的に、職業に

結びついてくる専門科目を勉強することは、教養科目を広く勉強することとは矛盾しないと思います。小テーマはいくつか考えているものの専門は決めていないし、興味を持ったテーマから攻めていきたいとします。そのための基礎となる教養科目を幅広く勉強することは、十分に意義のあることでしょう。また様々な分野の本を読むことも教養教育の一環になると考えています。

ガイダンスを受けて今まで資料をみても理解できなかったことがわかりました。総合人間は理系で受験したのですが、大学では主に文系科目を学ぼうと思っていました。しかしガイダンスを受けて数学や物理などの知識もつくように履修方法を考えたいと思った。

文理や学部などにとらわれず自分の興味があるもの、将来の役にたつようなものを学びたい。

本当にいろんなことを学びたい。毎日同じような生活を続けていくうちに、気がつかないうちに視野が狭くなったり、小さなことに固執して、重要なことを見逃しているのではないかと思います。だからたくさんを知りたい、学びたいと思います。

理科系の科目は出来るだけ避けようと思っていましたが、いろいろ選択してみようと思った。

一見異なる事物にも「原因 結果」の現れ方に共通点があるように感じます。異なる科目の学習を通じて、このことを確認し、更には未経験の事物に対して、その共通点を生かしつつ学習を進めたい。そして、そのことを後の人間に伝えられるよう学びたい。

何を専門とするかは別にして、少しでも多くのことを学びたい。

ガイダンスを受けて、高校では選択しなかった科目で多少の関心のある科目についても中途半端にならない程度で授業を受けてみようと思った。ただ、自分の進みたい方向にあるような内容と共倒れにならないように気を付けていきたい。

機会は十分過ぎるほど与えられているので、それを生かしていきたい。環境学に関するものを中心に履修していきたい。

将来自分がなりたいと考えている職業に関係していること以外の分野にも幅広く学んで行きたい。

京大は学部だけに縛られず、いろいろなことを学べるので、1つの学問に拘らず様々なことを学びオールマイティな人間になりたい。

情報の洪水に溺れてしまいそうです。

自分は文系なので理系の分野は不得意だし、自分には無意味なものであるからできるだけやりたくないと思っていたが、そういう分野を学べる機会は社会に出てからはおそらなくなってしまうだろうし、卒業生の方が文系も自然科学の分野をやっておくべきだと書いていたので、そういう分野にも積極的にとり組み幅広く物事を考えられるような人間になりたいと思った。

将来選択したことに価値を感じられること。

文系関係を専門にしようと考えているが、偏った知識にならないためにも出来るだけ全分野、中でも自然科学系を学びたい。

専攻する分野とは異なるものを積極的に学習するとともに、専攻分野を学ぶにあたって基礎体力となるものを学びたい。

外国語をしっかりやりたい。英語は今は読むのは少しは出来るけど会話は全く出来ないの、会話や発音に力を入れたい。フランス語も使えるようになりたいので頑張りたい。

全学共通科目では、文系、理系に拘らず広い範囲から科目を学んでいきたい。

受験勉強とは離れて、ある意味気楽に、興味のあることを意欲的に学びたいと思う。学ぶことによって何か新しいものをつかめるようなことを学びたい。

丸山先生、林先生ともに教養教育の重要性を説いておられたが、私はそれをもちろんのことであると認識している。私は元々貪欲で、選択肢を示されれば、「あれも、これも」と応えることもあった。(言い方を変えると優柔不断) 幅広い学問に触れることで様々な学問の視点から人間の営みも探求していきたい。その際には私に不足している自然科学は欠かせない。また外国語に関してはあまり重要視していない面がある。だが、これから学んで行く中で、その意義を考えていこうと思う。

後悔しない4年間にしたい。

具体的には高校時代に興味があった数学、世界史を、そして大学だからこそ学べる学問、高校時代やれなかった学問を学びたい。

受験勉強で大嫌いになった数学と物理、でも本当はおもしろいのかも知れない。「教養」というものは自分で分野をしぼってしまうべきものではないのかも知れないと思った。人文、哲学、政治以外の科学も学びたい。

- ・様々な分野の知
- ・選択肢が多い中で何をすべきか。
- ・第一線で研究する人達の人柄、雰囲気
- ・その他学べるものなら何でも。

真の意味で、学問的な興味をかき立てられました。文系にとって自然科学分野にふれることが如何に大切なことか、如何に興味深いことかを知りました。教養科目とは、自律的な人格個人が多角的な視野を持つてものを考えるのに必要な教養を培う、大学教育の核心的なものだと思った。

自分ももっぱら文系科目にしか興味がないが、無理をしてでも理系科目を取った方が良いと思った。

ほぼ自由に科目を選択できるので、自分の興味をひく科目を積極的に受けたいと思った。またこれからの時代はやはり言語が大切だと思うので頑張りたい。

世界を救うには教育なのでしょうか。

一生ずっと学び続けてもわからないような深い学問に足を踏み入れてみたい。

教科に拘らず自分の頭で考えること。

1回生のうちは文系、理系にかかわらずバランスよく学びたいと思った。

専門的な勉強だけではなく人間性を豊かにするという点で将来役に立つような勉強を幅広く学びたい。

様々な分野に触れることの重要性を感じた。

各分野の基礎と今をときめく分野（バイオ等）の先っぽぐらいはかじりたい。

幅広い分野の学問を履修したい。自分は文系で総人を受けたのだが、副専攻では理系系統を取ることも考えているので、B群科目や高校で取らなかった分野も積極的に履修していきたい。全学共通科目である程度専門的なことまで学べるのは非常に有り難い。

高校を卒業してやっと嫌いな数学から解放されたと思っていたが（当然ながら物理なんてとんでもないという気だった。）文系学生にこそそういう教養が必要なのかもしれないし、考えてみれば、そういうつもりで総人を選んだのだから、自然科学系の科目にも是非挑戦してみたい。

「メディア」という言葉に興味があります。絵や音楽の製作に興味がありますが、一方で「こういうことは楽しいけど、何かのためになっているのか？」と思っているので芸術論を取りたいです。英語でする授業をとってみたい。尊敬出来る先生にあいたい。

文系、理系をバランスよく取ってみたいと感じた。そして自分は特に外国語に力を入れたい。また質問して学んで生きたい。

主に自然科学を学びたい。またポケット・ゼミにも参加したい。

今話題の社会問題に対する素養やそれらに対する一定の知識を持っているという自信を養いたい。

自分の専門にしたい分野だけではなく様々な学問に触れ、知識を豊かにしていきたいと思った。総人理系で受験したが、総人の学部的特徴を上手く利用して文系科目にも積極的に取り組みたいと思った。

外国語は自分の選択した2科目をしっかりとやろうと思う。文系だけど数学や物理にも挑戦してみたいと思う。欲張って自分が取った授業にでれなくなるのはいやだから、自分の出来る範囲を考えて1つ1つをじっくり取り組みたい。ちゃんと教養のある人になれるよう頑張る勉強したい。

英語とイタリア語、あとは日本史関係と建築等の理系のもの。文系も理系も適度に選び、後々まで残る知識と教養を持ちたい。

広い分野のことを学びたい。高校で出来なかった物理はぜひ学びたい。文系科目から今までとにかく目を背けてきたが、ぜひ学んでみたい。理系とは違ったものが発見出来るのではないかととても楽しみです。

今はとにかくワクワクする。早く授業に出てみたい。

受験になかった科目、もしくは魅力を感じなかった科目に再度挑戦したい。

全学共通科目っていうのは、総合人間学部にとって基礎となる部分であると感じた。大切に幅広い分野をきっちり学びたい。

文学部（アンケート提出率 96.0%）

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

文学部だけではなく、他学部の人々と交流、意見交換することを通して自分の考え方の幅を広げたい。

文学部で学ぶことは実社会とのつながりが薄いといわれるが、世間的に非生産的だと言われる教養と実社会とを結ぶ術を模索したい。

日本史（特に古代、中世）や日本、中国の古典文学などに興味があるので、それらの学識を深めたい。また一般の図書などから得られない知識を得たい。英語の語学力をつけて翻訳が出来るようになりたい。深い学識や考えを持った教授や講師の方々と話す機会が欲しい。

「知的好奇心を震わせてくれるアカデミックな何か」が欲しい。具体的に言うと、古文に興味があるので、和歌の解釈を時間をかけて万葉集のところとかは背景を含めて学んだり（高校までは少量しかやらないので細やかな人物関係がわからない）授業ではやらなかった江戸時代の庶民の文学をやりたい。あと歴史（日本）も詳しく知りたい。その他おもしろい講義があれば分野を問わずやってみたい。

思考に筋を通す。

第2、第3外国語の修得、現代社会における世界情勢、各国史等浪人時に興味を持った分野についての知識を深めたい。特に将来歴史を教える仕事に携わりたいので広く歴史を学んで行きたい。

自分が選んだ文学部は、他学部のように将来の職業に直接繋がるものではなく、教養的、学問的だという認識でいる。自由な学部のものであるから心ゆくまで自分の知的好奇心を満たしたい。しかし、いずれ社会に出ることを考えれば、他学部出身の専門知識を持つ者に負けぬよう他学部の知識も積極的に取り入れつつ、「なんだ文学部出身か。実生活で何の役にも立たない人間」等といわれぬように勉強したい。

高校と違い自分の時間を自分の好きなように使える大学生になったので、自分の好きな語学を時間を気にせず追求し深めたい。他の分野も見聞して実際の世界にも目を向けて政治や経済を理解したい。また他にもない京大で学べることを最大限活用して学べるだけ学びたい。1日、1ヶ月と自分の中の進歩が確認できるような充実した生活を前向きに送りたい。大学生活の中で最も大きな目標である留学をし、その国の言葉で文学や文化を研究したいという夢を常に忘れず実施させるつもり。

将来国家公務員になりたいので、語学は勿論国際人としての教養を身に付けたい。

古今東西の名著に触れ、文理を問わず様々な学問を履修することによって、深い教養を身に付けたい。

真剣に打ち込めるものを見つけたい。歴史関係に興味を持っているので、その分野を詳しく勉強したいし、語学など将来役立つ学問分野にも挑戦し、幅広く学問に取り組みたい。

教養を高め、よりよい人間となること。またよりよい価値観を見出し、自分を含めた人間を幸せにする。そのために外国語、古典、歴史を学びたい。

- ・幕末史を深く勉強したい。
- ・日本人の本質を考えるような学問がしたい。
- ・演劇・映像に関する勉強がしたい。
- ・自分とは異なることに興味を持っている友人がたくさんほしい。
- ・サークル等でやったことのない活動をしたい。
- ・教員免許の取得

考古学という自分が探求したい学問において、京都という地の利が十分に活かされたことを学び取りたい。自分から動かないと得ることは難しいようなので、積極的に大学側を利用するような気概を持っていこうと思う。また積極的な態度に対して、多くのことで応えてほしい。

伝統ある学校において、文学の勉強がしたい。恵まれた環境にあるので、もっと実習的なこと、例えば小・中学校における読書実態あるいは読書が及ぼす影響など教育に関する方面にも興味があるので、取り組みたい。

- ・学生が様々な活動を自由に行えるような環境を求める。
- ・受験勉強のような知識を詰め込むだけのものではなく、より深い学習に取り組みたい。

中国史、中国文学に興味があるので、中国語を学び、中国の歴史書や小説の原文を読みたい。また物理学なども学んでみたいので、文系、理系という考え方を捨て幅広い教養を身に付けたい。

- ・児童心理と美学について学びたい。
- ・多くの先生、友人と出会いたい。
- ・子供の芸術的感覚を育成する教育の在り方を模索したい。

世界史の遊牧民族史に特に興味を持っています。そのため東洋、西洋などの枠にとらわれず幅広く言語を習得したい。第2外国語としての言語以外にも全学共通科目の中や留学生センターでの取り組みに参加して知識を広めていくつもりです。また在学中に学芸員の資格を取りたいと考えています。

受験勉強においては当然のことながら自分の好きなことだけを学ぶことが出来なかった。従って大学にお

いては興味のある学問には何でも挑戦したい。様々な分野を一通りであっても学ぶことによって人間としての幅が広がり、教養も高まると思う。また大学は人と触れあえる貴重な場であると考えている。授業は勿論サークル活動を通じより多くの人と出会い、影響を受けたい。

語学力を高めたい。まともな社会人になるため様々な教養を身に付けたい。

自分が本当に納得し、また自ら発展させうる知識と慎重にかつ明確に判断でき、進んで行く中で新しいものを発想出来る精神。

自分が一生を通じて探求、追求すべきものは何か。またその探求手段の模索。

良い友、より高次元な学問に触れることを求め、出来る限りいろいろなもの、ことを見聞し、視野の開けるようにしたい。そのために見慣れたものにだけ安住するのではなく、触れることが出来るようものには何でも取り組みたい。

美術史、美学に関する総合的知識と考え方を得て、自分にとっての美術（芸術）の在り方を模索したい。

その他語学や表象文化について学びたい。

- ・ 選択した語学を身に付け、気軽に口にできるようにすること。
- ・ 様々な考えを持つ人たちと関わるようにすること。
- ・ 自分の関心をひくようなことを多く見つけること。

高校時代に興味を持った古典を学びより深く日本古来の作品に触れたい。またそれら古典作品を通じて昔の人々の考え方や生活などを知り、今とどのように異なるかなどのあるところを通じるものがあるのかを学び、現在の日本の文化について考えてみたい。サークル活動やその他の活動にも取り組み様々な友人と知り合いたいと思う。大学生生活を通じて自分の視野を広げ充実した4年間を送れるよう頑張りたい。

幅広い分野における知識を深めたい。そのために授業をしっかりと受けたい。あまり興味のない理系科目の授業も多く取りたい。

哲学、心理学に興味がある。その他いろいろな分野にも挑戦してみたい。教養を深め、人や話や文章で納得させられるようになりたい。また運動部（柔道部）に入って、心身共に鍛えようと思う。そしていろんな人脈を築いていきたい。

具体的なことは決めていないが、学問をして考えたり自分の考えを表現して、自分の欲しがっている答えを見つける。又はそれに通じる道筋のようなものを見つけてしっかりと自分の意見や考えを持つ人間になりたい。

自由な環境の中だからこそ、自分が何をやるかが問われると思う。高校とはくらべものにならないほど様々な人間関係を築いたり、深く学問できればいいと思う。

心理学に興味があり、また将来心理関係の仕事に就職することを希望している。そのため私は京大で心理学の基礎から様々な分野の心理学、例えば社会心理学や発達心理学といった細かい分野までの総合的な学習に取り組みたい。その際京大には心理学に関する高いレベルの知識や情報を提供する講義、更に自学自習に取り組みやすい環境や気軽に質問が出来る環境を求める。

現代史（20世紀のドイツを中心に）を学びたい。大学4年間でドイツ語を使いこなせるようになりたい。またドイツへ交換留学したい。

小学生の頃から「本を書くこと」にあこがれていて、毎日ノートを言葉で埋めていたが、それらはどれも自分の読んだ本の焼き直しに過ぎなかった。幅広い世界に触れ、そこで得た感動を人に伝えられるような小説を書いてみたい。また美術や音楽の歴史、言葉の変遷などを深く勉強したい。文系学部には進んだが、科学にもちょっとは興味があるし、出来れば化学の勉強をしたい。

教養を積んで得た知識を素にしてしっかりと自分の考えや信念を持つこと。物事の一面性や外見に惑わされずに本質を見抜く目を持つこと。様々な人の意見を聞き、理解を示すことの出来る寛容さを持つこと。

いろいろなことに興味を持って積極的に勉学に取り組みたい。中でも中央アジアのイスラム地域について詳しく学びたい。大学で得たものが後々社会に出てから役に立つような勉強をしていきたい。

生きることにおける意味、目的をはっきりさせたい。そのために先人の遺した知を学び、自分の考えを加え納得出来る答えを見つけたいと考えている。学生の間には解決し得る問題ではないかもしれないが、少なくともその足がかりとなるようなものを得たい。

自分が興味を持てることを見つけ、それにとことん取り組みたい。まずは何でもやってみて、自分の興味の持てることが何かということを知りたい。

第一の具体的な目標は、第2外国語（ドイツ語）を使いこなせるようになること（英語はもちろんのこと）

そのために語学の授業について予習、復習を欠かさずしっかりと学び取りたい。大学生活全体を通しての抱負は、正しい知識を広く身につけること。そして物事に対して深い理解が出来るようになりたい。また誤った知識から生じる偏見を無くしていきたい。

様々な語学を学べる環境(教員,専門書(入門書)、また自分の専門以外でも幅広く教養を学んでいける環境
神代史の研究

具体的なビジョンはまだないが、今まで満たされなかったあるいはここに来て芽生えた知識欲を満たすべく努め、またそうなることを期待したい。

良い生き方を模索するため、本物の知識・教養を身に付けるとともに、人間性を高めたい。京大は西田哲学などが名高いので、“できれば”哲学について深く学びたい。

生きるとはどういうことかを考え、自分の確固とした思想を持ちたい。刺激を与えてくれる友人、教授と親密になりたい。

小中高ではやれなかった純粋な学問をしたい。例えば哲学や数学のような日常と切り離されたもの。まずは基礎的なことをしなければならぬだろうけど、やがては本や人の言葉の引用をせず、自らの頭で考えられるようになりたい。

生徒の要望などに迎合し自分の方針を曲げることのない教授の「生きざま」ともいえる授業を求め、理解出来ない授業があれば、更にやる気をもって積極的に取り組むなどの姿勢で、将来必ずや役立つであろう考え方や言葉を中心に幅広い教養を身に付けたい。

文学部では倫理か英語を学びたい。経済学にも興味があるので学びたい。

日本史を学ぶことを通して、過去の日本の姿を正確に知り、その上で現在の我々の在り方を考えたい。また学芸員、教職の資格取得にも取り組みたい。

京都大学で自分を磨く。社会に出る前の最後の贅沢として4年間を過ごし、教養ある人になるために多くのことを吸収したい。京大ではこれまで学べなかった分野の学問に取り組み、私が今いくつか持っている選択肢を1つに絞り、自分がこれから何にかけるべきか、何をすべきかを見つけ、自分を育てることに全力を注ぎたい。又広く交流を持ち、全国に友人がいるような関係を作っていきたい。

- ・幅広い知識の獲得
- ・意識の高い友人との交わり
- ・興味ある分野の知識とその周辺の知識
- ・自分の人生と向き合い、自分自身の“幸せ”を追求していきたい。

京都大学という環境・学友・教員に恵まれた場で、学問に真剣に取り組むことにより、自分なりの新しい世界観を形成していきたい。勿論ただ大学に来て、講義を受けているだけではダメで、自分から前向きに取組み、それを構築していきたい。様々な人間・書物と出会って大いに聞き、語りたいと思う。周囲のあらゆるものを取り込みながら自分で考えて、行動することを1番大事にしていきたいと考えます。自分のこれからを決定したい。「世界」を変えるような大きなことがしたいと、中学生ぐらいのころから漠然と思っていたが、そのためには「世界」がどうなっているのかをわからなければならない。だから様々なことを勉強して、様々な人と触れあい、「世界」に対する理解を深めたい。僕は浪人生活を通して「人は努力することによって変わることができる」と信じるようになった。大学生活を真剣に過ごして、卒業する頃には今の自分よりもはるかにすばらしい人間になりたい。

私は、なぜ、どのようにして人間が現象の遠い(生物・無生物の見分け)を行うのか、また人間にそう認識させるものの根幹は一体何なのかを知りたいと思っています。自分が学問という体系を通じて、それに関する多くの人々の考えについて、少しでも学べればいいと思っています。

美学を勉強したい。音楽学にも興味があり、今はまだ分野を特定せず、広く芸術分野に興味がある。サークル活動ではオーケストラに入り、中学から続けているホルンを頑張りたい。

- ・自分に否定できないものを探したい。
- ・満足した豚と不満なソクラテスとでは本当はどちらが幸福なのか知りたい。
- ・同じ知覚の産物に過ぎない「現象」と「空想」の間で、なぜこれほどまでに我々自身に与える影響力において差が生じるのか知りたい。

求めるもの・・・わかりやすい授業、おもしろい授業、文系にも理系の、理系にも文系の授業をわかりやすくしてほしい。

取り組みたいこと・・・美術史、文化人類学、民俗学、博物学など興味を持っている分野の知識を深めたい。

広い範囲の学習の中で、現在の世の中の問題点を見つけ、それに対する解決方法を探りたい。またヒトと他の生物とのよりよいつきあい方を探りたい。

人生の無意味さについての諦念を確立する（決してネガティブではなく）、世の中の欺瞞生に対して注意深く自分なりの人生観・世界観を確立して自覚的な行動が出来るようになりたい。そのためには先ず諸学に触れ、様々な世界を後は学問をすることでいろんな感動を味わいたい。

伝統ある大学で蓄積されてきた歴史学の知識を得たり、恵まれた学習環境のもとで、語学力を向上させたりすることなどにより、世界に通じる幅広い教養を手に入れたい。又与えられた課題をきちんとこなす「優等生」であるだけでなく、自分、日本ひいては世界をとりまく状況から問題点を自分で見出し、それを解決できる能力を養いたい。

一作品、一表現にこめられた筆者の意図を客観的に読み取る力を身に付けたい。また一方で主観的視点から主観的視点を超えて想像力を発揮させ、幅広い解釈を論じ合いたい。他に語学とは別に、高校とは違った奔放な大学生活の中で、自分の行いに責任を持ち、他に依存しない独立した存在として社会の中で生活できるよう幅広い教養及び協調性を獲得したい。

大学卒業後も使える教養を身に付け、様々な困難に立ち向かう精神力を身に付けたい。

最新の情報機器や交換留学生等の国際性豊かな優れた環境の提供を求める。そして、自分が今までに経験したことのないことや、学んだことのない学問に取り組もうと思う。

自分の興味あることを極限まで深く探求できる環境。当初は自分の専修分野を確定せず自由なスタンスで様々なことに取り組む所存（2回生以降はまた違った方法で進める。）

・フィールドワークなど実際に現地へ行って民俗学のようなことを調査したい。

・卒業したときに社会人として必要な法学のことなどを習得していきたい。

今までは受験のことを意識してきたので、自分のやりたい勉強をする。今アンケートを書かされてみて、具体的な内容が思いつかないので、来年の今頃に何をやっていたかわからなかったということのないように努力しようと思う。

文系、理系の枠にとらわれずいろいろな分野の学問に親しみ、自分なりに世界観を構築していきたい。将来やりたいこと、方向性などが決まっていないので、大学で様々なことをいろんな方向から学び、やりたいことを探していきたい。京大では興味を持って取り組み、本当に多くのことが学べるのではないかと期待している。大学生活を通して高い教養を身に付けていきたい。

学ぶことを楽しみ、その中で世の中の役に立つ知識や技能を身に付けたい。

自分の将来の目標に到達するために必要な情報や幅広い学問の知識を求めて入学した。大学では学問を中心に取り組みたい。

日本語力、外国語能力、国際交流、国際性、他国文化研究、メディア処理

さまざまなことを経験して自分が一生をかけてやろうと思えることを見つけたい。

自分の力を最大限伸ばせる機会。自分の意見をしっかりと述べられるようにしたい。

専門として学びたい事柄はもちろん、疑問や興味を抱いた事柄に対して幅広く追求したい。具体的には文学に関する勉強はもちろん、演劇を通して人間の感情や会話に意義を見つけたい。また身近な問題として、老人介護、琵琶湖における生態系と環境についても学びたい。そしてあらゆる知識、体験、感情をもとに、文を書きたいし、高校の頃から詠み続けている短歌の創作などにも生かしたい。

1. 健康な生活の中での能力の発揮、2. 生活力の向上、3. 論文の作成を求め取り組む。

“文学部”という枠の中にとらわれず自分から様々な手段でアプローチしていきたい。京大という環境は、学系の範囲が広く、その意味で非常に臨機応変であると思うので、ずうずうしいくらい活用したい。また仙台から初めて関西に来たので、全くの新生活だが、開放的な目を持って積極的に友人関係を開拓していきたい。

正直言ってまだわからない。今までの自分は特に目標もなくただ生きてきたので、大学に入って何をしようという考えはない。むしろそれを見つけるためにこれからの大学生活を送って行こうと思う。

外国の文学に興味があるので、英米文学だけでなく、第二外国語として学ぶドイツ語を活かしてドイツ文学に触れたい。また中世ヨーロッパにも関心があり、文学だけでなく歴史的背景等についても理解を深めたい。

現段階では言語学に興味があり、その分野の学術研究に触れてみたい。また文学部という環境の中で語学を広く学び、自らの視点を広げたい。文学部は社会的有用性の点で、他学部より劣っていると見られがちだが、あえて文学部で学ぶことがらを社会に還元する手法を考え実践したい。

私は日本史や考古学に興味があるので、古文書を読んだり、発掘に参加したりして、教科書を読むだけではわからない研究の面白さを感じたい。他にはサークルに入って、いろんなことをやっている友達を作りたいです。

自由な校風の中で、自ら自主的、主体的に学問に取り組み、社会に貢献出来る人間になれるように努力したい。そしてそれを達成するための更なるいい学問できる環境を整えてほしい。

自分がかねてから学びたいと思っていた西洋史学(ドイツ史)を学びたい。それに加えて全学共通教育を通して幅広い教養を身に付けたい。また部活やサークル、友達関係を通して、良い人間関係の構築を目指したい。そして、自分の将来についてじっくりと考えていきたい。

私は京大で、自分を刺激し成長させてくれる興味深い学問と人間との出会いを求める。私は将来これになりたいからその手段として大学に行くのではなく、大学で学び、生活することそれ自身が目的とっており、将来就く職業はその延長だと思っている。だから今までに考えたこともなかったようなことや、触れたことのなかった学問を学び、人間的成長を図りたい。視野を狭くせず、様々な角度から学問を学びたい。文学部は広く様々な内容が含まれているので、この学部を志望した。

何回生になっても、学部や専攻にとらわれず、専門以外の科目も多く選択できるような余裕が欲しい。せっかくの総合大学だから他学部の内容にも多く接して様々な角度で物事を捉えられるようになりたい。

第一の目標は、しっかりと議論の出来る人間になることです。その為に多くの本を読み幅広く勉強し、専門分野を究めて行きます。またレベルの高い友人と思う存分語り合い刺激されたいと思っています。学問の自由と自らが取り組む学問に対する大学の健全なサポート、国際的に活躍出来る文学の研究者になること。異質な者とのコミュニケーション。「現代」の超克。

哲学や宗教、あるいは各時代の人々の生き方を追うことで、人間の本質、生きることの意味について考えたい。ものを読み、書く修練を重ねて言葉をより適切に使い、自分の考えを否めない形で伝えられるようになりたい。

総合大学で様々なことを学び、自分がやりたいことを見つけて行きたいと思っています。また京大での人との出会いも大切にしたい。自分が学んでいる分野と全く異なることを学んでいる人と話が出来る環境にいるということは、とてもうれしいし、楽しみです。いろいろなことを学び、様々な視点から物事を見ることができるようになりたいと思っています。文学部では、具体的には美学を学びたいと思っています。また部活動にも参加し、大学生活を楽しみたいです。

私は歴史を学びたいと思って文学部に入った。時は順々に流れ、その中で歴史は積み重ねられてきたが、あえて言うなら「私」という存在も、「その他大勢」に含められてしまうかもしれないが、「歴史」と成り得る。昔の人だってその時を生きていたに過ぎないはずだ。私達はそれを「歴史」と呼んでいく。この不思議を念頭に置きながら様々な視点で学んでいきたい。

レベルの高い知識の提供を求め、教養の研磨に取り組みたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

文系の人間がおろそかにしがちな自然科学分野

自分の好きな分野だけでなく、苦手な分野も幅広く学んで行きたい。自分という人間を形成するための重要な機会であるので、その時その時を大切にしていきたい。

いろんな意味で視野を広げる機会としたい。

幅広い知識と豊かな人間性を身に付けたい。理系の分野にも挑戦したい。

共通教育は非常に楽しみにしていたので、ガイダンスを聞いてこれといった気持ちの変化はないが、B群の科目にも目を向けてみようと思った。とりあえず今は早く授業を始めてほしい。

高校生時代に手を付けられなかった分野に手をつけていきたい。(理系の分野など)またグローバル社会に適応出来るように国際的なことを学びたい。

他学部の学問というところで、理系分野までを学べるということだから、積極的に学びたい。といって雑多に手を出して中途半端な「器用貧乏」となるのではなく、ガイダンスで会った「総合的に広い視野と多様な感性を持つ人格」を目指したい。自由について「な」と「の」の違いを感覚として理解

していけたらいいなと思う。

教養ある人間は企業に就職しようと、個人で生きていこうと尊敬される人間だと思う。1, 2回生の間に少し自然科学系を学ぶのもいいかと思う。実生活や将来に役立つかということにとらわれず物理や国際通貨など少し興味を感じられるものをじっくり考えてから履修しようと思う。中途半端に終わらないようはじめによく熟考したい。

外国語は出来るだけ日常会話が出来よう努力する。理系科目にも挑戦したい。

一元的なラディカルな思想のため自分を正義であるからのように装う政治家や人気とレトリックだけの指導者にならないために教養とよべる範囲、具体的には日本を含めた世界の歴史の概略、自然科学の基礎を1回生で学びたい。

正直なところ自然科学にあまり興味が無いが、狭小な知の幅では、将来を考えると自分にマイナスであろうと思われるので、そちらの分野に取り組みたい。

専門では学習できない数学、科学等

学部に関係なくいろいろな学問を学びたい。

自由の学風という言葉に与えられる勉強ではなく、自分の好奇心を全開して学問に食いついていく強い姿勢を感じました。やっと自分の力が本当の意味で試される時が巡ってきたという思いでワクワクします。高校では理系(理系、文系と分けることはあまり好きではありませんが、)の教科で未習の文理があるので、大学では学部にかかわらず広く取りたいと思います。あと、芸術論など単に興味としてはかたづけられないものもこの機会に学びたい。

大学の授業では自分の専攻だけを学ぶものと思っていたのが、実際には文系学部でも理系学部「教養教育」として必要であると知った。教養教育としては自分が専攻したいと思っている国文学関係の他に興味ある法学、犯罪心理学、又建築など文理を問わず幅広く学んでいきたい。

専門課程をする前に、その基礎となる知識として教養を身に付けたい。限られた時間を十分活用して学習したい。

このガイダンスを受けてやる気が出ました。自分は哲学、芸術学またマスメディア方面に関心があるので、それらをしっかり勉強したい。私は理系科目が苦手なので、B群がとても不安なのですが、頑張って挑戦したい。

高校教育で学んだことは全ての勉強がどこかで繋がるということだ。このことは先生も繰り返し話された。勉学は人間性を形成する上での1つの手段である。この手段を有効に利用することが大切であろう。興味ある数学、化学、人文諸科学を今の関心を失わず取り組みたい。

後々社会人になってから通用するような一般教養を深める。3, 4回生でとる専門科目と関係のない科目を1, 2回生のうちに取っておきたい。

私は文学部なので、専門科目を学び始めたらもう一生勉強しないような理系分野も含めて幅広く学びたい。

私は高校で、文系を選択したのですが、理系の科目にも興味があって残念に思っていました。今回自分の選択に任せて科目を選べるので、理系科目にも躊躇せず挑戦しようと思います。

理系科目(主に数学)を積極的に学びたい。クイネップについてもっと詳しく知りたい。国際関係入門のポケット・ゼミを受講したい。

自分の好きな分野ばかりではなくちょっと苦手な数学や今までやったことのない分野にも挑戦していきたい。

自然科学系の科目についても自分の力を考慮しながら出来るだけ取ってみたい。人文系と自然科学系とをバランス良く学ぶ。第2外国語を身に付けたい。

高校で最後まで学べなかった理系科目を基礎から学びたい。他に興味のあること、ここでしか学ぶ機会のない様なものを学ぼうと思います。

やはり自分が興味を持っている分野ばかりに執着せず、幅広い分野の学問を学ぶことが重要であることがわかったので、苦手な分野にも挑戦したい。

学問を幅広くやっていくことが結果として実用に繋がると思ったので、目先の実用だけにとらわれない勉強をしていきたい。

心理、哲学や国文学など多岐にわたって授業を受けたい。興味がわいたものがあれば今後深めていきたい。柔軟に目的を変えて学べたら良いと思った。

理系科目は今からでは無理かと思っていたが、理系科目も今のうちに学んでおこうと思った。やはり

人生のうちで生きてくる知識とは1つに偏ったものではなく、幅広く総合的に学んだことが融合することで、真に生かされるものであろう。この1回生のうちに学べないことを学んで、出来るだけ多くの知識を吸収したい。

文系のための精神医学や都市工学

私は人間の認知能力についての、個々の差違、文化、環境を基底として生じる集団間の差違と、それを踏まえた上での社会の在り方について学びたいと思っています。

自分が今まで哲学だと思っていたものが単なるイメージだったのかどうか確かめるために一から学び直したい。自分が乗り越えようと思う科学の世界を頭ごなしに否定する前に先ず学んでみたい。

私は幅広い教養を身につけたいと思っています。とういのもやはり博学である方が広い視野をもって専門を習得出来ると思うからです。

一個の人間としての教養を高められるようにできるだけ幅広く分野を選んで学びたい。初めのうちは取舍選択を出来るだけ控えようと思います。

自分のやりたい分野に特化して選択するつもりだったが、少し考え直そうと思う。

本当に自由度が高いのだなあと実感し、何を学ぶべきか悩んでしまう。とりあえず全く始めてのことばかりだろうと思うので、偏見を持つことなく学びたい。

有名で権威ある教授陣の授業を受けられる喜びを感じ、知的好奇心をもっとかき立てたい。そして様々な範囲の学問を基に、自分が本当に興味のある分野は何なのか、一生つきあいたいと思えるものを探したい。

自分の将来に関係なさそうなことも学んでみるということを心に留めておこうと思いました。

広い視野を身に付けるためにも幅広く授業を取りたいと思いました。でもポケット・ゼミは何かして専門を取りたいです。

様々な学問の基礎を学びたい。

古代ギリシャの「哲学」にみられるように、学問は全ての分野でつながりのあるものだから、専門科目にとらわれることなく幅広い学問に、また「実」からは遠い学問にも触れてみたい。

ただ、教養人、知識人になるだけではなく、自分の専門のために何が必要でどうすればいいのかを見据える。

まずは、全くゼロからのスタートになる仏語に力を入れたい。理系のものにも興味がわいており、ポケット・ゼミの琵琶湖ヨシ帯についてのもに強く惹かれる。専門等を考慮するよりも、ひとまずは惹かれるものに素直に従い、学んでみたい。

なるべく自分が当初考えていたテーマに沿うようなものを考えていたが、もっと広い分野を取ってみようと思った。今のうちに取れるものは取っておきたいと思う。

京都大学で教養を深め、抽象的ではあるが、国際社会に貢献出来る人間となれる勉強をしたい。

大学の授業では、自分が専門とする学問に関わりのあるものばかりを選択するようなイメージがあったが、直接に関わっていない学問に触れることが後々自分の財産になるという言葉で、少し苦手意識のある理系科目にも挑戦してみようという気が起こった。視野を広く持つためにも様々な分野のものを学びたい。

学問の基礎及び方法

予想以上に幅が広くて驚いた。文学部だからといって文系科目に偏らずまんべんなく学んで行こうと思う。

1つのことに偏った教養を身に付けるのではなく、幅広く。

高校時代に物理や日本史を学習しなかったので、それらに力を入れたい。専門が始まるまでに教養を身に付けたい。本をどんどん読みたい。早寝早起きをしたい。

主に西洋の文化を学びたい。特に庶民の生活に根ざした文化など。

やはり広い視点で物事を見るのは大切なことだと思った。教養は何をするにも基礎となるので、しっかり身に付けておきたい。私は文学部だが、自然科学の分野として生物学も学ぼうと思う。

元々理系科目に興味があったが、このガイダンスを受けて幅広い教養をつけるためには理系科目もどんどん履修すべきだと実感しました。なので、理系科目も一生懸命学びたいと思います。

人間を学ぶ。世界構造の把握。

語学の時間割の都合で、自分が専門的に勉強したいと思っている世界史関連の授業が取れないことがわかった。しかしこれは視野を広げるチャンスなのかもしれない。

林教授のお話がおもしろかった。わくわくして泣きたくなった。自律とは自らによって自らを律するのではなく、自然に生きることそのままであると聞いたことがある。大きな気負いにつぶされることのないよう、マイペースと自分らしさを守っていききたい。また文系、理系の枠に凝り固まることなく「生きること」を様々な見地から考えていこうと思う。

語学は力を入れて勉強したいと思っていたので、京大が“語学教育”に重点を置いていると聞いてうれしです。第二外国語を勉強するのも楽しみです。また1, 2回生のうちに他学部に関係のあることもしっかり学んで教養のある豊かな人間になりたいと思います。

高校で選択しなかった科目や「受験用」勉強では学ばなかった事柄を新たに学び、またこれまでの学習の内容をもっと発展させて知識の幅を広げ深めたい。

教育学部 (アンケート提出率 98.4%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

勉学とクラブ・サークル活動やアルバイトを両立させ、社会学を中心に学び、報道や編集といった文章を扱う職業へ就くことを目指していく。というのが現在の希望です。

自分が興味のある教育学や心理学は、日本でも最先端で活躍している教授の話の聞けることを楽しみにしています。話を聞くだけでなく、自分で主体的に考えることもしたい。また総合大学であることを活かして、様々な学問に触れたいと思っています。今までは試験に受かるための勉強で、入学するという目的のための手段となっていました。知識を基に自分で考える楽しさが味わえたらいいなと思っています。友人(人脈) 実生活に基づいた研究が行えるように町のことをよく知る学問

豊富な書物と様々な教授方との対話を通じて、社会に貢献しつつ広い教養と生涯をかけて探求しようような自分の課題をみつきたい。

最高水準と言われる教育の中で、自身の教養を深め、自己を確立させつつ、精神的な障害、疾患に関する詳細な知識や対処法、カウンセリング法などを学びたい。

京大に入り、勉学は勿論のこと様々な人間関係、クラブ活動を通じて今までの自分を変えることを望む。まあ後は留学したい。英語を話せるようになりたい。

教育、特に発達心理学等の人間の心に関わる教育について学びたい。

私はずっと心理をやりたいだったので、とりあえずそれに関連した勉強が出来るのがうれしい。ただまだまだ狭い世界しか知らないの、大学でいろんな人と出会ったり、いろんなことに挑戦して広い考え方ができるようになりたい。高校までは受験、受験で詰め込まれた学習しかできなかつたし、与えられたものしかできないと思う。そんな自分を少しでも成長させられればと思う。一番は学校での生活を楽しむこと(サボるという意味ではなく)それを第一に考えやっていきたい。

勉強だけではない自分、視野を広げる。「体験」を多くする。

生活面においても学習の面においても、自ら自主的に学びたい。あらゆることを学び、行動してこれからの自分の生活に生かせるように、また成長したいと思います。

いろんな人と出会って視野を広げたい。将来私立学校もしくは塾の講師になりたいので教育についての勉強をしたい。またサークルなどで子供と触れ合う機会を増やし、しっかりと進路を考えていきたい。教育心理学を勉強し、子供にとって心と心で向き合って話せる教師になりたい。その他大学生は社会人に比べて責任もまだ少なく、かつ時間、お金ともに余裕のあるときだと思うので、今しか出来ないことにどんどん挑戦したい。海外にはできれば留学生として行きたい。教師としてのノウハウを身に付けるためバイトもして社会経験も積みたい。やってみたい事を実現するため最大限に京都大学に対するサポートを自分から求めていきたい。

英語など実際に社会で使えるような能力を身に付けたい。また教員、学生がともに意欲的に学べるような環境が欲しいし、そうしたい。「教育」に関しては、現在社会で問題になっていることを改善できるような勉強、より住みよい社会にできるような勉強がしたい。また常に世界に目を向け、貧困国で初等教育が受けられない人達に対して、将来手助けが出来るような勉強がしたい。

勉学に励みながらもサークル等の活動に燃え、友達とのつながりを大切に、有意義に大学生活を送りたい

い。また心理学について学び、将来に活かしたい。京大にきたからには出来ること（京都の寺巡り等）もやりたい。

京都大学は全国からまた海外からも本当にたくさんの学生が集まっている大学で、その一人一人が様々な考え方を持っていると思います。また素晴らしい教員の方々も大勢おられて多くのことが学べると思いますが。たくさんの人、たくさんの考え方に出会い、刺激を受けて、私自身も自分の頭でよく考え人間的に成長したい。教育学部では心理学を学び人の心について学びたい。

現代における教育に関する問題は深刻であり、特に学校教育については混迷が深いように思われる。教育の変遷や心理学を学び、幅広い意味で教育の本質を学びたい。

一人暮らしをすることで、自立心と生活力を身に付けることをまず目標としている。また様々な人と顔をつきあわせて話し、高校生活で固まってしまった自分の価値観・世界観を広げたい。もちろん英語とパソコンのマスターは自分の中で必修。積極的に行動し大学という特殊な場を最大限活用したい。

死生学について学ぶために心理学について学びたい。大学においては発達心理学等を学び、カウンセリング等についても学んでいきたい。大学では幅広い心理学や人間についての勉強をしたく、大学院にも進学したいと思っている。大学院では死生学について学び、ホスピスケアについて考えていきたい。また医療とも結ぶついた生命倫理（尊厳死や移植、クローン）についても考えていきたい。

私は、学力低下論争やゆとり教育、最近のキレやすい子供が生まれる社会についてどんな教育をするべきかという側面から考えてみたかったので、京大に入りました。しかしこの問題について考えてみたいと偉そうに言っている割に、この問題について、マスメディアの意見を鵜呑みにして、何が本当に問題なのかを自分自身で理解しているとは全く言えません。ですからまずは講義を通して、問題点をしっかり把握し、考えるきっかけをつかみたいと思います。そして自分なりの意見を持てるように自分で考え、他の人の意見も聞き、関心を深め広い視野から見つめられるようになっていきたい。

大学生活を通してどのようにこれからの人生を歩みたいのか、また歩むことが出来るのかを知りたい。そのために講義や個人的な勉強によって幅広い知識と教養を身に付けたいと思っている。高校2年生の時に一年間アメリカ留学したことから、国が異なることによるさまざまな相違、そして類似点に興味があったので、特に言語を通して日本や他の国について理解を深め、願わくば日本という国の魅力について他の国の人々にも同じ国の人にも教えられるようになりたいと思っている。その一方でスポーツやイベントが好きでこれまでは好きなことを好きなだけ楽しんできたが、これからは前者のほうに絞っていくべきだろうか、、、と今後の時間の使い方について迷っている最中である。

心理学、教育学また他の学問も幅広く学び、自分の出来る限り世界の平和に貢献したい。

自分が男だとか女だとかにとられることなく可能な限りの偏見を捨て去ることの出来る知恵を身に付けつつ、その上であまり考えられることのないセクシュアル、マイノリティについて考え、人権や差別について多角的な取り組みがしたい。

教育学部での心理学や教育学などの専門知識を学び、深めていき、後々にはその道の専門家になりたいので、大学でいろいろなことを学びたい。京大の教育学では心理学と教育学どちらかを選ぶまでには時間があるので、2年間ゆっくり考えて、3年生時にどちらかを選びたいと思います。

私は心理学を学びカウンセラーになることを志して京大の受験を決めました。だから勿論専門としたい心理学の知識を貪欲に得たいこうと思っています。しかしこの京大の自由な学風を最大限利用して、カウンセラーとして必要なものだけでなく、自らの人間性、人格を高めていけるように様々な分野にも出来るだけ多く触れていきたい。

司書を目指しているので、司書の資格を頑張って取りたい。また高校の時にはクラブに入っていなかったので京大では何らかのサークルなどに入りたいと思っています。いろいろと自由に出来ることが多そうなので、それを活かして様々なことをやってみたい。新しいことにも一杯チャレンジしていきたい。

創造力を深めるために幅広く、深い教養と知識を求めています。「表現力」を身に付けるべく勉強します。「知識」これが私が京都大学に求めるものです。またその知識を得る中で、自分自身で課題を発見し、これを解決する力を身に付けたいと考えています。

新しいもの、知らなかったもの、自分にはないものに出会い、それについて深く考え自分の糧にしていきたい。好奇心が強いので、それを満たしてくれるものを求めます。授業にとどまらず、サークル等大学で経験できることには全て全力で取り組んでいきたい。

現代の日本の教育を受け、変わりつつある教育を受けてきた者として教育に感じた疑問、どんな教育方法、環境ならば「よりよい人生を積極的に生きようとする意志」とでもいうものを持ってもらえるのかという

ことを中心にして、教育を専門として学んだと胸を張って言える大学生活を送りたい。そして自分のこれまでの学校生活で幸運にも「充実した学校生活を送ってきた」と思えたそんな感想をより多くの人が持てるような教育を実現できるようになりたい。(何を求め：密度の高い専門研究(教育)/どんなことに：現代の日本の教育制度について等々)より多くの人に満足してもらえる人生に希望を抱いてもらえる、人生に希望を抱いてもらえる教育の実現をめざして

自由の学風だと聞いているので、自分に甘えることなく授業、バイト、部活と充実した生活を送っていきたい。教職免許にも挑戦したい。心理に興味があって入学したが、先日の学部ガイダンスで教育システムにも興味を沸いたので、1, 2回生のうちに多角的に学び、本当にやりたいことを見つけていきたい。

自由に学べる雰囲気の中で、興味ある分野に深く取り組めることを期待しています。心理学を学びたいので、先端に行く研究が行われているというこの大学で、教わるだけでなく、図書館なども利用して能動的に自分の興味や疑問に向かって働きかけていきたい。現代日本人の心の病を、哲学なども融合した勉強をしたい。

私は将来日本の福祉を変えていきたいと思っています。ただ漠然と「日本の福祉」ではなく、私は特に障害者福祉に役立てる人間になりたいです。そのため基礎となる勉強を京大で学びたくて教育学部にきました。障害児教育を学ぶ事を強く希望しています。障害者の心理、各種障害・病気の症状、今日の日本の社会で障害を持った人々が直面している問題、差別など、障害者の方々をサポートする上で必要な知識を幅広く学びたい。

社会を知ること。教育のどの分野に興味があるかを知ること。気ままな生活、パソコンを使えるようになること。社交性の向上、実用英語の努力

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(: 男子、 : 女子)

豊かな人生、高い思考力と知性、これらを育むための教育というものは考えたことがなかったです。早く授業を受けたい。文系だから理系科目は避けたいと思っていたけれど、先生達の熱意が伝わったので、挑戦してみたいです。

嫌いな科目は取るまいと思っていたが、まんべんなく受講してみようと思った。

自然科学中哲学など日常生活と直接結びつきにくいものを中心に学びたい。

脳

最先端の研究について学ぶとても良い機会だと思うので、「実用」ということにとらわれず、幅広い分野について学びたい。人類など長い期間で考えた学問を学びたい。

文系科目や哲学等を中心に取りたいと思っていたが、理科も取ってみると視野が広がるなあと思った。ポケット・ゼミは楽しそうなものが多いので是非取ってみたい。

子供の頃から興味のある自然科学や環境について学ぶことの出来る機会があることは非常に有り難く思う。これまであまり縁のなかった哲学も学びたい。

なるだけ広い範囲の科目を取ろうと思った。例えば数学だと高校では公式を覚えて問題を解くというものだったが、大学ではなぜその公式が成り立つのか、それから現代社会を理解する上で欠かせないように思われる経済について詳しく学びたい。

学術的教養、文化的言語、基盤的知力を身に付けるという教養教育の目的は、まさに私が目指しているものの通りである。前の2つについてこれまで自分でも力を入れてきたつもりだが、まだまだだなと思うが、3つ目について一般教養においてはこの点を強化することを目的としていくつかの科目を選択したい。留学中痛感したのが自分の専門分野(当時興味があった分野)以外の分野に関する知識の不足だったので、1年生の間に積極的にB群科目を取ろうと思う。もともとほとんど趣味兼用の分野 language for academic purpose については今後も更に学問的にも実践的にも勉強を続けていきたい。

本日のガイダンスで、教養教育は単に知識を幅広く身に付けるものだという考え方が払拭され、知っていると言うことだけではなく、それを道具に将来を拓いていけるものなのだと考えが変わりました。教養教育として基礎知識だけでなく、積極的に何かを学び取るという姿勢を身に付けたいです。

大学のガイダンスを受ける前まではとにかく専門分野に関する科目を中心に取ろうと思ったが、今しか学べない自分の専門分野外の科目もたくさん取りたいと思う。

自由の学風をうまく利用して「無駄になるものは1つも無い!」ということをもットーに頑張りたい。

出来るだけ理系科目を取りたいと思いました。KUINEP などにも積極的に参加し、語学を深く学びたい。一見専門と無縁に見える科目も（特にカバーする範囲が広いと思われる教育ならばなおさら）専門研究に生かしていくつもりで、全力で取り組みたい。主に文系の教育学部とはいえ、理系科目の数学、化学なども好きなので、そういった科目も十分に学ぶ機会があるということを存分に活用して、文系科目、専門科目を学ぶだけでは身に付かない幅広い知識とそれを基にした柔軟な思考力を身に付けていきたい。

幅広い知識、教養を身に付けることが大学の目標だったので、枠を決めずにあらゆることに興味を持って行きたいです。現時点では言語学や哲学、倫理学、数学や論理学を学ぼうと考えています。概して役に立たないことの方がおもしろいと思います。受験等のためでない勉強がしたいです。

特にB群を多く取りたい。高校の時に中途半端に学んだ物理、地学、生物を積極的に学びたい。ポケット・ゼミも興味深い。

教養教育として、心理系を中心に学びつつ、多くのジャンルに触れてみようと思う。ドイツ語も積極的に学び、ドイツ語の文献など読めるようになりたい。

受験時に学ばなかった学問分野について学びたい。受験時に学んだ分野について、受験の技術に関係なく学びたい。

今まで学ぶ機会のなかった又苦手としていた哲学や受験勉強には含まれていなかった教科（主に理科）を学んでみたい。教養ある人間となるために、今の自分が必要なもの、欠けているものを主に頑張りたいです。

法学部（アンケート提出率 89.3%）

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（：男子、：女子）

とりあえず京大には何らかの活動をする場所を与えてほしい。部活は体育会に入る予定

多様性かつ軸を具えた大人になる。法がいかんして人間を規定しうるかの探求

私はあらゆる分野の基礎知識と人間としての常識、広いものの考え方とともに自分の専門知識も身に付けた「教養人」になることを目指しています。そのために、「毎年1つ以上」今までに全くしたことのない新しい教養科目を修得したい。

将来は法曹を目指したいと考えているので、それに向けて役立つような法学の勉強をしたい。特に民法に興味があるので、詳しく学びたいと考えています。他にもこれからの情報社会でより重要となってくるであろう知的財産権について、海外の制度を含み学びたいです。勉強の他に時間が許す限りサークル活動などに精力的に取り組み、出来れば音楽に関する活動をしたいです。京都大学にはハイレベルで充実した時間を過ごせる講義を求めて入学しました。

マニアックな理数系を含めて一般教養、勉学、運動などで高校でやっていないもの。

法律に携わる仕事を指す上で、その能力を充実させるため、多面的に教養を高めるすなわちゼネラリストとしての基盤を作り上げたい。その上で1回生は法学以外のことを広分野にわたって取り組みたい。

私は京都大学に法律、政治に関する専門的な知識に加えて、広い教養を身に付けたいと思っている。また課外活動等にも熱心に取り組みたい。そのため大学には様々なことに関する細かい情報提供と充実した時間を過ごすための場を求めている。勉学、課外活動を通して親密な人間関係を大学で構築出来ることを期待している。

京都大学に入って本当によかったと思えるような充実した生活をし、学業を中心に様々なことに出来る限り取り組みたい。

専門知識を養い、司法試験の為だけではなく、基本的知識も十分に身に付けたい。またサークルにも積極的に参加したい。

知的好奇心をくすぐる刺激を求め、読みたい本を時間の許す限り読みたい。

私は京大の自由の学風が気に入って京大に入ったので、自主性を大切にして、授業も主体的に選んでいきたいと思います。友達も作りたいし、勉強以外にもサークルなども参加していきたいとは思いますが、法科大学院か、法政理論専攻に進みたいので、やはり勉強はしっかりやっていきたいと思います。

いろいろな人と交流することで、しっかりとした「自分」を形成する。

法律について知識を得、それを実生活に基づいているものにしたい。また一生を通じてつきあえる友人を

得たい。尊敬できる教授の授業を受けたい。

・もっと広々とした人間関係を築きあげ、また将来自分が進むべき道を見つけたい。

・高校では決められた勉強をやらせられていたので、出来ること、やりたいことを好きに出来るようになる。それ故全て自己責任なので、この大学で勉強したら自分で勉強する力が身につくと思う。

正直何も決まっていない。というよりむしろまだ何もわからない。落ち着いて真剣に考えたい。ただ何にに取り組むにしても全力で取り組みたい。

専門の学問のみではなく、様々な視点から物事を捉えたり、考えたり出来る幅広い知識、視野を持てるようになりたい。又学問だけではなく、社会的技能その他を身に付けたい。

専門分野の他経済学と中国の歴史と物理学に取り組みたい。

知識の向上を求めたい。スポーツをして身体を鍛え、勉学に励んで頭を鍛え、これからの生活を規則正しくする。以上のことを取り組みたい。

周囲からの良い刺激を出来るだけ受けることと自分の最大限の努力を通して、学問というものを少しでも理解したい。またその体験によって自分の能力を最大限に引き出していききたい。求めるものは自分の中から取りだし、自分の力でつかみとりたいと思う。

法律に関する専門的な知識を学び取り、将来自分の職業を選ぶ際に役立つようにしたい。更に法律に関する知識だけではなくせっかく大学に来たのだから自分の興味を持てる法律関係以外の分野についても多くのことを学びたい。大学に対しては選択の自由と、学生が興味のあることであれば、なんでも自主的に調べられるような場を求めている。

サークル活動と学業を両立させることで、交友関係を広げると同時に法律に関するしっかりとした知識をつけたい。絶対に悔いのないキャンパスライフを送りたい。

他大学にない高度な授業を受け、専門分野に関する知識を高めるとともに、社会人になる上で必要なことを身に付けたい。

将来生きていくのに役立つことができる学問・知識を身に付けたい。何に組みたいかはまだはっきりとは決めていないけれど、楽しい大学生活にしたい。

自分のしたいことに取り組みやすい環境、様々な分野の活動

「勉強」とは違った「学問」をしたい。

幅広い知識、教養を育て、多くの人と関係を築くことで、自己破壊、そして自己再建を行う場を求めている。交換留学も僅かながら考えている。

・求めること - 様々な能力の向上及び精神的成長

・取り組みたいこと - 1日24時間、1年365日などと限られた時間を自分なりに有効に活用するということ。またそれを通じて、約80年という限られた人生の残りの部分を有効活用できるようにしたい。

社会生活をするに際して必要な常識を理解し、社会に適応した人間になりたい。法曹になるのに必要な法学知識と正しい倫理観を得たい。

総合大学だから、学部を超えて幅広く交遊関係を持ちたい。また積極的に大学内の施設を有効利用し、学問に励みつつスポーツにも励み充実した大学生活を送りたい。

大学にいる間に、いろんな人と出会い、いろんなことを知り、いろんな事に挑戦してみたい。自分の視野と世界を広げたい。「自由」の中できっちり自己管理したい。

特にありません。が何かやります。英語など。

今将来に対しては漠然とした方向性しかないので、専門科目のみではなく教養科目を様々に受講したいです。それを通して身に付けた教養を基盤に自分の世界観、社会観も変わったり、創られたりすると思いません。その時に自分が何をしたいのかが明確になるのかもしれないと思っています。

自分の目の前にある問題を冷静に判断し解決できる実務能力を身につけたい。そのために教授からだけではなく同学部の学生や、他学部の学生、また他大学の学生と積極的につきあい、いろいろなことを学ぼうと思いい、それだけではなく必要ならば独学も必要だと考える。またサークル活動などもありたい。

弁護士になるための専門知識を身に付け、それ以外の活動にも積極的に取り組みたい。

価値観の多様化。そのための人間関係の拡大や講義。

・個性豊かな友人(飛び抜けた得意分野を持った人など)に多く出会いたい。

・英語とドイツ語で法学の専門書を読めるようにする。

幅広い知識をと教養を身に付け、社会的指導者としてふさわしい人格を身に付けたい。

私は特に法曹等になりたいとかいうのではなく、漠然と法学というものが楽しそうで、勉強したいものだったから入学しました。京大の講義はやはりレベルの高いものだと思うし、そうした講義から知識を得、それを実際の社会に当てはめ、生かしていく力が身に付けばよいなと思います。また大学では勉強のみならず、様々なことに取り組みたい。高校時代にも行事やクラブに取り組み、とてもよい経験が出来たので、大学でもサークルや行事、バイト等で貴重な体験ができれば良いなあと考えます。

求めるもの 将来に活かせる知識・人間関係
自分で使える自由な時間、自分の将来について考える時間、家事をする時間
生き生きとしたキャンパスライフ

取り組みたいこと 野外活動、サークル活動、勉強
これからの法曹に必要な知識、教養（特に法曹志望ではない）を得ること。
人生の目的を見つけたい。

個性豊かな人と知り合い、様々なことに興味を持って取り組みたい。具体的には法曹を目指しているので、京都大学には受験予備校では得ることが出来ない大学で法律を学ぶからこそ得られるものが多くあるのではないかと期待しています。学業についても人とのつきあいにおいても、自分から主体的に学ぶ姿勢を大切にして、大学生活を後悔の少ないように充実して過ごすことが出来るように努力するつもりです。

教養、幅広い見識を持った人間になるための何か今までに触れたことのない世界とその世界の人々との交流。法律家にとって必要な知識。大物になるための人間性

語学力を高めたい。理系の人と専門的な話をしても理解出来るようになりたい。

司法試験を念頭に、法律の専門知識と幅広い教養を身に付けたい。

自分の将来やりたいことに向けて、法学の勉強を進めることに加えて、自由を気風とする京大において、自分に何が出来るか、どのような可能性を自分自身が持っているかを考え、様々な社会体験を含めた多種多様なことに取り組みたい。京大に対しては、多種多様な活動や学問に接する機会の得られる場でありたい。

広く、かつ深い学問、教養と自由で活動的、自主的な課外活動。専門科目はもちろんのことせっかく広く深く学べる機会の多い学校、学部にいれさせて頂けたのだから、それを無駄にせず、いろいろなことに興味を持って、また今興味あることも深く学んでいきたい。そして様々な人と交流し、人間的にも成長したい。広い視野と専門的知識に偏らない幅広い教養（勿論専門的知識はより深く）人の心のわかる心を身に付けて、それに基づいて広く社会に貢献出来る力をしっかり蓄えたい。

池田小学校児童殺傷事件以来、現行の裁判が杓子定規すぎやしないかと考え、検察官になろうと決めました。京大ではそのための勉強と柔軟な発想のできる検察官になるための様々な勉強や友達やサークルの人達とのコミュニケーションを通じて、充実した生活が出来るように、充実した人間になれるように努力していきたい。

中東問題や日米関係についてふかく学びたい。

勉強だけでなく、サークルなどを通じて運動もしたい。法律だけではなく、化学や物理といった理系の科目も学んで幅広い知識を持てたらよいと思う。国家公務員 種に合格したい。

勉学に集中できる環境を求めています。勉強以外のこともしたいが、勉強をおろそかにはしたくない。

私が大学に進学したのは、司法試験を受験するためなので、その対策と法学の基礎を学ぶことを最優先にしたいと思います。またサークルや友人関係、一人暮らしを楽しみながら、それらを通じて一人前の社会人となる準備をしたい。

積極的に勉学を励むことで、大学側からも真剣な姿勢で教育してほしい。学ぶことの喜びを確認できるような授業を受けてみたい。

受験勉強のエネルギーに見合う充実した授業

京都という豊かな歴史と文化を持つ街に住み、学問に励むことにより、心身を鍛えたいと思う。そしてアルバイトやサークル等の活動を通じて様々な人と出会い、多種多様な価値観に触れ、そこから受けた刺激を自分の肥やしにしたい。

教育、課外活動を通じて、豊かな人格を創出したい。人の立場になって考えられる法律家になりたい。

- ・英語力、日本語力を高め、国際社会で通用するような能力を身に付ける。
- ・対人関係を学ぶ
- ・健康を増進する。
- ・教養を高める

法曹を目指す上で必要な専門知識を身に付けるとともに、和歌を中心として古典に対する理解を深めまた歴史文化を通して、中国、朝鮮といった近隣諸国との関係を学び、考えていきたい。

立派な弁護士になってやる。

自分は、この社会が現実にどのような規範、ルールでもって動き、社会で発生する問題がどのようにして解決されるかということに興味がある。それ故に法を学びたいと思い、法学部に入った。社会は今グローバルゼーションなどの多くの課題に直面している。これから日本社会は国際社会の中で大きく変動するであろう。自分は京都大学で法を学ぶだけでなく、これから必要とされる人材に求められるもの - 英語力、国際理解力、広範な教養を身に付けたいと考えている。そのためどう取り組むかはこれから探して考えている。

弁護士になろうと思って、理系から文系に転向して受験したので、大学ではあまり遊んだりせずに、専門科目を勉強したいと思っています。そのために一般教養をまじめに学び、さまざまな学問に対して興味を持ち、勉強したい。そして一人暮らしをして、自分一人で生活し、自立していきたい。

私は京都大学で自分の進むべき道を見つけたいと思う。法学を学びたいということで、法学部に進学したが、実際将来何に携わりたいのかということは定かではない。弁護士または官僚になりたいと今のところは考えている。私はアメリカで小学生以降の学生生活を送り、帰国生として京大に入学した。帰国生の一人として、海外で見聞した様々なことを生かして、日本の現状にあるいくつかの問題点の解決に貢献していきたい。京大在学中はよい友人を作り、勉学に励み、自分の更に成長させて自分の進むべき道を見つけ、将来社会貢献できるよう頑張るつもりだ。

人生の勉強をしに来ました。

まずは友達を作り、高校時代より広い人間関係を作りたい。高校時代よりもふかい知識を身に付けて新しい世界を見たい。そしてこの知識を得たうえで、社会に出て、その知識をもとに社会のためになることをしたい。英語だけではなく、中国語もマスターすることで、それらの国のことをより理解して、偏見なく世界を見、そのような世界へとしていきたい。

見聞を広めたいと思っている。最も興味あるのは学問に関してで、高校までの学習は学問の入り口にも達していないと思っている。大学での勉強で奥深いその一端にでも触れられたらいいと思う。本当は研究者になってみたいが、諸般の事情により無理だろう。

都市交通に取り組みたい。

将来に向けて勉強を中心に新しい知識を吸収して京大に入ったことを無駄にしないようにしたい。卒業後に有意義な大学生活を送れたと思えるように、勉強以外の活動にも取り組んで充実した生活を送りたい。せっかく一生懸命受験勉強して、京大に入ったのだから、日本一の研究をされている先生方から「本物」の何かを吸収したい。

勉強面では法律の知識を身に付け、将来の目標に向けて学びたい。又法律だけを学ぶのではつまらないので、以前から興味のある建築にも機会があれば学びたい。生活面では、一人暮らしを通じて、自主、自立を心がけ、サークル、部活動、アルバイトを通じて、様々な種類（大学卒、学生卒を越えて）の友達を作りたいと思う。自発的にチャレンジする勇気を得たい。

海外で仕事ができるための力と新しい友人を得たい。

良質の講義。学び、遊び、楽しむ。法律に没頭する。世界史系を学びたい。

とにかくこれまでに経験したことのないこと。未知のさまざまなことに取り組み、今までとは違う視点からものを見れるようになりたい。

学業をおろそかにせず、クラブを頑張りたい。出来る範囲でアルバイトもして、社会についてもっと詳しく知ろうと思う。大学では素晴らしい講義が聴けると聞いています。楽しく勉強できるといいなと思います。

吸収出来るだけ、出来るだけ多くの知識を吸収し、それについて自分でじっくり考えたい。それを充実し得るだけの努力を惜しみなく自分自身に求めたい。

一年一年成長して、四年後には四段階上の男になる。よい友人を多く作り、多くの事を吸収する。いろいろなものに手を出す。幅広い分野に関心を持ち、自分の専門と呼べるものを見つけて深める。

- ・ 現在社会で起こっている問題の本質を見抜けるようになりたい。
- ・ 報道に興味があるのでその方面の勉強がしたい。
- ・ 大学には個性的であってほしい。
- ・ ドラムがしたい。

人間的向上、弁護士となるための知識、よき友達、一般教養

私の志望は弁護士になることなのですが、貴校で司法試験に合格するための専門的知識はもちろん法律には直接かわりない分野の教養を、自由の校風のもとで身に付け、社会で働く上での糧としていきたい。私は自由な校風の中で、責任ある行動をとれるようになりたい。大学生活では部活動と勉学の両立を目指したい。

語学（英、仏）、法、情報工学、経営を学んで、国際舞台で働ける弁護士になるための基礎を身に付ける。幅広い知識や人間関係を築いていきたいし、ボランティアやスポーツなどの自分にとっての未知の世界にチャレンジしてみたい。

独自の考えやいろいろな知識を持っている人達と真剣に話し合ったりしてまだ分野はきめていないけど専門的な知識や価値観を身に付けたい。そしてそれを堂々と言って相手に納得させることができるような表現力を鍛える。

物事の様々な側面を偏りなく、見つめる力がほしい。ただ勉強のみにとどまることなく、バイトしてお金を手に入れてしっかり遊びたい。

早く立派な大人になりたい。それとともにいろいろな人とつきあいたい。頭弱いので。

世界のいろんな状況を見てみたい。戦争や貧困で苦しむ人々のことを知り、自分にできることを探りたい。大学には専門に限らず、自分の視野を広げられるよう、幅広い知識獲得の機会を与えてもらえたらと思います。世界で実際に行動できる力を身に付けたいです。

人格的涵養の成長と幅広い興味、知識の習得のため、さまざまな分野の人と交流を持ち、充実した生活を送りたい。

専門知識を得ると同時に幅広い教養を身に付ける。勉強だけでなく部活動に参加して、心身共に向上を目指す。時間があればアルバイトをして、社会の様子を少しでも知ることができればよいかなあとします。その他いろいろなことに挑戦していきたい。

幅広い知識、幅広い人脈、サークルでちょっと本気になってみたい。これ以上墮落しないようにする。

自分が興味を持ち、追求したい事柄を十分に追求できる環境であることや、それぞれ将来の目標を持っていたり、いろいろな価値観を持っていたりする人と交流して自分の人間として幅を広げられる環境であることを求めます。私の興味があるのは今は国際貢献なので、そこで役に立つだろうことは何でも取り組んで行きたい。

政治について勉強したいです。思想史にも興味がありますが、どういう思想があったのかではなく、どういう環境で人間はどう考える傾向にあるのかを勉強したい。必死で吐き出すことはもうやったので、必死で吸収したい。

私の潜在能力を開花させたい。積極的に授業や部活動などに参加して今までになかったことをいろいろ体験してみたい。

幅広い教養に裏打ちされた専門知識、学識の修得、これからの社会に対応する力

理数系（論理学チックなやつ）がやりたい。8単位はすくないなあ。

教養、法曹に必要な専門知識及び人生経験を求めます。授業とアルバイトを両立され、余裕があればサークル活動、読書などによる予備知識の摂取に取り組みたい。自分が今までに知ることのなかった世界を知り、それを活かせる法曹となりたい。

自分の成長と人との交流を求めたい。具体的には今まで異国文化との接触が全く無いので留学してみたい。京都大学という特定された枠で取り組みたいことは今のところ特にないが、自分が大学生のうちに取り組みたいことは留学とボランティアの二つ。

専門知識を身に付け、社会で通用する社会で求められ活躍できるような人間になりたい。

質の高い教育を求め職業選択に関する幅広い視野が持てるように一生懸命勉学に励みたい。

- ・優秀な人達（先生、学生など幅広く）との出会い
- ・広い視野を身に付けること。
- ・法律という専門知識だけでなく、外国語や国際関係学などを学んで世界を知りたい。
- ・スポーツで身体を鍛えたい。
- ・資格試験（司法又は国）に挑戦したい。

法学部という学部を選んだとはいえ、視野をそこにのみせばめることなく、幅広い視野で物事を考えられる人になることが目標です。これまで受験勉強という制約の中で捨ててきた可能性が多数なので、自分の様々な可能性を引き出すべく、いろいろなことに日々挑戦してみたい。そして、サークルなど大学でしか

できないこともし、様々な人とかわりを持ち、高めあえる友人を数多くつくりたい。
 知識と教養に基づいた適切な状況判断と理解力を備えたりベラルな人格の涵養
 人間性の成長を第一の目標としたい。そのためにさまざまな分野の教養を身に付けることは勿論サークル
 活動などを通じて積極的に多くの人々と交流を持ちたい。あと将来の夢である法曹の道へ進むための準備
 期間として大学生活を過ごしたいと思う。
 国際的な価値観を身に付けて、日本人としてだけでなく地球人としての広い視野を手に入れたい。国際法
 を学んだり、世界の文化・社会を詳しく知りたい。
 ぼくはこれといった専門的な知識というよりは、大学生活を通じていろいろな人と接したり、いろんなこ
 とを経験することで、自己を高め、見つめて将来進む道を探したい。
 専門科目では政治学を中心に学び、又文系理系を問わず幅広い学問に触れ、学部内では広い交友関係を構
 築したいと思う。授業等だけではなく、図書館も利用して自主的に学習したい。
 求めるもの：具体的なことはまだ模索中であるが、法律家になる夢を叶えるための知識、経験。大学時代
 にしか経験できない(社会人になれば困難な)経験。深く信頼し合える友人をつくること。
 取り組みたいこと：大学時代は自分の人間として価値を高め、見聞を広めるために比較的多くの時間を費
 やすことのできる最後のチャンスだと思うので、まずは社会の矛盾が多く存在する場所(社会的弱者の人々
 のいる場所)を数多く訪問したり、ボランティア活動に励んだりしたい。
 国際性を身に付けたいと思う。また世界を念頭においた考え方、そこでの活動力を身に付けたいと思う。
 そのためにも国際法を中心とした法体系を学び、専門性を身につけるとともにサークルなどを通じて幅広
 い人間関係を築いていきたい。
 最終的には将来への足堅めとなるような知識や技能を4年間で身に付けたいです。1年生のうちは語学や
 人文科学など社会科学系以外で自分の興味のある分野を勉強して幅広い教養を身に付けたいと思います。
 多様な分野において、高校で学んだ事柄を更に発展させたものを学び、教養を身に付けたいと考えていま
 す。また法律の知識、法的思考、幅広く社会について学び、司法試験や公務員試験に備えたい。また社会
 に貢献できるようなリーダーシップを、課外活動を通じて身に付けたい。
 国際人となるために必要な教育を求めている。社会に役立つことができるような体力や知力を養ってい
 きたい。心は丸く気は長く。
 自分が社会で働く上で必要な教養を身に付け、日本を世界に冠たる存在にする方法を見つけたい。
 高等教育を受けた人間として多くの知識と教養を身に付けたい。現行司法試験の合格
 国連(ユネスコ)で働きたいので、語学の勉強や政治を学びたい。在学中に語学留学をしたい。またイ
 ギリスの大学院へ進みたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

日本史

個人的に興味のある「地学分野」と法の専門知識の礎となるであろう医学や哲学も学びたい。
 今までにおぼろげに関心はあったものの、きちんと学んでみたことはないなので、哲学や倫理学について詳
 しく勉強してみたい。それに関連してB群の中からは生物に関係のある講座を受けてみたい。
 数学もやってみたいが、基本的に多方面にやっていきたい。
 英語の講義を受講することが可能ということで、是非受けてみたいと思った。また苦手な理系科目にもチ
 ャレンジしてみようと思った。
 数十年後に役立つような教養
 将来学ぶことがないであろう科目(自然科学など)を積極的に学びたい。
 文系、理系の枠にとらわれない総合的な知識体系を身に付け人間性の成長を図る。
 やはり法学関係以外を学べる最大のチャンスなので、偏った選択はしないようにしたい。幅広い教養等は
 これからの学習の土台となるものだと思うので、あまり損得を考えずに取っていききたい。
 人間や社会または学問というものを少しでも知りたいと思う。
 今まで自分が勉強してこなかった科目、嫌いだった科目に挑戦したい。
 抽象的な問題に対する思考力を鍛えるために、論理学、数学を学びたい。また興味ある芸術分野も。
 とりあえず単位を取ることが大切だと思った。余裕があれば高校では学べない分野を学びたい。今まで全

く聞いたことのない心理学とかの分野も学習したいと思う。
多くの分野の科目を少しずつ学ぶより、興味ある経済学を中心に学びたい。
それはもう未知の分野にどんどん飛び込みたい。
将来の利用目的の他のあったら潤う教養を身に付けたい。
自分の知性を120%に広げてくれる多岐にわたる学問
人間としての生き方
自分が将来物事を判断する際に、偏った見方をしないためにも幅広い分野に関する知識をつけられるよう、
文系分野に限らず理系分野の内容も学んでいきたい。
自然科学に関する授業に対する興味が出てきた。特に統計に興味があるので、統計学の授業を受けたい。
人間性を高めるうえで必要な知識を専門分野に限らず修得していききたいと思った。
“法学部”にとらわれず興味深い理数系の講義を受けていきたい。
できることならあらゆることを幅広く身に付けたいと感じた。
人間性を深める何かを掴みたい。
将来の職業と関係のない単に勉強してみたいと思った科目を取りたい。
学際的な視点から文理の垣根を越えて様々な分野の教養を身に付けたい。
受験の頃になかった理系科目をやり、受験でやってもっと知りたかった科目を深く学びたい。
自然科学分野から社会科学分野まで学部専門とはあえて関係ない分野の勉強をしたいと思います。
語学について読み書きをすらすらできてあと少し話も出来る程度の運用能力を身に付けたいです。その能力を用いて現地の人と自分の言葉で話したいと思います。異文化を知るには自分の目や耳や口や肌や頭で感じたり考えたりするのが一番だと思うからです。
私は高校まで殆ど理科をやってこなかったが、ハッとさせられた。理科をやらねばと思った。
心理学、教育学、社会学など文系科目の基礎と医学、生理学、コンピュータ学など理系科目の基礎を幅広く学びたい。
幅広く学びたいと思います。なるべく偏らないように知らない分野を開拓していきたい。
私は法を専門にしたいと思うのですが、歴史にも専門にするつもりはなくても大変興味があり、できたら大学で少しはかじってみたいという思いがありました。その機会があるようでとてもうれしいです。また受験勉強で苦手だった数学にも少し興味を持つようになったので挑戦してみようと思います。
一般教養もおろそかにしてはいけないと思った。
本当に多種多様なものが準備されているので、専門以外でも高校などでやらなかったことをやってみたい
です。一つのことにこだわらず様々なことをやってみたいです。
私の望んでいた大学での教育方針、理念にまさにぴったりでとてもうれしい。ガイダンスをしてくださった先生のおっしゃるように、自分が専門としたい分野以外のものを学ぶ機会は、この1、2年を逃すと
もうなかなかないと思うので、多様な視点から物事を考えられるように、専門のものも含めた様々な分野の
ものをまずは学んでいきたい。
将来の活動が一辺倒にならない程度の幅広い知識
高校までに学んだことのない理系分野の科目も学びたいと思う。ガイダンスにあったように教養教育の時
間を大切にしたい。
法関係 50%、語学 15%、それ以外 35%の割合で学べれば、知識の偏らない人間になれると思います。こ
んな感じにできたらいいなあと考えています。
日本の社会構造の仕組みについて詳しく。
数学とかもやってみたいです。だけど文系科目の方が試験には有利なのかなと思います。
化学や物理といったあまり文系では学べないもの。ポケット・ゼミを何か取ってみたいと思う。
なるべく幅広い分野を履修し、理系科目にも積極的に取り組んでいきたい。「自分で考える力」の養成が求
められるようだが、その理念には賛成する。柔軟な思考力を鍛えたい。
今までは「役に立つか、立たないか」という観点で考えてきた面が強かったが、教養も重要だと思い、哲
学や自然科学も学んでみようと思った。
専科では学べないことを学びたい。貴重な体験だと思うのでいい加減にはしたくない。
元々哲学・思想について興味があったので、そこらへんを学びたい。受験の時に生物を取っていて、物理、
化学を取っていた人が何か羨ましかったので、そこらへんもやってみたい。
法律、政治系だけではなくて歴史、他にも理系の生命科学をやりたい。専門外のことができるのは今のう

ちだと思う。

法学の基礎として諸知識、法学そのもの、現代法の運用の諸事象に関する諸学人間性を高められるような意志を持ちながら授業を受けていきたい。

政治学、歴史学を中心に学び、とにかく自分から動き回っているという体験してみたい。

偏った知識だけではなく、世間で話題になっている現象や国際的な出来事など生きていく上で役に立つ知識など。

やはりこれから必要とされる語学のみならず理系のものも学ばなければと思った。

これからの人生の糧となるように頑張ります。

数学、物理学を学び、理系、文系の立場からの視点を養い、普通の法学部生とは違った視点から物事を見られるようになりたいと思いました。

自分の好奇心に忠実に積極的にいろいろ学びたい。他分野の学問にもチャレンジする。

教養教育は喜んで受けたいと思う。私は法学部に進学はしたものの自分の興味や関心をそれだけに制限することはしたくない。アメリカにいる間に学習することができなかった日本の高度な理数系科目や、文学、社会学などのさまざまな学問に触れてみたい。幅広い知識を得てこそ、様々な問題に直面した際に応用の利いた対処ができるだろう。それは弁護士や官僚等の職業には当然必要だと思う。

文系だからこそB群科目にも進んで挑戦したいと思った。

テニスを頑張ろうと思います。教養もまじめに雑学の帝王になりたいです。

もともとは数学に関心があったのだが、能力が足りず（またそのことによる周囲の圧力で）理系には進まなかった。なので、大学では物理学、数学などで文系向きものを取ってみたい。しかし、「履修の手引き」を見る限り、理系は文系の上位互換だという考えがますます確かに思われる。

偏ったものの見方のないバランスのとれた人に成長するには、様々な分野の学問を通して様々な知識を得る必要があると思う。

大学出たら二度と学べないようなこれからの社会生活に役立つような学問を学びたい。

他の分野を専門とする人の考えを理解して取り入れられるように幅広くいろいろなことを学びたい。

今までは法律を少しでも多く学ばなくては将来的に法律分野に進むにあたって不利になるのではと心配していたけれど、教授方の話を聞いて、理系分野のことも将来自分形成に役立つのだということを改めて認識できた。医療系のことも学びたい。

幅広い分野から教養を学べるということで、非常に興味が引かれた。将来に役立つように教養はしっかり身に付けたいと思う。

人物の「軸」をかたち造るような教育

歴史系を中心にA群を重点的に学んでいきたい。

未習者向けの講義があると聞いたので、文系の講義だけにとどまらず、理系の講義（物理など）も受けたいと思った。

専門科目と同様に一般教養科目も重視されているので数学など文系分野にとらわれず挑戦してみようと思った。

文系・理系にとられない学ぶ力を身に付けたい。私は文系学部だけれど、数学が大好きだったので、数学も学んでみたい。あと哲学も勉強してみたい。広い知識を薄っぺらな知識にならず。身に付けたい。

将来役立つ知識はもちろんのこと、他文化、地球、医療など自分の目指す道とはそれほど関連のない分野も学び広い視野を得たい。

環境と開発の調和について学びたい。物理も学びたい。

自分の学部の専門とは少し変わったこと。今この環境でしか学べないことを学びたい。

やはりリタンの無い授業は受けたくない。遠くても自分の将来に関係するものを学びたい。

法律や政治の科目に最も興味がありますが、中学生の頃からフランス語のきれいな発音にあこがれていたため、C群としてのフランス語の授業やポケット・ゼミでも学びたいと思った。

専門知識だけが豊富な法律家ではなく、現代社会のニーズに応えられる法律家を目指したいので、現代社会について等を学びたい。

幅広いことを学びたい。楽に単位を取りたい。

世界のあまり注目されていない地域から話題の地域まで地理と歴史をできるだけ多く学びたい。

心理学、地理学、各国の文化史、英語による講義などを学び、グローバルな教養を付けたい。

今までに触れたことのないような分野の学習に挑戦したい。

宇宙の神秘

法学に限らず、哲学、物理学など幅広く勉強するつもりです。今までに取り組んでこなかった分野を重点的に履修し、自分の視野を広げたいです。

多岐にわたる分野からこれまでの自分と縁が薄かったものにも手を出してみたい。

一つくらいはKUINEPの授業を受けたい。いろいろな分野のことを学びたいとも、専門的に深く掘り下げたいとも思うが、手を出しすぎると中途半端になると思うので、専門的なことを中心に学んでいきたい。いろいろなことに興味があり、ぱっと見ただけでは決められません。哲学、自然科学などどれもおもしろいので、時間割を考えながら決めようと思います。現在の社会問題や国際関係については特に興味があります。KUINEPは是非やってみたいです。

自分は法学部、文系学部には属しているが、一般教養の習得しやすい1・2回生の間に理系科目に積極的に取り組みたい。

人間が古代から考えてきたことを体系的に学べるというのはすごいと思うし、それを学びたい。

法学部に入学したが、元々理系で、理系の学問にも興味があるので、様々なことを積極的に学びたい。

国際関係、歴史、文化について、社会学思想

今までに生物や化学に対する理解が不足していたと思うので、苦手意識はあるが、いい機会なので思い切って学んでみたいと思う。時事的なことを理解するために役立つこと（イラク問題に関してイスラム文化など）を学びたい。

文系学部出身だからといって自然科学をおろそかにすることの危険性をひしひしと感じたので、B群科目でも特に物理や生物をしっかりと学びたいと思う。またA群B群の履修については、将来においての直接的な有用性にとらわれずに自分の興味があるものを選択しようと思った。

外国語をしっかりと学びたい。また文系科目だけではなく理系科目も学んでみたい。受け身の学習ではなく、積極的な学習を心がけたい。

3, 4回生時に向けた基礎と教養科目でしか学べないこと。

京都大学が自由な校風で講義のレベルも高いとは聞いていたが、ガイダンスを受けてみてそれは本当だと思った。自分は法学部だが、それとは直接関係のない科目にも挑戦して頑張りたい。

特に言語に関しては、1, 2回生の間にほぼ完成させたいと思う。特に英語は海外でも十分通用するような実用的な力をつけていきたい。

教養教育 本当に大事だと思いました。専門だけでは狭い分野で詞や視野が偏りがちですが、それを広げてくれるのが共通教育だと思いました。文理にとらわれることなく、興味のある分野を勉強したいと思います。

1回生のうちには専門科目以外の自分の興味のある科目をいろいろ取りたいと思う。高校までとちがって、自分の責任で勉強していかなければいけないと思うと不安も大きいですが、本当に自由に勉強できるのだと思うと楽しみだ。

あらゆる分野に精通できるようにいろいろな教養を学びたい。

外国語において書物などを読むのをはじめコミュニケーションの力をつけようと思います。また勉学の中の趣味の範囲のものを学びたい。

常識のある文化人になることができるための学問

経済学部 (アンケート提出率 93.0%)

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

自分の事務所を持ちたいので、適格な経営が出来るような学問を学びたい。何らかの資格も取りたいと思う。高度な知識だけでなく、多くの経験を積み、また、様々な人との交流を通して深みのある人間になりたい。

多様な才能を持った人と多くふれあって自分の魅力を磨きたい。

大学時代にしか体験できないことに取り組みたい。

自立性。勉強だけでなく、サークル活動にも積極的に取り組みたい。

大学の中で様々な事に対して興味を持ちたいと思う。理系的なところでも興味を持ったところには勝手に授業に出ているのもいいと思っている。新入生である時から考えるべき事ではないかもしれないが。

本格的に経営学などを学び、公認会計士への第一歩としたい。
英語を話せるようになりたい。社会に出た後、役立つ資格を取りたい。
高級行政官に必要となる幅広い学識を獲得するための環境を求めたい。警察官が適切にかつ迅速に法執行を行なうために、刑事訴訟法、刑法はこうあるべきかという研究。
様々な人と出会うことで自分の世界や視野を広げ、人間的に強くなるために行動しようと思う。
貧しい国の人達をどう支援していくべきなのか、経済を中心に考えていきたい。そのために、現在の経済はどういうものなのかをしっかりと理解したい。視野を広げるために世界の様々な文化も勉強したい。
経済学部といって経済に関することのみを学ぶのではなく、他学部（特に法学部）の授業も受けたい。ただ勉強のみのかたい人間にならないように適度に遊ぶことも忘れないようにしたい。
大学で将来やりたいことを見極めるために、色々な活動に取り組みたい。大きく言って、社会的に育みたい。色々な人と接し、交流することで人として広い幅を持ちたい。また、社会で通用する人となるため、礼儀なども含め、様々な知識を身につけたい。
自分の本当にやりたいことを探してそれに取り組む。周りの人達との交流を通して視野を広げ、成長する。具体的なことは自分の中にとどめておきます。
自分のやりたい事を見つける事。また、その実現のサポート。自分はそれに全力で取り組む。
自由自主の学問、部活動、サークル等、今までの生活にはない新しい経験を通して自分を成長させていきたい。授業やサークルを通して、社会人としての常識を身につけたい。
充実した授業を求め、経済に関する知識をはじめ、他分野に渡る知識を身につけたい。また、1回生の間は生きるかぎり「教養」を身につけたいと思う。
京大は自由であると言われるが、自由であるだけに、何を学ぶべきか、自分で決定する必要性がある。先輩の話を聞き、広く情報収集しながら、自分の進むべき道を決定し、その道に即した学問を身につけたい。また、常に学術研究で最先端をいく京大で学び、幅広い分析力を養いたい。
周囲の人との補助を受けながら、物事を考え抜く訓練をしたい。自分たちの生活に密着している社会保障の勉強をしたい。（公私の役割分担はどうあるべきかなど。）人間関係論を学びたい。
未知の学問領域の経済学を基礎からしっかりと学びたい。将来はアジアの地域研究をしたいので、それに関係する経済・政治の勉強もしたい。
高校時代には出来なかった、深く掘り下げた探求や、大学でしか経験できないようなサークル活動。
専門的な勉強をしたいのはもちろんですが、それ以外に学生生活の中で様々なことを体験し、社会勉強したいと思っています。
人とのつき合いや学問を通して、自己の成長、良識、専門的実用的能力をつけること。多くのつながりをつくること。バランスよく能力をつけること。
起業し、うまく経営していける力をつけるために経営学を多く吸収していきたい。
雑学以上の専門知識（興味のある歴史、経済、社会について）、学校外での社会勉強。多様な考え方を持つ人と出会うこと。
まったりとした、平和で豊かな日本を取り戻す。Get Back1970! をして隠居。
社会の時流に惑わされることのない本物の教育。
地元では、会えないような人に出会うことができると思うので、そのような人と出会うことで自分の世界を広げたいと思う。また、国家公務員試験合格を目指すと出会えることに期待する。
安定した将来の生活を求める。
大学の名前にふさわしい興味をそそるような講義を求め、今まで自分が知らなかった分野の学問に取組みたい。自分が一生打ち込める学問分野を見出し、その分野の基礎基本をしっかりと習得する。また、京大に集まってきた様々な人々と交友を持ち、学園生活を楽しむ。
人間的な成長。高度な研究。
私は京大において何を求めることになるのかはまだよく分かりません。様々なことをこなしていく内に、自分の進む道を決めることが第一課題であると思っています。私は資本主義と社会主義の良いところを組み合わせた社会が理想であると思っています。その考えをより具体的に示すことが勉強での目標です。
語学を頑張りたい。色々な資格に挑戦したい。普段ではなかなかできないことに触れたい。
大学に入学したばかりで早く大学生活に慣れて、大学生活を楽しみたいと思う。勉強だけでなく、サークル活動などにも積極的に取り組んでいきたい。経済学部の中でもやりたいことを見つけたいと思う。
求めること 自己の確立（教養的にも観念的にも） 取り組みたいこと 外国語、数学、コンピュータ

自分が本当に興味のあることを学びたい。そのための環境を求めたい。
高校時代よりも深いレベルの学問、研究に繋がる講義を求めている。自分自身で課題を見つけ、その課題を深めたい。
幅広い分野の知識を身につけて、漠然としている自分の将来像をより具体的なものにしたい。
出来ることに取り組みたい。学業にとどまらず、社会経験、その他もろもろなど、体力の続く限り、能動的に動いていきたい。
常に刺激を与えあい、共に切磋琢磨しあえる仲間。将来、自分になりたい就業を見つける。
人生の宝となるような友を得たい。理想の自分に近づくために必要なことに取り組みたい。
広い分野にわたる多岐の教養と経済の専門的な知識を修得すること。国際的な観点から物事をとらえられるようになりたい。
自分のやりたい事が見つければ、それに100%打ち込める環境を作って欲しい。
自分の将来に繋がる勉強をして、将来への土台を作り、また、友だちを作って人脈とする。
将来的にジャーナリストになりたいので、経済学中心ながらも幅広い知識や教養を身につけたいと考えています。また、課外活動を通して、様々な経験を積みみたいと考えています。
京都大学の個人の「自由」を尊重する校風ややりたいことのできる環境の中で、経営学や流通マーケティングなどを学び、勉強やサークル活動を通して、自分自身の人間性を高め、可能性を拡張したい。
野球。図書館。
就職が出来るよう、資格取得を第一にして、自分の趣味の勉強もがんばりたい。
コンピュータに関する授業を充実させて欲しい。
あまりよくわかっていないが、出来るだけ好きな勉強が出来たらよい。返して言うと、嫌いなことを単位のためだからとイヤイヤやらないというのがよい。といってもそんなうまいこといかないので、全ての授業に興味の持てるようなおもしろさがあることを求める。そしてマイペースにたのしく勉強することにとりくみたい。
多方面に渡り、知識を修得し、それを活かし、実践できるようになりたい。地理学を究めたい。
世の中のことについて自分なりの判断を下す。価値基準、視野を広げていきたい。
分野にとらわれず、おもしろそうなことを多く学びたい。知的な刺激。
切磋琢磨
学歴を得ること。経済に興味があるので、将来、経済関係の仕事につくための知識を得たい。
数ある大学の中から京都大学を選んだ理由は以下の通り。(1)人それぞれではあるが、皆、何か一つのことを極めようと集まってきている学生が数多く在籍していると考え、彼らと友人関係を構築していくことは幸せであろうと考えたから。(2)(1)の基盤となると思われる先生方が素晴らしいと考えたから。(3)選択科目など、様々な面で自由の学風で、自己責任が伴うも、その分得るものも大きいと考えたから。自分が社会に出た時、社会が直面する様々な問題があると思いますが、そのうちの1つでも解決し、自分に出来ることをして、貢献できるようになるために、大学で学ぼうと考える。そのために幅広く色々なものに触れたいと考えている。
4年後の就職に役立つ知識や教養、および、人脈を得たい。
本学の自由な校風の中で、経済分野におけることはもちろんその他の幅広い教養や知識を得られたらと思う。社会に出て、一人で生きていくための知識や技術、心構えを身につけたい。また、自分の興味ある分野を発見し、それについての考えを探したい。京都の魅力を再発見したい。
自分の興味を引き、打ち込むことが出来る分野を発見し、そのことについて奥深く追求していきたい。
前書き：京都大学にてミクロおよびマクロ経済を習熟し、マルクスを片手間にケインズを学び、人と貨幣の繋がりが、あるべき銀行像を探求し...と言い出すのはものすごく正しいけど、ちょっとまった。初対面同士が名刺を交換するように、しゃべりだす前には自分のスタンスを披露するのが礼儀だ。アカデミズムはストーンベージュ色の画用紙を93枚に切り分けたくち、おそらく、1枚かせいぜい2枚だと僕は考えている。本書き：アカデミズムの世界でどうしても学ばなくちゃならないこと、については100%の力を注ぎ込むというのが僕と京都大学と付き合いしていく基本的なスタイルになるだろう。ミクロ経済学もマクロ経済学も情報論理学も数学基礎 AB、映像作品を作ろう、音楽、原題芸術論もとりあえず、多くの科目とはそのように付き合いしていくことになるだろう。後書き：僕の生活の幾つかの歯車の一つとして、京都大学とはビジネスライクに付き合いに行きたい。
経済は社会で生きていく上で、どんな場面にも必要なことだと思うので、柔軟なカリキュラムを生かして、様々な分野の知識を吸収したい。特に環境経済など。
京都大学は古い歴史を持つ上に、何人ものノーベル賞を受賞した先生もいる。こんな雰囲気の中で自分の勉強

も進むと思う。将来、日中関係と繋がっている職業に就きたいと思う。だから、大学に入って日本語だけでなく、専門科目も一生懸命に勉強したいと思う。

分野を越えて幅広いことに取り組み、京都大学という name-value に依存せずに生きてられるような大きな人間になり、生涯においての自分自身の核となるものを見つけたい。

京都経済を学ぶこと。

経済学を学び、その知識を生かして、経済的な観点から国際的な事業や外交関係に携わっていききたい。また、歴史から様々な経済の仕組みを考えていきたい。

京都大学の自由な気風にひかれて入学したので、1 回生、2 回生のうちは学問だけでなく、サークル活動や社会勉強にも励み、2 回生の途中辺りからは、何か資格を取るための勉強を始めたい。

将来に向けての実用的な力。自由な時間の楽しみ方等を身につけたい。

最先端の講義を求め、板書の字を読みやすくするなどの、授業における最低限の丁寧さは求めたい。特定の政治思想で教授陣を占めるようなことはやめてほしい。強国が出現する仕組み、経済戦争から軍事的な衝突に至るプロセスを研究したい。

京都大学の豊富な設備と資料を用いて、政治・法律経済・軍事から音楽や美術に至るまで、幅広い知識を吸収、整理し、また、それを活用し得る機会を探す場として利用したい。特に宗教・哲学などの深みにはまらないよう、自己の思想軸たる情報を早期に練り上げ、他社を撃破できるだけの余裕を持ちながらも異なった考えを認めるだけの寛容さを身につけたい。更に集中して、語学に励み、国際社会における障壁を可能な限り排除し、教養と気品を磨こうと思う。

京都大学に自主・自立の精神を求め、入学を希望しました。入学できた今、私自身にとって関心があり、また、興味深い経済分野（特に会計学）についての知識を自学自習により習得していきたい。

多くの人に出会い、感化され、自分も何かを他人に伝えられる人間として成長していきたい。文化交流、国際理解というものが、経済、ひいては社会にどう関わり、役立ち、喜びとなるのか、その関係性を多少見出せたらと思う。

自由に自分の好きなことを出来る環境。夢中になれるものに取り組みたい。でも、それはまだ何かはわからない。バランスよく行動したい。本を読むだけでなく、映画、演劇、美術、スポーツなど、バランスよく行動し、成長したい。

自分がどれだけのことが出来るのかを分かるために、すべての両立は非常に困難であるので、勉強、スポーツ、バイトのいずれか、またはどの2つかを真剣に取り組んでいきたいと思う。

京大全体に溢れているアカデミックな雰囲気の中で、高校では学習しないような専門的勉強に取り組みたい。学生同士の交流、特に各専門分野での活発な議論を求めます。自らの専門以外でなく、幅広い教養と確かな知識を土台として、実社会に通用するような力をつけていきたい。

経済が法曹か、自分の中でまだどちらに進むか定まっていないので、一般教養科目が比較的多く取れる本学部で幅広く学び、進路を決めたい。また、音楽や文学などの芸術面でも大学生活（多様な人間との交流を含む）を通じて幅広く触れたい。

統計を学びたい。必修科目がないことを活用して、幅広い分野にわたる学習をしたい。ポケットゼミに参加したい。

まだ何も知らない経済について理解を深め、将来、役に立てる。京都大学でしか学べないものを学びたい。

京都大学特有の自由という風潮に則り、経済の分野から外れたことにもすすんで参加しようと思う。

自由の学風の中で経済学を学び、それを応用して、独自に研究を進め、最終的に新たな経済理論を構築するのが目標。

学習やサークル活動等の幅広い分野に積極的に参加して人間関係を豊かにしたい。将来、世間一般で通用する教養と常識を身につける。

京都大学で世界に通用する高度な知識や技術、能力を身につけていきたい。京都大学は自分のやる気次第で様々な学問に触れることが可能なので、そうした機会を最大限活用していきたい。

深い教養を身につけ、現代社会の中に存在する国際的な問題を解決できる方法を学びたい。その方法とは主に経済と法律に関係するものだと思う。また、趣味として建築を学びたい。

はっきり言ってわかりません。何を求め、どんなことに取り組みたいかを考えるために京都大学に参りました。高校生としての狭すぎる見聞ではそれさえも分からなかったのです。恥ずかしい。すいません。

求めるもの：自分のペースで学問を出来る環境。受験勉強の時のような緊張感もある程度必要だとは思いますが、社会人になった時も継続して学問していける人物になるという意味も込めて、自分で緊張感の枠を作ってい

たい。取り組みたいこと：自分は強固な意志を持っているわけではないが、そのぶん興味がわいたことには何でもかんでも取り組んでいきたい。

京大らしい生活を求め、一人前の大人として生活するのに必要なことに取り組む。

世界で通用する教養と経済感覚を求め、他国の人との交流を積極的にもち、幅広い交流関係を築く。

世界経済に精通した人物になりたいと思う。人的交流も同時に深めていきたいと思う。

社会に出た時に一人前の社会人として立派にやっていけるだけの知識、人格を備えるよう、学習指導して欲しい。大学生生活を充実したものとするために、学問に励み、多様な人間関係を築くことに取り組みたい。

求めるもの：絶大なる精神力、体力、思考力、人徳、そして行動力とその勇氣。取り組みたいこと：まず、政治経済の勉強に励みたい。そうしながら、様々な思考の人間と議論を尽くし、自分の思想を大勢の前で伝える能力を身につけ、自分の思想を強固にしつつ、柔軟な姿勢を築きたい。

アメフトを一生懸命に頑張っは是非日本一になりたいと思います。その前提として単位はしっかり取り、バイトもやっていくつもりです。

世界的な経済の流れを掴んで、経済的な視点から世界の諸問題を解決できるような取り組み、アプローチの仕方をさぐりたい。(食料難、紛争、ユーロの導入以降 etc) 多くの人と交流して、自らの価値観に幅を持たせたい。とにかく英語力をつけたい。

大学でしか学ぶことの出来ない、より専門的なこと。特に「経済」というものに対して、かなり関心があるので、自分の「本当に勉強したいもの」を模索し、勉強していきたい。ただ、それだけだと「偏りがでてくる」と自分の中では考えているので、他の分野の学問をはじめ、部活動などの多くの様々な活動にも参加していくことで、自分の視野を偏りのない、より広く、深いものにしていきたい。

面白い学問分野を見つけたい。

実際の就職・起業等に繋がる技能・語学力の習得。

広い視野を持ちたいので、他国の人達とも積極的に関わっていきたい。自分の中にある漠然とした考え(世の中に対する)をしっかりとした形にして、社会に出て一人ですっきりと生きていける力をつけたい。

大学では、受身的ではなく、自主的に学問を究めたいと思う。京都大学の発展に貢献できるよう、努力したい。熱心な教育を求めたい。留学、クラブ、勉強、資格などに取り組みたい。特に勉強には力を入れて、好きなことを思う存分やりたい。

経済を勉強して、世間の動向を理解できるようになりたい。

無教養を痛感しているので、学べるものは出来るだけ学び、最小限の枠にとどまらず、知識を吸収したい。

自分を向上させるために、積極的にアプローチ出来る場を求めます。勉強をはじめ、サークル活動など多くに参加したい。

公認会計士等の資格の取得の支援を求め、資格の取得に取り組みたい。

求めているもの：ネームバリュー、新しい交遊、自主性。取り組みたいこと：勉強、バイト。

経済学の理論と実際について学びたい。経済は勿論のこと、政治などにも興味があるので、幅広く学びたい。

京都大学に自由を求め、自分の好きなやりたいことに取り組みたいと思っている。

自分がこれから生きていく上で、糧となるように様々なことを経験し、成長すること。将来、企画系の仕事に就きたいので、それに役立つこと。

目標を達成するための基礎を築きたい。

自由な校風の下でのびのびと文武を両立させたい。卒業後、社会に通用するような専門知識を学びたい。

生きていく上で、負けない為の糧を得る。

京都大学の世界的なネットワークを利用し、海外でマーケティングを学び、活躍する為の土台を作りたい。

非常に抽象的な言い方ですが、京都大学で色々なことを学び、そのことを通じて豊かな人間になりたい。頭を使って色々なことを考えて、思索をめぐらすことで、色々な新しいものが見えてくることを期待しています。

グローバル社会において、国際的に活動していくために必要な知識を得たい。外国語も自由に使えるように努力したい。国際経済学を中心に専門的な教育を受けたい。

自由な学問。地理と経済学をからめた学問をしたい。地域の経済について学びたい。

自分の生涯をかけて取り組める何かを見つけるための環境、機会を京大に求め、そのため、学問はもちろん、興味を持ったものには何でも積極的に取り組みたい。

知識、思考等、様々なことにおいてまだまだ未熟なので、これらを鍛える中で自分を高め、また、経済学に限らず、様々な分野に習熟し、多角的なものが見方出来るようになりたい。

将来の目標の枠が固まっている私にとって、京大で求めることとは、文・理系にとらわれることなく、多くの

人と接し、多くの刺激を受けることです。将来、企業経営をしたいと考えているため、このことは非常に自らにとって有意義であると考えます。また、授業に積極的に取り組み、目標をより具現化出来ればと考えます。志の高い人々と交流を深め、人間性の向上に努めたい。また、世界の貧しい人々のために自分が何が出来るのか、その可能性を探したい。今までは自分の意志で出来ることが限られていたが、大学では自分の意志と責任において色々なことに挑戦してみたい。特に部活動やサークル活動には大変興味があります。

うすく広い教養を身につけたいので、一般教養にも力を入れる。

専門的な知識、理論、思考法を学ぶと共に様々な分野を幅広く学習することで、自分という人間の幅を広げていきたい。具体的にはフランス語などの語学や文学、社会学の諸分野に触れて親しみ、専門として経済学を勉強したい。環境経済学などに興味がある。

経済についてとことんやってみたい。一年間慶応大学にいて、経済の基礎は学べたと思うので、より優秀な人達の中でより発展的な経済学に触れてみたい。

京都大学ならではの自由の学風を生かして、学業とともに趣味をも深く掘り下げ、これからの人生を有意義に暮らせる土台を作りたいと思っています。

語学を勉強したい。専門はその後でいいです。

中国からの留学生として「瞬息万变」の時代で成長して勉強している。だから、京都大学の自由な環境の中で「変」を探したい。「変」と「不変」を研究したい。今後の中国は変え続ける？このままで平穏で発展する？世界の今後の発展の方向、何か歴史の道標になった？以上は全部自分の求めることだ。

経済専門の知識を中心にいろいろな知識を勉強しておき、日本人の学生と交流したり、課外活動に参加したり、充実な学生生活を送って行きたいと思っています。

自らの知的好奇心を満たしてくれるような、またそこから新たな好奇心、興味を湧かせるような選択幅の広い講義、また、講義内容を詳細に検討、研究する自由度。個人の目標としては、そのような空間で自分なりの現代社会に対する総合的な見解をはっきりと答弁出来るくらいの知識、教養を身につけ、その社会の中で自らの幸福となる道を模索すること。そして何よりも上記の種々の体験を共にする多くの友人達に出会うこと。京大でしか学べないこと。この年齢でしか取り組めないこと。興味の無い分野でも進んで求めていきたい。せっかく京都大学に通うのだから、他の大学にはない京都大学でしか出来なさそうな事を何か考え、それに組みたいと思う。

あらゆることにおいて、自分の能力の限界にチャレンジし、その上で、更にその限界値を大きくし、経済学を社会に出た後、自分の武器に出来るようにマスターしたい。

京都大学に入るために、浪人した一年を含め、多くの時間を費やしてきたので、その時間に見合い、かつ、これまでに得た知識や経験を最大限に生かせるような勉強をしたい。

将来の職業を決定する上で、経済をはじめとする色々な分野に対する興味を持ち、取り組んでいきたいです。特に経営学に対する興味があるので、積極的に経営の戦略や起業の仕組みを学んでいきたい。

高度化する情報社会において、増え続ける犯罪が経済にどのように波及するのかについて

今までは受験のためだけの覚える勉強が大半をしめていて、ほぼ理解しないまま終わっていたので、京大では物事を体系的に理解できる学習環境を求め、世界的水準に対して劣っている日本経済に貢献できるように世界の様々な経済を理解して積極的に学習していきたい。

せっかく日本まで留学しに来たわけですから、やはり学問に取り組みたいです。京都大学の自由の学風に憧れていますから、自分がやりたい勉強が出来る京都大学で色々なことにチャレンジしたいと思う。

自分が全身全霊をかけられるものを見つけたい。それを達成するために必要な知識・能力を大学生活を通じて身につけたい。

人文社会、社会科学の色々な分野の中、歴史、文明、文化、政治学、心理学などについて興味をもって、これから幅広い知識を勉強したいと思います。高い人間性、豊かな教養を養うことを望みます。

資格取得のための勉強や、理系・文系を問わない幅広い教養のための勉学に励みたい。また、受験期に興味を持った事柄を深く探求したり、趣味の分野をもっと広げていきたい。将来の事を視野に入れて、京大で得られる様々な機会を最大限に利用したい。

十分に自分のやりたいことに対応できる人脈を求める。現在の日本を中心とした経済状況を正確に認識し、それに対して自分のやるべきことを見つける。

筋肉と勉学。

学問、研究活動に対する充実したサポート。その時、その時になすべきことにひたむきに取り組みたいです。毎日、ハリのある生活さえ送れば、それ以上贅沢なものは期待していない。

充実した教育施設をもつ京都大学で専門の経済、経営はもちろん、他分野の科目も多く学び、広い視野から物事を見れるようにし、また、国際化が進む世の中についていけるだけの教養を身につけたいと思っている。友人を作り、社会で生きるために必要な知識や見識を身につけたい。

パラ経をぶっつぶして、みんなが教養のある人間となるような学部生まれ変わらせる。そして東大文二に勝つ。(できれば、論文入試もなくす。)

人間について知りたい。

専門の経済にかぎらずに多くの分野について幅広く取り組みたい。

自由な校風であることの特権を生かし、様々なことを体験して、真の教養を身につけたい。

国際化が進む社会において、通用する語学力を身につけ、あらゆる人間生活の基盤となる経済学の基本を身につけたい。

経済学、経営学といった学部特有の知識を丁寧に学ぶとともに、外国語力、数学力といった基礎力の向上や幅広い知識の習得を実現し、自分の能力を出きるかぎり高めたい。将来は国際商社で力を発揮したいので、国際性、社会性、独創性といったものを大事にしていきたいと考えており、そのビジョンに沿った内容を伴う授業内容を期待していると共に、長く付きあえる友人関係を築く機会を多く持ちたいと思っている。勉学、趣味、交友の三立。

まだ、よく分からないが、普段の生活で実感していることを理論化する方法を学び、つまり、講義でこれはこういう風に理論化されていると学んだり、あるいは、まだ理論化されていないかもしれないものは、講義で学んだことを生かして、理論化に向けて努力する、ということである。そうすることで、少しでも社会が見え、社会をより良くする方向になればいいと思う。

京都大学に入学して、経営、特に国際的な経営について学びたいと思います。また、京都大学で様々な経験を積み、そして、幅広い知識と教養を身につけることも目標の一つです。卒業したらこの現在の社会でうまく立足できるようにしていきたい。

公認会計士になりたいので、簿記など、関係のある授業を受けてみたい。

将来の夢が決まるような発見や出会いを求めている。また、本当に興味のもてることを見つけ、将来につながるように取り組んでいきたい。

経済を通して、日本・世界を見てみたい。精神的自立。幅広い教養の修得。

専門知識をしっかりと勉強するうえ、いろんな教養を身につけ、日本文化を理解し、国際的な視野で世界を改めて、認識出来るようになりたい。また、興味のある別の分野にも接したい。

何か大きなものに取り組むための人脈を得ること。経済、社会、人間についての考察を深めていき、自分の世界観を創りあげていくこと。

最上級の教育を求め、学際的学問研究に取り組みたい。

今までの学習人生には経済に関する系統的な勉強の経験はありませんでした。その中で、経済の知識を勉強する意欲はますます強くなりました。京都大学で経済学、金融工学、財政などの勉強に一生懸命に取り組んでいきたい。

より、複雑化する現代において、少しでもこの世界を良くしたい。また、そうするには、どうすればよいか学びたい。

京都大学で様々な人に出会いたい。自由の学風によって、個性的な人々が多く入学してることを期待しているので、出会いを重視したいと思う。また、在学中に自分のやりたいことを見つけたい。

現在の不況の原因を探ること。

一つのことにとらわれず、出来るだけ、広い視野を持ち、世界を考えられるよう、思考力を高め、また、そのために多くの経験(フィールドワーク)が出来ればと思う。

講義をとっても楽しみにしている。今までの自分にはなかった新しい考え方を吸収し、視野を広げていきたい。

会計学について学びたい。

4年間の学部生期には、経済学を基礎から学ぶとともに、興味のある文学、史学、数学の知識、理解を深め、また、様々な分野に対する見識を深めることで、幅広い教養を身につけたい。その後は、大学院に進学し、経済学を更に勉強しようと思っている。以上の意志をもって、京都大学経済学部を選んだので、この初心を忘れないように、学問に励みたい。

世の中にある事象の真偽を見分けられるようになりたい。知的好奇心溢れる学生と交わりたい。

今までに学ぶことがなかった新しいことを学びたいし、また、すでに学んだことであってもさらに深いところまで学習したい。

日常生活をごく普通に生きている一般人が、ある日、異常な事態に陥る。例えば、浅田農産の会長は防疫の対応は悪いものの、ある意味、被害者であり、メディアや行政、一般人に見殺しにされ、自殺したと思う。もう少し、強い人間なら自殺回避できたかもしれないが、人が二人死に追いやられ、それも養鶏業の智者である夫妻。外部の防疫業者だけがもうかり、行政も新しい予防策も今のところ考えていない。誰でもが陥る可能性があるのに、我関せずである。何も変わらない、スケープゴートが生まれるだけである。年間自殺3万人が5年間も続いている。何でこんな構造になっているのか。世の中の金の流れが悪いのか、法が悪いのか、大学の頭をもって回避できないのか。誰もがノープレッスオプリージュレスを果たさないからか、とにかく、具体的に深く実用性をもって勉強したい。人間、環境、他の生命は次世代の財産である。うずもれた知の財と知のダイナミズムを求め、生命、環境を連環の中で無駄にしないことに取り組みたい。

休息とやすらぎを求める。受験で疲労した。

知性と教養と倫理を求め、世界経済の理解と応用に取り組みたい。

生きていく上で必要な智識、知恵の習得。ものを考えるための基本的な知識の習得。社会について考える。何かを変えようとか、人の役に立ちたい、とかはさほど考えていない。一言で言うなら、世界の全体的な構造を理解したい。興味のある分野は地理歴史、哲学、政治、宗教、経済、物理など。特に政治と宗教は広くやりたい。どれか一つ選ぶ気は今のところないので、気楽にやるつもり。

社会経済のしくみを理解し、多くのことに興味をもって、その中から本当に自分の深めたいものを探したい。京都大学に(学問に対しての)自由を求め、その中で専攻にとらわれない幅広い教養に取り組みたい。それと同様に将来の夢、NGO設立に必要な知識を得たい。

京都大学では大学のもっている蓄積された経済の理論を学び、現在の金融システムの欠点や問題点を専門的な目から判断できるようになりたい。

いろいろな分野に触れ、自分が興味を持ったことについて深く追求したい。そして、その方向に将来進めるように努力したい。また、海外経験を積んで国際的に活躍していけるだけの力をつけたい。

良い人間関係、ネームバリュー、充実した施設の中、自分を高めて社会の中でリーダーとなれる力をつけていきたい。

教養を深め、人間性が成長できればよいと思っているので、様々なことを学んでいきたい。部活やサークルを通して、友人も増やしていきたい。

何かひとつふたつの(特に経済分野の)専門知識の獲得。プラス、将来にまで続く人間関係を築ける仲間。

Q.2.本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A.以下のとおり(:男子、 :女子)

文系科目だけじゃなくて、数学とかの科目も学びたい。

これからの人生の上で重要な分岐点において、適切な判断を下せるように、それを支える教養を学びたい。専門とは違った方向のことを多く学んで、興味を多方面に広げて、幅広い人間性をもちたい。

法学関係。

国際的、かつ、広範的な視野を持てるように、幅広い分野を学びたい。

哲学、歴史、数学。

投資の確率論。

社会における法の役割。

高校時代から、国語の先生によく、「教養を身につけなさい」と言われてきたが、いまだに「教養」がどういうものか分からない。ただ、林教授のおっしゃっていたように、将来、就職した後で、教養の重要性が分かると思うので、まずは、分野を問わず、様々なことを学びたい。特に理系科目を勉強してみたい。

この機会に偏ることなく、あらゆる知識を吸収しようと思う。大学のうちだけでなく、生きていく上で、自分の糧となるような学習をしていきたい。

品のある人間となるための教養を身につけたい。知るということを追及していきたい。

語学は特に重点を置いてやろうと思う。また、初修授業も多いようなので、今までに経験したことのない授業も受けてみたい。

後々になって、学んでおいて良かったと思えること。受験勉強とは違う、専門分野の基礎となること。

行動科学系、社会科学などに興味を持っていたので、それを中心に学びたい。

他学部で学ぶようなことを学んでみたい。理系学部の科目も知っておきたい。

将来、社会に出て、活動するに当たって、文系、理系にこだわらない幅広い知識の最低限のものは身につけておきたい。

世界、社会の経済動向を正確に理解し、実用出来る力はもちろん、学問の奥深さ、素晴らしさを学びたい。京大の教養科目は、幅広い内容を幅広い内容を学べるので、昔から漠然と興味があった分野を学問として学びたい。数学はあまり得意でないが、経済をやる以上頑張りたい。

理系の科目はあまり興味が無いが、物理などにもチャレンジしたい。専門に行く前に、自分の価値観の形成をしたいと思う。

経営以外にも情報系のことなどを学んで後々に教養にも経営にも繋がるようなことを学びたい。

高校生の時は教養と聞くと重苦しいものと感じていたけれど、浪人生活を通して教養の大切さを知ったので、専門科目とは全く異なるような科目も受けて幅を広げていきたい。

単なる実践的な学問のみを求めるのではなく、豊かな人格形成のため、人文科学、自然科学を問わず学びたい。一つのことにしか習熟していないような人間にはなりたくないで、自分が興味ある法学、経済学を中心に幅広く学びたい。

講義が非常に内容の詰まったものだと思った。受験の時に学ばなかったものにもチャレンジしたい。

自分が興味ある数理経済学の基礎となる数学を学び、経済と関連が強い法律、政治、社会学の分野を学び、多角的視点から現代の社会を捉えられるようにする。

将来の資格の基礎となる科目、又は、自分の好きなB群を主に学びたい。

今後のためになることを出来るだけ多く学び、色々挑戦してみたい。外国語はしっかり身につけたいと思う。

語学や社会科学系はもちろん、高校の時にほとんど学習しなかった理科系も学びたい。

いろいろな考え方の基礎となる教養を深め、生涯味わえる知識を身につけたい。

幅広く学び、専門科目を深める上で欠かせない大きな視点を持てるように、理系、文系問わず学びたい。

自分が興味を持った科目を積極的に学んで、これからの人生を生きていく上で糧となるような知識を身につけたい。

西洋史や図書館学、自然科学系では高校一年で挫折した物理を学びたい。

社会に出たら決して学ぶことの無いもの。

全体の流れを見て取れる人間になりたい。

一生を通じて自分が学んでいけること。就職に有利になるようなこと。

一年浪人し、京大に経済学部に入學したのですが、現役の時は理系で、理系分野でも興味のある分野があるので、積極的に取り組みたい。

経済であまり関係ないこと。そういうのは、3、4回生にしておいて、今しか出来ないことをしたい。

人文科学を少しやってみようと思う。

興味はあるが、あまり得意でないB群科目で挫折せぬよう頑張りたい。

人間の本質。

ポケットゼミなども最大限利用し、将来に役立つよう教養を深めていきたい。

思想や哲学。

物理学、東洋史、生物学。

役に立つか立たないかを考えず、興味のあるものを学びたい。

教養教育は一人前になるまで、豊富な人間性が養える授業だと思う。専門科目以外、別の分野の知識も勉強できると思う。これらは将来の私にとって計り知れない財産であるかもしれない。

あまり受験期になじみの無かった物理学を学びたい。また、歴史や心理、国際政治についてのことを教養として学びたい。

これまでは大学では専門知識に比重を置くものだと思っていたが、今日のガイダンスで人格形成の基礎を造る教養教育の重要性が分かった。人間性を広めるためにも、地理歴史などの高校時代から触れてきたものだけでなく、未知の科目にも挑戦していきたい。

社会科学を正確に究める上で、前提となる歴史学、古典を学ぶとともに、専門分野にとらわれない広範囲な教養を身につけたい。(特に情報科学分野)

いまだよくわからない。話の半分も理解できない(ややこしい)。授業の仕組みなどがさっぱり分からない。

自分の好きなことが見つかるまでは出来るだけ色々なことに取り組み、自分を高めるようにしたい。

ガイダンスで教授の方がおっしゃっていたように、学部の専門科目のみを学習するのではなく、教養を深め、様々な分野における知識を獲得していきたい。

大学1年目、まずは初習外国語に特に力を入れて勉強したい。言語とともにその言語を使う人々、国の文化についても学びたい。また、哲学に漠然とした興味があるが、予備知識がほとんどないので、入門的な授業に参加してみたい。

人間性の充実など、どんな形であらわれてくるのか分からないが、教養を身につけた人のみ感じるものなどあるのだろう。確かに教養に溢れていて、話しているだけで、すごい人だと感じる人もいる。そんな人に少しでも近づいていきたい。

歴史学、心理学、法律学。

今日のガイダンスで忠告されたように、基礎固めとして、教養教育に力を注いでいきたいと思った。

人文科学では文学、哲学など、自然科学では物理化学など、今まで触れたことの無く、かつ、興味のある分野を学んでみたい。受験科目の都合上、妥協したものについてもしっかりと穴埋めしておきたい。

理系分野の科目からも積極的に興味ある授業を受けたい。履修届を出すまでにしっかりとシラバスを読んで、いろいろな授業に挑戦したい。

知的好奇心をくすぐるもの。

思考力を高めていくような勉強をしていきたい。

経済学部は文系に属してはいるものの、理系に近い部分が多いと思う。その経済学部で一定の成果をあげるためには、理系の学問をある程度理解できる力が必要だと感じており、教養教育は数学を中心に物理なども学んでみたい。

選択科目の幅が広いので、1、2回生の間に専門以外の科目を色々学習して、幅広い視野を持てるようにしたい。

経済はもちろん、法律と建築を学びたい。

速効性があるだけの軽薄な学問ではなく、ボディブローみたいに後からじわじわきいてくる、どっしりとした、しっかりとした根を持った学問を学びたい。後に振り返ってみて、満足できる、そういうものを学びたい。

アメフトを中心に捉えたいので、何とか単位をとっていかねばいいと思っています。

全てが新しくてまだよくわからないことがすごく多いのですが、少しずつ慣れていくと思っています。

語学（KUINEPに出て英語力をつけたい）近代経済学、東洋史学。

動物学と心理学は興味深い。多角的に物事を捉える人間になりたいので、今から専門に絞ったりはしたくない。専門だけではなく、教養も身につけ、Gentleman 目指して頑張ります。

哲学や思想についての講義を受け、様々な考え方を学びたい。

これから生きていくうえで役に立つような、実生活に則したものをやりたい。

目標と関係なさそうで、自分が楽しめそうなものを学びたい。

日本の政治の制度等。

自分の価値観が変わるような、また、これから生きていく上で意義のあることを学びたい。

20年後も役に立つ知識。

ポケットゼミとKUINEPに興味がわきました。特にKUINEPで生きた英語力をつけたいと思う。

文系科目は経済、法学関係の教科以外では思想史、哲学史を学びたい。理系科目では、数学、化学が好きなので、何とかついていけるようにしたい。

日本を背負える教養。

物理や化学についても基礎的な知識は付けておきたい。A群に関しては哲学、文化人類学に興味あり。

第一に、広く人文科学系統の学問を学びたい。第二に、理系科目、自然科学の素養を得たい。第三に、専門科目は3回生以降に重点を置いて、時間を多く全学に割きたい。

人格形成に必要な広範な分野。

外国語に力を入れて、第三外国語まで学びたい。

まず、自分が学者のような人になりたい。広い領域の知識をもって、理性的な考え方を身につけ、また、研究したいものを研究するために、必要な知識を勉強しなければいけない。基礎は大切。

現代社会のあらゆる出来事（自然科学、政治経済など）に対する認識、思考を可能にする「教養」を身につけたい。また、その際の「教養」とは同時に高い知性、人間性（客観的見解を得られるものとして）を獲得出来るものでありたい。

経済学以外で先入観を抜きにして様々なことをやってみたい。この選択で将来の幅を広げられるようにしたい。とっつきにくそうな授業でもせっかくのチャンスなので学んでみようと思う。

自分自身の将来像をまずじっくりと考え、その自分に必要なものを学び、同時に人間としての自分を磨けるようなものも多く学んでいきたい。

受験生の頃から漠然と学際的に学びたいと考えていたが、今回のガイダンスを受けて、その機会をいい形で得られる期待を持った。文理にとらわれることなく、自らの興味を広げるべく、意欲的に学びたい。

年齢を重ね、世間に出た時に他人と渡りあっていくうえで、必要な高度の教養を身につけたい。

森毅氏の本で「文系の学生は理系科目を、理系の学生は文系科目を学んで、枠を取っ払うべき」とあるのを読んで、なるほどと思ったが、今日改めて、そのことを認識した。

経済は独立しているものではなく、その時代の風潮や出来事などとも密接に関係しているので、歴史や哲学を学びたい。また、文系理系にとらわれず、理系の分野にも接していきたい。

これから自分の専門に関する知識だけではなく、将来、自分にとって社会にとって役に立つ知識をしっかりと勉強しなければならない。

全学共通科目の選択の自由度が高いことを生かして、A群では哲学、思想系の科目、B群では地学、生物系の科目について知識を深めたい。

京都大学は授業が充実しているので、興味のある内容は沢山見られた。出来るだけ、幅広い知識を身につけられるよう、熟考して選択したい。

自分が将来、社会人になった時に役立つようなことを文系、理系の枠にとらわれず学びたい。

直接役に立たなくても、自分を豊かにしてくれること。

専門科目の少ない1、2年の間になるべく専門とは違う分野を学びたい。

専門ではなくなる文学部が学ぶような思想を学びたい。

経済を主として、様々な分野を学び、高いレベルの教養を身につけ、国際人として通用するような人物になりたい。

魅力的な講義ばかりであるが、どちらかといえば、幅広い知識を身に付けつつ、これからの文系人間にとっては、重要であると思われる理系科目も重視して学びたい。

心理学、基礎的な法学について勉強したい。また、経済・経営の勉強に役立つ科目、たとえば、基礎数学なども学んでみたい。

アラビア語。

今までにやったことのないフランス語の知識と、文系に限定されない知識を学びたい。

経済学にとどまらない教養を身につけ、複雑な物事に対して、自分で考える力をまず身につけることが必要だと思うので、幅広く、かつ浅くない教養教育を学びたい。

哲学、美学や細胞、神経などの分野に非常に興味を持っています。これらの勉強をしたい。

どんな分野に携わることになっても、必要な鋭い判断力などを養っていきたい。

神話学入門。

とりあえず、暫くは純粋な学問も取り組んでみたいと思う。

興味のある歴史、地域文化について、また、日本について、世界について学びたい。

「必要だから」という理由ではなく、「やってみたいから」という理由を大切に科目を選択したい。文系の受験勉強をしてきたので、理系の科目に関して少し不安があるが、頑張りたい。

教養科目を充分にとれるのは、1、2年の間で、しかも時間割を考えて、慎重に選ばなければならないため、これからの1、2週間じっくりと考えて、納得のいく選択をした上で、幅広い見識を身につけるため、じっくりと学びたい。

二度と勉強したくない。

時間に制限があるので、何でも出来るわけでないのが悲しい。政治、宗教、哲学を主にやりたい。理系は適当に。

思っていたよりも選択肢が多そうで、楽しみ半分、不安半分といったところです。どんなこと、と言われても、現段階では具体的には答えにくいのですが、よく手引きを見て後悔のないように考えたいと思います。

1回生の間に経済とは関係の薄い分野に出来る限り触れておきたい。

昨今の大学教育ではリベラルアーツが軽んじられているが、京都大学が教養教育に力を入れていることを知り、インセンティブがかきたてられた。自分の所属する経済に関するだけでなく、自然科学分野にわたる総合的な能力を身につけたい。

理学部 (アンケート提出率 93.7%)

理学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

理論物理学を勉強したいので、その土台となる知識を吸収していきたい。運動系のサークルに入って、生活にハリをもたせたい。

自分の学びたいこと(主に物理)を満足がいくまで学ぶ。部活動、サークルなどを通して多くの人と交流し、人間的に成長する自分が将来やりたいことを見つける。

専門とする学問の領域だけでなく、はば広い知識の吸収、理解に努め、柔軟性、創造性を身につけ、何か新しい事にとりくんでゆきたい。

専門分野にとらわれない広い視野と知識を身につけるとともに、多くの人との関係を通じて社会的適応能力を養成したい。

今はSFとしか言えないものを現実のものとし、人間のできることの幅を広げたい。特に人類未踏の外宇宙へ人をその寿命の範囲で送り出せる技術。

物理学を学びたい。そしてそれを学べる環境を求める。

最高水準の知力、体力、精神力を求めて、根気よく勉強をやっていきたい。

生命科学についての最先端の研究に携わる事が出来るための知識や技量を身につけたい。また、様々な文化圏の人々と交流ができるように語学も学んで行きたい。

あらゆる分野で知識を深め、研究したい。今のところ、特に物理学に興味があり、相対性理論、量子力学といった現代物理学について研究し、また、今盛んに取り上げられている超ひも理論についても研究したい。

理論物理学についてよく理解し、その研究を楽しみたい。

理科全般をはじめ、様々な知識を獲得し、また自分の人間性を深めるために今までに経験したことのないことも経験したい。

数学や理科の深い知識を得、自分の専門とする分野の研究をしたい。

今は自分の目標がはっきりと具体的な形をもって定まっていないので、化・生物学方面で自分のやりたい事をしっかりと見定め、その為にはどうすればよいのか、できるだけ早く考えて行動にうつしていきたいと思う。卒業後生かす事の出来る技術を学びたいです。

将来的には研究職に就きたいと考えているため、一生懸命勉強したいです。

一つの学問にこだわらず、様々な学問を学ぶ事で、多様な視点で「理科」を見てみたい。また、個人的には化学の実験に興味があるので、そちらもやってみたい。

生物学、特に脳の発達についての知識の吸収および研究、実験手法の習得。

自分の視野を広げて新しい世界をどんどん広げて行く事。それとともに自分が興味を持ち、一生をそれにささげられるというように思えるものを発見したい。新しい友達や大事な人をどんどん作り、勉強して楽しい毎日を送る事に取り組みたい。

色々なことを学びたい。将来専攻を希望する物理学をはじめ、今までは受験科目優先で出来なかった物事を学びたい。他にも新たな友人を作り、楽しい学生生活を送りたい。人間的に成長したいと思う。

科学全般、とりわけ物理に興味を持って理学部を志望したため、物理学を深く研究したいと考えています。特に物理学の分野の中でも、宇宙物理学に興味を持っているので、その知識を身につけ、さらに奥深くまで追求できたらと思っています。また、その下積みとしての科目もおろそかにせず学んでいきたいと思えます。

大学はやはり今までと違って最先端の研究をされている方の講義を受けることができるので、専門的な勉強をしたい。あと高校までではなかったような科目をとってみたい。サークルは1つ入ってその1つをとことんやろうと思っています。上回生の方とも仲良くなりたいですし、他の学部の人とも交流できる場合はサークルかなと思いますので。私は人との出会いを大切にしたいと思う人間なので、自分から友達を作っていきたい。

現代の人類の知の究極、最先端を求め、それをさらに推し進めることに取り組みたい。

宇宙に関する知識を得て、学びたい。地球に関することについても知りたい。物理を中心に数学、化学等色々な科目を学びたい。

自分に本当にあった分野を見つける場を求め、見つけた分野に専念したい。

大学の講義に縛られず、一人で勉強すること。

将来的に医療や薬品関係の研究、開発をしたいので、その基礎としての教養を学び、時間を見つけて専門的な分野を自主的に学びたい。学んでいく過程で学部と自分の方針のズレを感じた時は、転部あるいは他学部の大学院への進学も視野に入れている。

知識と集中力をつける。勉強する習慣をつける。目的をもつ。誘惑に負けない。対人関係を改善する。

研究者としての資質を伸ばすこと。自主的な勉学と、優秀な教員のアドバイスとを組み合わせ、自分の能力を高めること。

物理学、生物学、化学などの教養を深め、将来の仕事に役立てたい。サークルやクラブに入り、友人を多く作りたい。

科学を中心とした幅広い教養を身につけたい。そして、きちんとした知のバックボーンを持った上で、社会に還元できるように、科学を勉強していきたい。また、英語をはじめとする外国語も習得出来れば良いと思う。

幅の広い知識や情報に接し、それを国際的に理解し、論じていくということに取り組みたいと思う。

数学が好きで数学も勉強したくて入学したので、数学について、よりレベルの高いことを学び、研究していきたいと思っています。

知識、知恵、精神力を高めたい。また、生き甲斐となる職業や研究を見つけたい。そのためには幅広い学問を積極的に深く学びたい。

自分が一生をかけて追い求めたいと思えるようなことを探し見つかったなら、それに向けて全力で努力したい。また、人間的、人格的な成長と教養を深めていきたい。

京都大学に私が求めるものは尊敬出来る友人です。本当は物理の最先端の研究に従事したいというのが私の夢ですが、難解な量子力学等、ちゃんとついていけるか正直不安です。だからといって今から諦め気味というわけでは全くありませんが、ただこの夢はここで得られる絶対のものではないかもしれないと覚悟しています。そして、ここで絶対に得たいものは自分より優れた、あるいは自分にはないものを持つ尊敬出来る友人です。

自分が特に関心がある自然科学のみならず、様々な分野において高度な教育を受けられる事を望み、それを身につけた上で、自然科学についての研究に取り組みたい。

数学。物理。特に数学が好きなので、それを勉強したい。しばらくは新しいことも知りたいし、早く自分の向いているテーマを探したい。物理は宇宙について知りたい。また、身近に応用できるような実用物理も学んでみたい。

抽象的には自分が興味を持った学問のみをやるのではなく、多くの考えを持つ人達と触れ合い、多角的な視野を身につけたい。もちろん、自分の(現在はいふあやふやな)自然、人間、科学といったことに対する考えを自分なりに確固なものにしていきたい。(柔軟さを残しつつ)また、部活動なども通じて心身ともに向上をはかりたい。以上のような言葉遣いが堅苦しいなぁと感じられる心を残しつつ。具体的には数学、物理、化学などの考えも身につけつつ生命系のこと(特に複雑系にかかわること)を心ゆくまで学びたい。部活等もしたい。高い論理力を持ちたい。以上のような願望を京大で達成したいと考えている。

生物学者となり、新種の生物を探す。

理系トップクラスの大学だと思っているので、将来の役に立つ知識を身につけたい。3年からは宇宙物理学に取り組みたい。

自由意志が尊重される環境を求めている。あらゆる分野を学問として認めていこうとしてほしい。学問に取り組みたい。

頭に詰め込められるだけの知識と教養を求め、感性と勘を磨くことと、イメージパーツを集めて頭の中のイメージの世界を拡げることに取り組みたい。

新たな発見、探究。

京都大学には理学部で行なわれる自然科学の研究に関する具体的な情報の提供を求めたい。そして様々な分野の研究内容を知った上で自分が本当に興味を持てるものを見つけ、その研究に力を入れたい。

1、2回生の間は数学、化学、生物、物理全部をやりたい。3回生からの専門は、化学か生物かをやろうと思っている。

私は京都大学で、自分のしたい研究が自由にできるという環境を求めます。また、私はずっと研究したかった古生物学に取り組みたいと思います。

何がやりたいのかまだはっきりとは決まっていないが、数学か理論物理がやりたい。理学を通じて世界を具体的にとらえ、自分の生まれたこの世界から目をそむけず、直視していきたい。そうすることで、いつか世界の目には見えないルールをとらえ、心安らかになれると信じる。

幅広い講義を利用して自らの努力によって広く確かな知を身につけ、専門分野での研究活動を行えるようになりたいと思っています。京都大学の「自由な学風」の中で人間的にも成長したいです。もちろん専門分野も深く学んでいきたいです。

最先端の研究の内容に触れることを求めて、地球についての事に取り組みたい。

何を求め=学問によって自己を究め尽くす事が目標だが、それには人生が短過ぎるので将来の人の踏み台になるぐらいには学問で頑張りたいです。どんなことに取り組みたい=学ぶべき部門を選んで、その成果を習得して、新たな研究を頑張るその学問をより高みへ上げられるよう努力をすることです。

すごい人になる。この目的を果たせられることに取り組みたい。

理・文の別なく、幅広く学び、何を得られるかはわからないが、とにかく最終的に「得るものが多かった」と思えるように。

自由に研究をすることで、未知の発見をしたい。

再入学です。以前に学んだ内容からは現在ではさらに発展した学問になっています。基礎からやり直し、さらに専門的な学問を勉強したいです。特に物理、化学、生物をグローバルに視野に入れた専門分野に取り組みたいです。

快適な学習環境、質の高い学習内容と適度に運動をすることができる環境・条件と気の許せる友人。

物理、化学および歴史についての教養を深めたい。また、語学（特に英語）は読み書きだけでなく話せるようになりたい。

高尚な知識、特に数学の知識を身につけ、数学をあきらめずに考え続ける力を養い、立派な数学者になりたい。フェルマの最終定理の証明を跡を追いながらでもよいので、自分の手で納得がいくまで追い続けたい。クラブまたはサークルに入って運動も続けたい。

様々な学問に触れ、豊かな教養を身につけ、同時に将来に渡って行なうような専門的学問を見つけたい。また、良好な人間関係を築きたい。

京都大学に求めるものは、理学を奥深くまで学べるような環境、友人、教授、今は理学の中では一番数学に興味があるが、物理、化学、生物も学びたい。今のところは、大学院までいって、数学を研究したい。

一般教養とともに、より専門的な科学的知識を求める。その上で自分に合った研究分野を見つけ、将来的にはその分野の研究に取り組みたい。

大学では自分が何をやりたいのか、どんな分野の研究をしたいのかを決めたい。そのために、1回生のうちから幅広く、ありとあらゆる分野について学び、教養を深めるとともに、興味のある学問についてはさらに深く学んでいきたい。また、京都大学の独特の学風の中で、様々な人と出会い、多くの考え方や価値観を学んで、人間として成長していきたい。

理系の研究職に就くため、専門科目に特に力を入れて勉学に励みたい。また、大学生として恥ずかしくない教養を身につけたい。

物事の本質をつく興味がわいてくるハイレベルな講義を聞きたいと思っています。特に好きな分野を思う存分に学びたいと思っています。

尊敬できる教員と互いに切磋琢磨できる仲間を求め、数学力の限界を知るまで数学を勉強し、物理学を専攻したい。

主なものとして、研究と人格形成を求めます。前者については、自分の学びたい分野をしっかりと決め、1、2回生のうちに、その土台を固め、知識と思考力の両面を高めていきたいと思えます。後者については、とても難しい問題であると考えていますが、サークル活動や学内の行事に積極的に参加し、友人や先輩方たちと交流することによって自然に確立してゆくものではないかと思えます。

環境問題に取り組む者として、自分の専門分野はもちろん、それ以外の領域でも幅広く、総合的な知識を身につけたい。特に科学者の倫理感の欠如が言われている近頃、ただ盲目的に研究に没頭するのではなく、自分の行っている研究がどのような意義を持ち、地球環境及び人間社会にどのような影響を与え得るのか判断できる人間になりたい。そのために、これまでの偏った勉強ではなく、文理の枠をこえた普遍的な常識を備えたい。それと同時に大学でしか得られない専門的な知識を積極的に吸収し、研究者として将来の基礎を築きたい。

研究職につく為の積極性や独創性を養うべく様々な事に自分から参加し、真面目に取り組む。

早い段階で将来へつながらるやりたい事を見つけて、それについて取り組みたい。求めさえすれば大学にはいろいろなことがあると思うので。

自己の発展（学問的、精神的）来て良かったと思えるような経験（どんな種類でもよい）特に世界レベルと言われている数学、物理、化学など自然科学。

全宇宙の真理について心おきなく探究したい。

宇宙物理学を学びたい。

物事を統べる根源となっているものを知り、そうすることで得た知識を応用することで新たな真理を見つけたい。

自然科学をはじめ、幅広い教養と共に多様な交友関係を築くために、勉学のみならずサークル、バイト等を通じて多くの人と接し、自分を大きくしていきたいと考えています。

分子生物学に興味があるので、この分野における日本最高の研究機関である京都大学でしっかりと学びたい。そのほかにも、進化やバイオテクノロジーや化学や物理学や数学にも興味があるので、大学に入学してから専攻分野を選ぶことができること。

京都大学に物理学を学ぶ為に入学したので、まずは物理学やそれに関わる様々な科目をしっかりと学びたい。又、それだけでなく幅広く様々な事を学び、習得し多様な視点から物事を考えられるような教養を身につけたい。学問をするための最高の環境を求めます。自分にとって興味のある生物学を中心に、幅広い分野の深い知識を身につけたいと思います。

将来は生命科学の分野に進みたいと考えているので、専門の先生方や先輩方とたくさんお知り合いになりたいと思います。そのためにも部や各行事等にも積極的に参加したいと考えています。

興味のある学問をとことん追求したいです。また、今までやった事のなかった事にも挑戦し、自立した人間に成長したいです。

知・徳・体のバランスの取れた人になれるように最先端の研究を含めて様々なことにくらいついていきたい。

科学の知識を増やし、将来どんな職業につくかを考えていきたいと思っています。現在は、生物化学について興味を持っているので、その方面の知識をたくさん得たいです。他の分野についても知識を得たいです。

教養を身につけ、専門を学び、社会や自然環境に生かしていきたい。

今までの勉強で得られなかったものや、今まで培ってきたものを伸ばしていけるような勉強や活動をしていきたい。

大学には研究設備やそれを指導して下さる教授を求め、基本的に自分の興味があることには分野を問わずなるべく取り組もうと考えています。

高校まででは体験できなかったような体験をしてみたいです。それは勉強の面でさらに深く学ぶことで学問を楽しむことでもあるだろうし、多くの友人をつくることでもあると考えています。

自分の興味のある分野をとことん研究するための時間や設備。他に課外活動などにも積極的に取り組みたい。

何か自由で独創的なことをやり遂げてみたい。

自分が一生取り組める課題を見つけ、いい先生と仲間に出会う機会。自分の才能が何にあるのかをみつけてそれを伸ばしていきたい。そして大学生生活を楽しみたい。

専門的な研究にたずさわることができるよう、幅広くかつ深い知識や力を身につけたい。

様々なことを自分で学べる環境。色々な分野についてのことを知るとともに興味のある分野の理解を深める。

自分の力でちゃんと研究できる力を身につけたい。

知識を求め、経験を求める。そのためなら特にこだわりなく何にでも取り組みたい。

幅広い学問を通じて、自分の適性を見つけて、没頭したい。

学問に対する興味を引き起こす授業を求め、自分の興味があること、学びたいことに取り組みたい。

様々な本、学問に触れ、自分の視野を広げ、選択肢を増やしたい。また、自分の専門に関しては自分の限界に挑戦したい。

社会に出ていきやすい知識、経験を得たい。新しいことならできるだけなんでも取り組みたい。図書館で色々な専門書など読みたい。色々な分野に人とのつながりをもちたい。

できるだけ多くの時間を勉強する時間に当てて、将来研究者（物理学）となるために必要である知識を身につけたいと思います。

色々な経験をしたと思っている（教職免許を将来とれるようにetc...）、宇宙物理学をやりたいと思う。（オープンキャンパスに参加した際に衛星を作っている研究室を見学出来、大変興味がわいた）研究、発見がしたい。

1つは専門的な知識。もうひとつは幅広い視野を得るための広範な知識を求め、研究活動をして、科学の発展に寄与したい。

昔から理系分野に対しては、ほぼすべての分野に興味を示してきており、そのため学科指定のない理学部を希望し、無事合格できた。よって今後は1、2回生の内に自分の進むべき1つの道を探し求めたい。今考えている道は2つあり、一方は竜巻の研究である。小学校の頃、映画『ツイスター』を見て、竜巻の神秘的な面におお

いにひかれたからであり、もしこの道を志せば、日本ではあまり見受けられないので、アメリカで研究する事になるだろうと思っている。他方は宇宙の研究である。漠然としているが、ダークマターといわれるものについて知りたいと思っている。いずれにせよ研究を行なう際、京都大学の技術、資格はおおいに役立つはずであるので、徹底的に利用したいと思う。

研究者になるための専門知識などをできるだけ多く学ぶようにし、またそのために授業が実りあるものであることを求めたい。また、内向的な性格なので、外交的になるようにしたい。

自分の教養、知識、能力を高める事。サークルなどを通じて幅広い人間関係をつくる。自分が本当に打ち込める研究を見つける。

広く様々なことを学び、自分が現在興味を抱いている生物学系統の勉強をしたい。

学問に関していえば、まだ特に“これ”というものはないので、数学、物理、化学系統で様々なことを学びたいと思っています。将来まで研究していければいいのですが。

より深い知識を求め、そして深く学問に取り組み、その後の研究によって人の役にたてるようになりたい。

何よりも、まず学業を重視したいと思います。大学院への進学を希望しているので、学部のうち、一般教養科目で基礎的知力を身につけ、その上で専門科目を深く学んで将来に役立てたいです。サークル、バイト等に重きを置く予定は、今のところありません。

理系の科目における深い知識を得ることや、社会生活をしていくために必要な事を学ぶことを求め、学問を中心として取り組み、運動も少しやりたい。

自分が本当にしたいと思う事を模索しながら、興味深く、また質の高い教育を享受したい。また、その上で、自分が興味を持つ事に対して真剣にとりくみたい。

専門知識を身につけたい。高校まででは学べなかった詳細な部分や最新の研究などを中心に。また、全国からたくさんの方が集まるので、多くの人と接して様々な考え方に触れたい。

教養を深めたい。特に数学を専門的に学びたい。

より高い学力を身につけたい。幅広い教養を身につけたい。

数学。中でも整数論を徹底的に追求したい。山岳部に入り体力をつけ、精神的にも強い人間になりたい。

特になし。大学で学ぶことは今までであったことのないもので、その前から何かを求めたり期待しないようにしている。おそらく卒業して初めて自分が何をしてきたのか、何を求めていたと考えられるかが分かると思う。先のことはわからない。分からないであろうと僕は信じている。

自分の専攻する学問における質の高い教育と環境を求め、未開拓の領域に少しでも足を踏み入れ、貢献していきたい。

様々な事を学び、自分の視野を広げ、その中から自分の学びたいことを見つけたい。

一生を費やして研究していきたいと思えるものを求め、それをみつけるために自分の知識をより広く、より深いものにしていきたい。

自分が興味をもつことに取り組みたいです。また、自分の人生に役立つことを発見し、それにも取り組みたいと思います。さらに自分だけではなく世の中に役立つことに取り組みばなおよいです。

物理学を含め、諸学問分野におけるはば広い教養修得と国際的に通用する知識・技能の修得。学業のみならずアルバイト等から得られる経験とそれによる全人的な成長。学問(理系のみならず)とアルバイト余力があればサークルにも取り組みたい。

まだ具体的なイメージがわからず、漠然とはしているが本気で学問に取り組み、未知な領域を開拓することで、自分を高めたいと思う。

最低でも留年しないぐらいは勉強する(一応全て授業に出る)。下宿での生活だから一人でしっかりとできるようにする。サークルにでも入りたい。

理学関係では、数学の知識を深めていき、数学を楽しんでいきたい。また、世界情勢などにも敏感になって様々な活動にも取り組み、人間的にも成長していきたい。

将来研究者志望なので、京都大学で有能な研究者たるために必要な素養、人格、能力等を得るために最大限の努力をしたいと思っています。それに際し、この京都大学に期待することは、上記の目標のために適切な指導を受け、勉学に励む環境を提供してもらうことです。今後、目標達成のためにも、この環境を最大利用し、勉学に勤しむつもりです。

様々な現象の仕組みを理解し、研究を通じて新たな発見とその喜びを体験していきたいと思います。

様々な学問領域に触れ、その中から興味、関心を引く物を見つけ、その研究にたずさわりたい。将来、国際的な場で働きたいので、専門分野はもちろん、英語などの外国語の学習にも励みたい。

出来るだけ勉強して専門的知識と教養を身につけたい。様々な分野のものも勉強したい。いろいろな人と交流したい。

第一線の研究に幅広く触れられること。学術的な雰囲気の中で学べる事を期待しています。

レベルの高い学生の中で、自分をより高めへと磨き上げ、教養の深い人間になりたい。

知識を増やして、教養を深める糧とする。広く様々な学問分野について知り、自分が真に興味を抱き学べると思える分野を探す。

やる事が指定されるとやる気が失せるので、できるだけほうっておいて欲しい。多少他教科がおろそかになっても、自分の決めた解析の本と線形代数の本をできるだけ早く読んでしまおうと思っている。地元であまりおいてなかった有名な本もルネに並べられていてうれしかった。

自分のやりたいことを見つけるために、幅広い分野の事に積極的に取り組みたい。

自分の科学に対する理解を深めたい。他のいろいろな人物のものを見方を知り、自分の糧としたい。

生物の構造が知りたい。それと“生きている”とは、どういうことなのか。生物とはどのように接していくべきなのか知りたい。そのために研究がしたい。

具体的には決まっていません。これから勉強していく中で興味のあるものを見つけていきたいと思います。

自分の知らないことをできるかぎり知って自分の知的好奇心を満足させたいと思う。

自分の目指すべき目標を見つける。文武両道。

自分のことはあまり好きではないので、少しでも自信をもてるよう何かをやり遂げたいと思う。今のところは体育会の部活に入るつもりだ。興味のある分野を早く見つけられるよう積極的に学ぼうと思う。

自分に学べる機会を求め、いろいろな事に幅広く取り組んでいきたいです。

生物、生命の世界の神秘（何が生物を生物たらしめているか？進化の行き着く先は？などなど）を理解したいと願っています。京都大学では、そのための下地作りとして、様々な分野にわたる教養を身につけ、多角的な視野を養いたいと思っています。精神練磨のために武術にも取り組みたいです。もちろん授業にも積極的に取り組む所存です。

単に知識を多くもっているだけでなく、自分の頭で物が考えられる人間になりたい。文武両道、学業と課外活動を両立させたい。

今の最先端の学問がどんなものなのか知りたい。微分積分をもっとこなしたい。

京都大学は、何人ものノーベル賞受賞者を輩出しているという実績もあり、また、自由に学問ができるところなので、自然科学のみならず、幅広い分野の知識を身につけていきたいと思う。また、一生で最も気力、体力に恵まれた時期である大学時代を充実したものとし、大学生活を通して自立していけるだけの力を身につけ、人間性を育てていきたい。

自分の満足できるテーマをみつけ、研究したい。音楽についての見識を深めたい。

京都大学推理小説研究会に入会し、ミステリー界の頂点に立ちたいと思います。そして自分の専攻する学問において、質の高いものを享受し、貪欲に学問のみこんでいきたいと思います。

際限のない未知との出会いの繰り返しを求め、自分にとっての「未知」を広げていきたい。主に数学の理論。霊長類に興味をもっているため、人間に近い猿などを学ぶ中で人間を知りたいと思っています。だからといって、それに偏ることなく、自由の校風の中で広範囲にわたり、学問をして、勉強以外の場でも活動の場を広げたいと思っています。

尊敬できる才能、能力を持った友人や先生を探したい。そういう人たちから学べることをすべて吸収して幅広い分野でも本当の意味で賢い人間になりたい。その上で素粒子物理学を修めてよりよい世界づくりに貢献出来ればいいと思う。

勉学に励み、自分の興味ある分野について探究していきたい。大学とは最先端のことが学べることを期待しています。

最先端、常識を多数派とは異なる角度から分析する授業。ロボットミーと錬金術。

極論して言えば「人の役に立たないことをしたい」「これのために学ぶ」とか「この現象を理想化すると...」とかいった考え方をすべて排除して、その後に残ったものを客観的に見たときに、何が残るかということが非常に気になります。例えば別の惑星の文明で数学がつくられた時、これがどんな数学なのか地球と同じようなものになるか、それとも全く違ったものになるか、等を想像するとおもしろい。もう一つは数学の大問題を一つ解決してフィールズ賞とか取りたいという俗な望みもあります。今は基礎をしっかりやっておきたい。

大学の学問に触れることにより、自分はどの分野に適しているかを理解し、どういう方向に進むかを決定したい。そのためにもこの4年間、勉学に励みたい。

理学系の学問の各分野での基礎的なことを学び、その中で特に興味を持ったことを積極的に学んでいきたい。京都大学で、生物学に関する知識を獲得すること。また、自分が最も興味をもった生物学をさらに研究することに積極的に取り組みたいと考えている。

京都大学の高度な設備の中で、化学の世界を研究していきたい。特に新たな酵素などを見つけて、社会に貢献したく思う。

天文学について幅広い知識を得たく、また最初のうちは地球科学などにも積極的に取り組み、じっくりと専門をしばっていききたい。このあたりの分野は京都大学は研究が進んでおり、そういったものも活用したい。

楽しい人生を求め、厳しいことに取り組みたい。

まだ将来の夢とかしたいことが決まっていないので、いろいろなことを知ったり、体験したりして決めていきたい。いろいろなことを体験できる機会があればと思う。

有意義で充実した時間を過ごすための環境を求めている。自立した生活を送りながら、勉学と部活動の両立ができるよう努力したい。

浪人時代に感じた「真に学ぶこと」の楽しさを再び味わうため、勉学を怠らずに、京都大学の素晴らしい環境を活用して自分の将来の道を模索したい。

学業においては、物理や英語などでもっと高度なことを学びたい。学業以外においては、いろいろな人とつながりを持ちたい。スポーツや趣味ももっと伸ばしていきたい。

良い環境で学問を学びたい。

様々なことを学び、発想力を鍛えていくことによって、常に自由な新しい発想をできるようにしていきたい。

物理、化学、数学などについて広く知識を求め、それをもとに科学の発展に努めたい。

自分が研究する過程とその環境。研究は自分の考えを確かめる、深めるなどの意味を含み、新しいことを調べる意味だけではない。

より高度な知識を身につけて、それをいかして研究したい。

さまざまな知識を得るとともに、交友関係を深め、人間性を高めたい。

京都大学で幅広い知識とともに自主的精神を求め、その自由の学風の中で、様々な分野の学問に組み込みたい。取り組みたい研究に必要な学問をしっかり勉強し、その上で、良い大学生活を送りたい。

理学（特に物理学）のより深い学問。語学等幅広い知識を得ること。

広い知識と深い見識を得たい。また、将来に役に立つ専門的な能力を高めるための環境を整えてほしい。将来は自分が専門とするところで先端をいけるようになりたい。

最先端の研究に触れ、社会の中での責任ある立場を模索したい。大学での講義、自学自習、教員や友人との対話を通して“教養”を深く学びたい。

学問の専門的な内容を求めている。特に数論幾何学、量子力学の専門的な内容を知りたい。その他の理学分野であっても幅広く知識を得ることで、それらの連結から様々な発想ができるように、様々な視点でものごとをとらえられるようにしたいと思う。京都大学の「緩やかな専門分化」はそのために最適だと思った。

友達の輪を広げたり、色々な勉強をして、とにかく色々な事を吸収したいです。将来の事も考えたいです。

自然科学の理解を深め、それをもとに数学を探究すること。

大学側に求めているのは、より高度な知識と自由な活動を支援してくれる場の提供。高校の頃に興味はあっても理解できなくて手が出せなかった分野や、高校レベルの知識では内容が理解出来なかった文献などの内容を把握できるようにしたい。活動としては、学生でも運営できるような企業を生徒を集めて設立したい。

部活やサークル、アルバイトなどを通して人間関係を広めたい。また大学では理学の中でも特に生物学を重点的に学びたい。大学が社会経験の場でもあることを望む。

自然のしくみを追求する学問を行なうのに最適な理学部という学部で、自然科学、特に物理学を学習して宇宙や素粒子の世界を構成している原理の一端に触れて、今、自分が存在しているこの宇宙のすばらしさを実感したい。自分がどこまでできるかを見極め、これからの道を決めたい。だから京都大学には頑張りたい生徒の要求に応じしてくれる教員、施設を求めます。

睡眠時間をギリギリまで削って詰め込むだけ詰め込んだ毎日を送りたいと思います。

自分が興味を持っている事に対して、今までとは違って積極的に取り組みたい。

一言で言うと、とにかく色々な勉強がしたいということに尽きます。私は物理が好きで、また今の所宇宙に興味があるので、特に宇宙物理について学びたいのですが、それだけ勉強していても駄目だということは分かっているつもりです。とにかく色々な分野の勉強をして、幅広い知識を身につけることが結局は宇宙物理を勉強する際にも大切だと思っています。

まだまだ自分が知らないことがたくさんあると思う。そのようなことを知っていきたいと思う。それに自分が進みたい道がまだ決まっていないから、自分がやりたい分野に出会い、深いところまでその研究に取り組んで行きたい。

Q.2. 本日の全学共教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか？

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

今まで考えたことがなかった分野。世の中のしくみ。専門分野を学ぶ上での基礎。

理系科目を全般的に学び、語学も学ぶ。

人間というものを正面からあつかう学問を学んでみたい。

専門分野の土台となる広く深い知識を身につけたい。

3回生や4回生でやることの基礎となるもの。

今後、学習して行くための基礎となる幅広い知識を学びたいと思う。

専門的な知識や技術などを身につけ、さらにはそれを生かす中で、必要な柔軟な思考力を養っていけることを学びたい。

哲学、論理学、法学、憲法学など。

基礎科学と哲学、歴史など。とればサンスクリット語を学べるものも。

考え方の幅を広げるための哲学や、論理的思考のための論理学を学びたい。

高校で得意だった歴史的なものばかりじゃなく、苦手だった哲学、言語的なものも挑戦しようと思う。広く浅く学んで知識や人間の幅を広げたい。

人間の本質について考えたい。

学部の専門科目ではない人文系の科目を受けて、多くの思想を学びたいです。

日本の歴史や現在問題になっていること。また、高校の頃、生物がとれなかったので、生物についてもできる限り学びたい。

数学、化学を中心に学びたいと思う。

行動科学について学びたい。

哲学、経済、日本史、政治、音楽。

自分の興味範囲を広げるため、ポケット・ゼミを受けてみたいと思った。

精神病理学、哲学。

自分の好きな理系科目の分野に重点をおき、ちよくちよく外国語もとっていききたい。体育も。

哲学、政治、経済、歴史など、文系の科目もいろいろ学びたい。

どんなことでも役に立たない事はないと思う。私は理系だが文系のことも学びたい。

最終的には科学分野（物理分野）を専攻し、深く追求することを目標としているが、それに携わっている数学などの科目も大いに学びたいと考えています。また、科学を学ぶ上で、その背景にある他の分野についても、その支えとなるので、そちらの方も大切にしたいと思います。

大学でしか学べない科目で興味のあるものを学んで自分の視野が広がればと思います。専門だけだと理系ばかりになるので、文系の授業もとって（史学とか）いろいろな分野に触れてみたいです。

単に専門的な内容だけでなく、生涯を通して価値のあるような様々な内容を学びたい。

1つのものにこだわらず、様々な分野を学びたいと思う。

深く学ぶだけでなく、高校生活まででは学ぶ機会があまりなかった分野についても新しい知識を得て行きたい。

哲学・倫理学・論理学等、地理歴史関係のものを学びたい。

無理をしすぎないように幅広く取りたい。

使える英語の修得。

講義だけでなく、国際交流等を通して外国語について幅広く学びたい。

知識よりも知恵を吸収したい。

自分の趣味にあったもの。

いろいろな事を学びたい。

コミュニケーション能力。

幅広く見聞を深めたい。

美術論、哲学。

物理学を主に勉強したいが、歴史や外国語も学んでみたい。

とりあえず教員免許をとりたい。

視野を広げるために固定観念を捨て、幅広いジャンルを学びたい。

理系学部ではあるが、文系の要素を含んだ哲学・文学なども学べればと思う。なるべく多くの事に興味を抱くようにしたい。

今まであまり関わりを持たなかった人文学系（A群）について学び視野を広げたいと思う。

いろいろなものを学びたいが、特に哲学と理科系の科目を幅広く学びたい。

各国の歴史や宗教の成り立ち、芸術の意味などを学びたい。

専門の科目以外でも自分で興味のあるものを学びたい。

倫理や哲学。分野をしぼった歴史等。

高校までにある程度学んできたもの以外に全く未知の分野を学んでみたいと思う。

語学・文学、一部の思想・哲学等。

大学側も様々な教養をつけることを求めているようであったので、上記のように学んでいこうと思う。

社会は、日本地理を学びたい。ポケット・ゼミは物理、化学、生物、地学のおもしろそうなものを取りたい。

自分の興味がある分野に走ってしまいそうであるが、興味のない分野の授業も積極的に受講し、深く学んでいきたいと思う。

いろいろとおもしろそうな教科があったので、25コマいくかもしれない。哲学は少しはやってみたい。ポケット・ゼミもぜひ受けたい。

フランス語、英語などの外国語についてのことをもっと勉強しようと思います。

哲学・宗教。

専門過程に入ってから生かせるものを学びたい。

明日へとつながられる事が学べそうなので、興味が持てるもので、自分で収集がつけられる範囲で学びたい。

「教養教育」としての期待はあまりありません。

語学をきちんと学びたい。コンピュータや機械全般に弱いので、コンピュータについての授業を早いうちにやっておきたいと思った。

自分の本当にやりたいと思うことだけではなく、色々なことを学んでいきたいと思った。

苦手科目の基礎学力と得意科目の発展的、専門的学習。

高校の時とはひと味違う、物理、数学の基礎をしっかりと身につけたい。

フランス語が話せるようになりたい。

高い人間性が培えるものを学びたいと思います。哲学など直接には理系科目には関係のないものも学びたいです。地理学、経済学、金融システムのいずれか。

コミュニケーションと異文化理解のための言語教育と、いろいろな基礎知識を学びたい。

学問を研究していく上で必要な思考力を育てられることを学びたい。

何より気になるのは英語。入試が難しいとされる京大の英語は、どんな講義が行なわれるのか楽しみです。

理系的でないものの見方や考え方。

自然科学系から少し離れた、全学共通科目でいうとA群系の内容。一つの方向に凝り固まらないようにしたい。

自由にのびのびと研究してみたい。

幅広い基礎知識を学びたい。

丸山教授、林教授のお話を伺い、基礎から又知性の高いレベルの思考力を養う事が必要だとあり、改めて京都大学は奥深い教養を身につける場であると認識致しました。幅広く教養を身につけたいです。

多岐に渡る自然科学の基礎および応用の知識と技術。

理系科目だけでなく、幅広い分野について学びたい。

授業の取り過ぎに注意して、数学の基礎固め、人間としての基礎固めを目標に学んでいきたいと思う。

自分の視野を広げてくれるもの。社会について認識を持てるようなもの。

自分のあまり知らない分野も学びたいと思った。

オールマイティにいろいろと興味があれば、理学でなくとも学びたい。哲学、思想、文学も好きなので。

理科的な専門の基礎となる科目と歴史。

政治、環境、教育などを科学的視点から学びたいと思う。

専門的な学問を学ぶ以前に、教養教育は必要だということがよくわかった。教養を身につけることは人間的に成長するために大事なことだと思う。理学系だけでなく、人文学系にも、もともと興味があるので、様々な学問

に触れてその学問独特の問題へのアプローチの仕方や物事の捉え方、考え方を学ぶことが楽しみだ。

今まで敬遠していた文学系の科目にも積極的に取り組みたい。

知識を豊富に持ち、人間性を豊かにしたいと思います。

物理や化学等の専門科目の基礎になる英語やドイツ語などを深く、また数学や理科なども広く学びたいです。

自然科学分野の基礎と、自らの人間性と判断能力の向上のために社会科学の科目を学習したい。

高校ではできなかった歴史、哲学を学びたい。

人生の指針となることを。

正直、クラス指定科目の多さに驚いた。まずは将来への基盤としてクラス指定科目を押さえたい。そして空き時間には積極的に A 群科目を入れたい。特に哲学は一度学んでみたいと思っている。一回生のうちは文理偏らず総合的に学びたい。

様々な世界のほんの一部ではあるが、垣間見る事で視野を広げる。

教養以上に役に立つこと。特にドイツ語。

精神分析。心理学。東洋古代史。物理、化学とその関連分野。脳みそに関するもの。

教養教育とその他の教育との違いがよくわからないので、困るのが今までやってこなかった物理などの基礎的なものも身につけたい。

まだわからないが、いくつかは面白そうなので頑張りたい。

考古学、古代文明について。

宇宙物理の基礎となる学問を幅広く学びたい。

自分の人間性がしっかりするようなことや、自分の興味の持てる分野が広がるようなこと、特に心理学についてなど学んでみたい。

文系・理系ともバランスよく幅広い教養を身につけたい。

専門になる科目の基礎の他に思想系の科目を学びたいです。

文系科目も含め幅広い科目をじっくりと学びたいと思う。

研究にはコミュニケーション能力が必要になるというし、専攻科目の基礎もしっかりと学びたいと思いました。

専門教育を受けるにおいて、より多面的な物の見方をするための教養などを身につけたいと考えています。

今までしっかり学ばなかった。理科、数学以外をもっと学びたい。

専門科目に関連するものを学びたいと思います。

3、4 回生で学ぶだろう学問の関連科目や自分の興味に応じて科目選択を行なおうと思う。

将来自分が生物学を研究する上で必要なこと、役立つことだけでなく、それとは関連の無いことも自分自身を高めるために役立つことならば学びたいと思います。

やはり将来に向けて生物関係の事を多く学びたいと思います。しかし、その基盤となる語学や物理、化学といった自然科学に関して力を入れて学びたいと思います。

専門科目の基礎となる物理学や数学などの科目はもちろん、一般教養として哲学や心理学、古典なども学んでみたいと思っています。

片寄り過ぎることのないように様々な分野のことに取り組んでいきたい。

自分のやりたい学問に固執することなく今まで存在すら知らなかったことも含め、広くとっていきたい。

心理学を学んでみたいと思います。理論言語学も学んでみたいです。

数学、物理、語学を主に学びたい。

基盤部分が非常に重視されているのが素晴らしいと思う。自分のこれまで興味の薄かったことに対しても積極的に視野を広げていきたいと思う。第二外国語も興味があるので、その言語の背景、ある文化も含め、よく学んでいきたい。

多言語による総合的な理解力をきたえたい。

自分自身の視野を広げることができるようなことを学びたいと思います。楽な方へ流されることがないように、気をひきしめていけるようなことです。

人間として大きく成長するために必要なこと。専門科目とは異なる幅広いことを学びたい。

まだよくわからないので手引きをしっかりとみてどれを選ぶか決めたい。

多くのことを学ぶことによって知識の量を増やすことで応用的なことにも対応でき、多様な物の見方ができるようにしたい。

幅広い知識を得るため、外国語や多少の文系科目および将来専門化される学問に通用し得るくらいの基礎知識を学べること。

偏りのある内容を学ぶのではなく、幅広い範囲のことをまんべんなく学びたい。

アジア史基礎論

自分の視野をひろげてくれるもの。それによって幅広い対応ができるようになれるもの。

実生活にあまり関わりのない、アカデミックなことどもをいろいろと。

人格形成の基盤ともなる、重要かつ必要不可欠な学問を学びたい。

まずは基礎。特に数学、物理学を学ぼうと思います。

様々な考え方、学問の方法について学びたい。

語学を読めるだけでなく、聞き取り、話せるようにしたい。

生物や地学など、今までほとんど学ばなかったことを学びたい。

日本人として日本の民族学を学びたい。

1回生では、数学、物理、化学を中心として、勉強したい。また、A群科目でも論理学や科学史など、科学に結びつきのあるものを学びたい。

浪人時に政治に対して深く関心をもつようになり、現在の動向に強い危機感を抱いた。特に自衛隊、国旗、国家問題などに関してであり、それらに関連したことが学べる科目を選択したい。

自分の進みたい学問に直接つながる教科だけでなく、幅広い教科を学ぶのがよいと思った。

専門過程に入ってから生かすことができるものを中心に学びたいと思います。

哲学、思想といった自分の教養、徳を高めること。自分の思考力を高めるもの。

とりあえず日本史関係。あとは教育関係のこと。

哲学、思想、文学、歴史、政治、経済、社会等の文系科目を総合的、包括的に学びたい。

説明や手引きを見る限りでは、とても興味深いものも多いが、時間割がほぼまわっているため、それとの兼ね合いで考えていきたい。ポケットゼミにも参加したい。

日本だけでなく、世界中多くの国々の文化を学びたい。言語も含めて。

地球の自然環境や地誌について学びたい。

学んでみるまでわからないし、自分でわからないと考えるように努めている。自分でも知らない間に「どうしたい」と考えてしまっていることもよくある。一貫して「わからない」と答える、言い切れる自信はないが確信なものなど何一つ存在しないと僕は信じている。あとは現実的に妥当性を考えれば充分であろう。言語や論理は完全なものでないから、表現が不十分であるのは確かであろうが、誤解を恐れずにできる限り正直に表現したつもりである。

役に立つかどうかではなく、興味あるものを学びたい。

語学、哲学に関する講義などの理系科目ではないが教養には不可欠とされる科目。物理学、数学に関する講義全般。

自分の専門とする分野の周辺。具体的に言えば化学と専門としていくとき。化学の歴史や研究発表で活用できる語学の修得など。

地理。

専門科目の基礎をきちんと築けるようなことを学びたい。文系科目も学びたい。

教育学や心理学を学んでみたい。後々は法律関係もやってみたい。

哲学、行動学、文明論などの人間探究系統。また、環境問題の現状と対策について。

科学を中心とするのは当然として、言語・文化についても多くを学びたい。

専門科目に連なる基礎の理系科目（特に数学）専門とは関係の薄い文系の（文学・哲学・歴史の）諸知見。

雑学（専門科目でないという意味）

プロの先生が教養の大事さを一生懸命説いていたので、少なくとも授業はしっかり聞こうと思った。よく、夏などに公開講座などが行なわれるが、それに近いものが毎日あると思うと得な気分になる。

これまで自分が学ぶ機会がなかったものを学びたい。もちろん、興味のある自然科学系も。

理系の教科をうけるのは当然だが、文系の教科を多く受けたい。特に哲学のように多くの学問の基礎となっているようなところの学問を受けたい。

自然科学に重点を置きつつ、他の分野も幅広く学んでいきたいと思います。

自分の知性や人間性や思考力を高める事が出来そうなことを学びたい。

人間的に成長できるような授業を受け、学びたいと思います。

上記を達成するために必要と思われるものを学びたいと思います。

分野に縛られないものの見方。

英語、フランス語をがんばろうと思った。

教養としては、これまでに触れることの少なかった哲学、心理学などを学びたい。また、言語にも興味があるので、地域文化等も学びたいと思う。自然科学についても、今後、専門的に研究していこうと思うものだけでなく、特に高校で学ばなかった生物や地学の知識も広く身につけたい。

数学そして物理、そして文学に関連したモノを学びたく思います。

歴史を中心とした各学問分野の相互の交わり等々、幅広い知識を得たい。

理系の学部ではあるけれど、教養教育として、文・理に関わらず、幅広い知識を得たいと思っています。言語も頑張りたいです。

実は中国語をやりたいかったが、できないようなので...理学に限らず、幅広く色々やりたい。

数学的視点からの情熱的な哲学。

哲学を知らない科学者は真の科学を知る事は出来ず、科学を知らない哲学者は真の哲学を知る事は出来ない。この言葉の意味はまだよくわからないが、科学を扱うものとして、哲学・歴史など、幅広い科目を勉強したい。自分の視野を広げるためにも...

文学関係のことを学びたい。

学問研究の基礎、また、人間性を豊かにしていくことが出来るように様々な分野で関心のあることを学びたい。

高校の時はあまり内容の濃くなかった地学の分野においても、さまざまなものがあり、色々興味あるものがあり、よく考えて選んでいきたい。また、1回生のうちに経済学などの理学以外のものも積極的に学びたい。

A群の哲学・思想系や言語文化系。B・D群。

人格の基礎作りとして、現在は興味を感じていない文系科目にも積極的に取り組んでいきたい。

高校でとっていない物理。今までとっていた生物と合わせ、もっと根底から事象を理解してみたい。

心理学など、大学でしか学びにくいことを学びたいと思う。

先達の優れた思想、理念。

一回生の間は、ほぼ全てのコマが埋められているが、二回生以上の開いている時間を利用して専門の域を超えた勉強をしたい。

歴史(ヨーロッパ中世、ルネサンス等)と同時代の関連する文学、哲学など。

哲学と日本史、東洋史。

宗教、哲学といった理学とは関係のないような分野を学び、様々な視点をもてるようにしたい。

特に細かい事はまだよくわかりませんが、色々な基礎事項を学んで、専門分野への関心をもちたいと思います。

教養教育はすぐに役立つことではないかもしれないけど、将来において必ず自分のためになると思う。選ぶ人の少ないロシア語をとってしまったが、こういう言語を学ぶのも面白いので、やるからにはしっかりとやりたい。

また、文学にも興味があるので、それに関係したのを色々とりたい。

哲学、法学、論理学、社会学など、興味がわいた分野に可能な限り、幅広く学びたい。それと高校の時は理系科目に重点をおいて、歴史、古典、地理等の文系科目がほとんど手放しの状態だったので、一般教育としてそれらの科目も学びたい。

異文化、特にアジア地域の文化に関する知識を深めたい。また、宗教史についても勉強してみたい。

豊かな人格を形成し、速効性はなくとも、老いて退職する頃になっても、学習したことが、自分の中の根底的な部分において、さり気なく生き続けているようなことを学びたい。

自分の興味があること。それは自分の目指している事とは一見関係なさそうなことであっても、どんな形で自分の役に立つかわからないので、興味あることはどんどん吸収したい。

人生の装飾品。

具体的には分からないけれど、とにかく色々な分野の勉強をすべきだとますます思いました。

数理科学系を専門に勉強したいと思っているが、その他にも、外国語や様々な分野のことを勉強しようと思った。

医学部 (アンケート提出率 93.5%)

1) 医学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

最先端の医療を多く行っている京都大学で、より高いレベルの知識や技術を身につけ、将来は広く社会に貢献したいと思う。

医師として必要なスキル、知識ばかりでなく、深い教養を身につけたい。

高度な医学を学びたい。医師としての心がけ、あり方を学びたい。高校とは比べ物にならないほどスケールの大きな大学という場において、色々な考え方や物の見方を知り、日本各地の人と知り合って、自分の視野を少しでも広げたい。

生物学などにおいて、高校までとは違う高レベルの講義を受けたい。勉強のみでなく課外活動などにより、人間性の育成を目指したい。

自分の興味があるテーマを少しでも多く発見できるような環境のもとで、自分が一生携わっていけることをじっくり考えたい。研究施設を見学したり出来たらいいと思う。

京都大学では自由、世界に通用するレベルの高い教養を求め、医師としての高度な知識の習得及び豊かな人間性の構築のため幅広い学問を真剣に頑張りたい。

自由な校風の下で、意欲的に自主的に勉強していきたい。医学について将来自分がどの分野へ進んでいきたいかを1, 2回生のうちに考えておき、自由に研究が出来る期間には自分に出来る限りの最大限の研究をしたい。

幅広い学問、教養を修めたい。又、医学、医療技術については基本的なことから発展的最先端のことまで深く学び、その上で現場の医療に関わっていく者として、今後の医学のあり方を求めていきたい。留学を経験して、国際的な視野を広げたいと思う。

E S細胞や遺伝子治療を研究したい。京大には世界に通用する医学者になる力を養成してくれる教養を期待する。とりあえず今は、ぼんやりとしか分からないので、大学生活が始まってからはっきりした事を探すつもりかな。はじめはクラブ活動とかも本気でしたい。

京都大学は自由な学校であるということ以前から聞いたので、自分のやりたいことをやってみたいと思います。私は再生医療やE S細胞について興味があるので、研究をしたいと思います。研究するにあたっては、医学という、人体を相手にする学問であるために、倫理的、社会的な問題を避けることはできないと思います。そういう問題もあわせて考えていくことで、人間としてもさらに成長していきたいと思います。京都大学を卒業し、社会人になったときに、技術的に、人間的に、すばらしい医師、研究者になれるように頑張りたいと思います。又、京都大学ではたくさんの友人をつくり、良い人間関係を築いていきたいと思います。多くの学生が規則を守り、やるべきことをやった上で、自分の好きなことができるように、京都大学の門戸を開いてくれたらと思います。

学ぶ時、受け身になるのではなく、自主的によく考えよく学べるような姿勢を身につけたいです。又、教授のもとで、そして色々な施設の下で医学知識を身につけ、経験を積みたいです。

多くの人の役に立てる医師になるためのハイレベルな教育を求める。患者に信頼される医師になるための教養を深めることにとりくみたいです。

生老病死についての深い知識を身につけ、死ぬことと生きることについて深く意味を知りたい。又、難病を克服し、より多くの患者さんを助けるために、生化学に関するより深い知識を得たい。京都大学では、日本で最も進んでいる再生医学について学び、更なる研究に取り組み、難病を克服していきたい。

世界の人々のために、役立てるような研究がしたい。人と人とのつながりを大切にできる医師になりたい。今は研究と臨床どちらの道へ進みたいのか、まだ分からないのでこれから考えていきたいと思っています。大学には興味深い授業をできるだけ多くしていただきたいと思っています。

知識を増やしいろんな経験をし、将来においてあらたな発見をしたり、人命を救う時に役立てたい。特に自分の興味のあるところを積極的に取り組みたい。

最先端研究に対する望み方について勉強したい。

自主的に学習するための環境を求める。興味のあることのうち、できる限りのことに取り組みたい。初めのうちは特に語学に力を入れたい。サークル活動にも積極的に取り組みたい。ディベートの力をつけたい。

積極的に生物に関する授業に出て、生命に関するスペシャリストになりたいと思います。そしてまた、積極的に人と交わって、自らの見聞を広めたいです。

医師として必要な知識と技術を身につけること。クラブ活動等をして、体力作りをしたり交友関係を広げたりすること。人としても成長すること。

今のところ、スポーツ医学に興味があるのでその専門知識を学びたい。部活やサークル活動も積極的に取り組んで大学生活を満喫したい。

現在の真剣な気持を忘れることなく、勉学に励み国際的な場でも仕事ができるようその実力を培いたい。高校時

代にできなかったサッカーを楽しみたい。

カリキュラムの制約を受けない学問を学び、まずは徹底的に人体について学びたい。

医学部で医師となるための知識や経験を積極的に修得していきたい。又、おそらく卒業してからも関わりをもつことになるであろうクラスメートたちと良い関係を築いていきたい。

設備は整っているし、人材的にも周囲には優れた人が多いので、やる気さえ持てば思う存分追及できると思う。

自分が心を燃やせるようなものを探し、見つけ、思いきりやりたい。クラブ活動も一生懸命やりたい。留学という形も含めて、海外に行ってみたいと思う。いろいろな経験をし、いろいろな人と出会い、人間的に成長したい。

「自由の校風」の京都大学に自分のやりたいと思う勉強にことごとくまで打ち込むことのできる自主性を求めています。又、具体的に取り組みたいことは、将来海外で研究することを望むので、第二外国語の修得です。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

古代の社会や西洋の歴史に興味があるので、世界の歴史を学びたいと思う。又、留学生を対象とした英語の講座にも少し興味がある。

まずはラテン語、ただ難しそうなので少しためらいます。他には以前から好きな日本や海外の文学作品や宗教系の講座、そして何より多くの生物系講座をとりたいです。

理系科目は生物を深く学びたいと考えている。理系に偏ることなく人文科学では心理学などを学びたい。

どの科目を選択するか等は、今の段階では不明だが面白そうなものが多いので無理にならない程度、積極的に色々な分野を学びたい。

多くの授業が選択になっているので、どれを選ぼうかと迷っています。今まではあまり哲学のことを学んだことがないので、哲学について学んでみたいと思いました。

きちんとターゲットを定めて勉強するようにしたいと思った。たくさん履修しても、結局何も身につかなかったということのないようにしたいと思う。どんな授業をとるかは上回生の話を知りたりしてよく考えて決めたいと思う。語学はやはり重点的に学びたいと思った。

総合的な人間性を身につけたい。具体的な効能を期待して学ぶのではなく、純粋に学問として学びたい。

医学は専門で学べる機会が多そうなので、教養のうち自分が取りたいと思うものをできるだけとりたいと思いました。(25コマはとりませんが) A群とB群がおもしろそうです。哲学や物理が特にそうです。

役立つもの、興味のあるもののみならず、あらゆる分野のものを学びたい。いままでの理論がひっくり返るということを頭のすみに置いておき、基礎をしっかりと学びたい。

自分の教養を深く広くするために、がんばっていききたいと思います。

幅のある人間になるために、思想や語学など、様々な学問を身につけたいです。

種々の事が結びついての教養であるので、選りごのみせず、自分から学ぶ姿勢を持って、一見医学と関係ないことも学びたいと思う。

3年時からは専門教育となるので、それまでに社会学、心理学等に触れておきたい。又、語学の勉強に積極的に取り組みたい。

専門分野の基礎となる知識、思考する能力、人間形成に必要な一般教養。

あまり仕組みがよくわからなかった。心理学をしたかったが、時間割がかぶって取れないようだ。

自然科学系の勉強の独学への足がかりにしたい。

人格形成の助けになることを学びたい。専門科目を学ぶうえでの土台を固めたい。

主に外国語を重点に学びたい。

世界史を学び、今日の世界情勢を理解する一助としたい。

自分の興味のあるものを学ぶことを第一としながらも、様々なことに対する自分の疑問をはっきりとしていくために、色々なものを学んでいこうと思う。

論理学や考察力が身につくような学習をしたい。

内容を見て、興味を持つことができると思った科目をとりたい。

哲学や法律といった専門外になるだろう教育を受け、教養を広げたい。

2) 保健学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

将来、自分の家族を養っていけるような職業に就きたいので、大学ではそれに役立つようなことを勉強して成長していきたい。いろんな人と交流してみて、いろんな考え方を知り総合的に考えられるようになりたい。自立した人間になれるように自分のことは自分でできるようになりたい。

一生付き合っていけるような友人や仲間をつくり、レベルの高い指導、教育、講義を通して共に自分の未来に希望や夢を持ち向かっていけるようになることを求める。この学部の中で将来自分が生きがいとなることを見つけ、それを仕事にできるように色々な角度から医学、看護をみていきたい。豊かな世界観、価値観を身に付けたい。色々なことを考えてみたい。

人命を扱う立場の者としての自覚を持ち、生命、人生についての理解を求めたい。

将来、小児医療の現場で活躍できるよう大学では幅広い教養と医学的専門知識を習得し、学生時代から医療従事者(医師、看護師、作業療法士、理学療法士、検査技師等)を目指す皆さんとも密に交流していきたいと思えます。小児医療技術が発達している海外でも、勉強したいと積極的に考えています。今、現在保健学科には院がありませんので、ぜひ開設していただき、私達の学びの場を広げていただければと思います。よろしくお願いたします。サークル活動としては、オーケストラやテニス等を考えています。

一番私が求めるものは、高度な専門知識です。京大を卒業後、看護専門職者として働きたいと考えているが、その時自分の技術不足で患者さんに迷惑をかけるようなことがあっては困るからです。私はこれから4年間、必死に看護学を学び、自分のものにして患者さんの役に立てよう頑張りたいと思えます。

大学は高校と異なり、自分で授業を選択できます。京都大学のような総合大学では自分が属している以外の学部の授業もとれることに魅力を感じています。私は保健学科以外にも総合人間学部や教育学部に興味があるので、積極的にその授業にも参加したいと考えています。

看護師として社会に貢献できるようにしっかり勉学に励みたいです。現在、インフォームドコンセントやセカンドオピニオンが一般的な言葉として扱われるようになったとは言っても、まだ十分にその制度を利用できている患者は少ないと感じています。その理由として、患者と医師の間に距離があることがあげられます。なので、医師より患者に近い立場の看護師の立場からその距離をうめたいです。またそのような看護師になれるよう頑張りたいです。

この大学でという訳ではないのですが、今まで小さな世界で生きてきた自分にとって1万人の生活するこの空間で生きるということはとても貴重な経験になると思うので、学間にサークルにとどんどん自分をぶつけていき、協調性を育て仲間を手に入れ、この大学で過ごす限りある時間を1分1秒無駄にすることなく、いきたいと思えます。

志の高い仲間を得て、京都大学で学べる最大限のことを学ぶつもりで積極的に勉強・その他に取り組み、自分に何ができの、社会は何を求めているのかを卒にとらわれず探求したい。

私は京大に対して悪い部分から目をそらさずに、積極的に改善しようと立ち向かっていくような人物をつくり上げるような教育、そして将来の仕事に役立つ進んだ知識を私達に充分に与えてくれる教育を求めます。そんな中で私は京大から与えられたものを余すことなく自分のものにしていきたいです。私は将来、今問題となっている虐待を受ける子供達を助ける仕事につきたいと思えます。そのために大学では心理学を積極的に学びたいです。また最先端の医療を学ぶためにアメリカに留学したいと考えているので、そのために英語力を十分に身につけたいと思えます。大学では勉強だけでなく、それ以外の分野の様々な活動にも参加し、様々な多くの人々と出会い、あらゆる考え方や知識と触れあいたいと思えます。

後に応用をきかすことができるような経験がほしい。部活などでトレーナーをしたい。

僕はでっかい夢を持っているのでその夢に向かって全力投球するのみです。京都大学は入ってからなーなーと過ごしている人もいるかもしれないけど、そんな人を変えていきたいです。大学は通過点だと思う。あと僕は人の出会いがとても好きで、いろんな人と交流して夢をききたい。

基礎をしっかり勉強した上で、理学療法に関する専門知識と患者さんと上手くコミュニケーションが取れる能力を身に付けたい。そのために大学で十分な専門教育を楽しく集中して学ぶことができる講座、工夫を期待している。

医療、福祉の専門職に就くために必要な知識、技能。又、多様な人々との接触を通じて自らの人間性を豊かに

したい。留学生との交流も深め、国際感覚を持ちたい。自分ができるだけのことに挑戦し自分の能力を高めた
い。積極的にボランティア活動にも参加し、京都大学の学生としての社会的役割を果たしたい。社会の人々と協
力し、よりよい医療、福祉のあり方を追及していきたい。

医療に携わり、人の生命に深く関わっていくことになる者としての自覚をもち、少しでも医療の進歩に貢献で
きるだけの技術や知識を身につけたい。

私は医療科学と医療工学に取り組んでいきたいと思います。遺伝子治療に興味を持っています。それによって、
将来起こりうる病気を予想してその人にあったオーダーメイドの治療が可能になるなどより良い医療へとつな
がると思うからです。

医療現場を一步引いたところから眺めて、冷静に分析したい。

検査部門においての勉強の場を求める。ウイルスの研究に取り組みたい。最新の検査機械を使いこなせるよう
になりたい。教職免許をとりたい。

専攻する作業療法学についての専門的な知識を身につけるとともに、多分野の講義、学内外での社会活動等
幅広い知識を得、経験をし社会生活全体の中での作業療法という職業を位置付けながら、具体的にどうしてい
くのか見つけられるようになりたいと考えている。

医療機器、技術の研究、独学の物理、建築を学べる環境、資料。人が病気で苦しむことなく、また闘病しやす
い環境作りを研究したいです。

最先端の学問を学び、そして社会でその道の第一線で活躍できるようになるための環境を求め、自らの専攻す
る分野の発展に貢献したいです。

人とは何かという根本のところと、人が平和に生きることがするための手段、考え。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

いきなりいろいろなことを言われて混乱しているので、まだよくわかりません。

ただ単に学問をするだけではなく、学問を通して人としてのあり方や人徳など人間的なことにに関して学びたい
です。

好きな化学についてのことや、今まで全く触ったことのない分野のことや看護学に関係のあること。

私達の生きているこの世の中に何があって、どのようになっているのかをいろんな角度からみて、生きている事、
生きていく事がいったい何なのかを学んでみたい。

文系よりのA群の中で自分の興味のある分野を単位取得のためだけでなく、自分を豊かにするために学びたい。
主に心理を学びたいと思う。

英語を実践的に使用できることや、新たに学ぶフランス語を深く学びたいと思う。

語学はやはり必要だと思ったので、英語、ドイツ語に力を入れたいと思います。主に個人的に法律にも興味があ
るのでポケット・ゼミにも取り組みたいと思いました。あと、外国の文化にも触れたいので国際的な活動にも参
加したいです。

京大では自分次第で深い勉強ができることが分かった。そこで私はもともと興味があった精神学や哲学を、深く
学びたいと思った。受験科目ではなかったものなので、今から楽しみです。

医学、心理学、哲学などを通じて、視野を広げ豊かな人間性を身につけていきたい。さらに外国語修得をした後
は、海外にも目を向けていきたい。

分子細胞生物学など看護学において、患者のケアに必要なことを詳しく学びたいです。

整った環境の中で、最先端のことを学べる機会はそうないので、積極的に取り組んでいきたいと思います。

実用的知識のみでなく、京大でしか学べない学問をしたい。

外国語を中心に、日本にあって日本の文化にあまり触れることが今までできなかったので、日本文化を学んでい
きたいと思っている。

私は理系学部ですけれども、文系の科目の方がどちらかというと好きで、特に歴史が大好きなのですが、高校で
は受験科目ではないということやはり文系よりもずいぶん適当でとにかく点数をとるといふ勉強になりがち
だったので、歴史の基礎は学んでおきたいなと思いました。

どんな専門的な知識もそれを使う人物したいと思うので、まずは教養教育をしっかり受けて専門教育を受けるだ
けの器を形成したいと思う。

各分野で活躍する教員の先端の学術研究を講義で聞けるということなので、しっかり知識、考え方を吸収したい。

ただ教養で大事なことは吸収するものが、どんな知識かどんなすばらしい考えかではなく、自分が中心的に学んでいるものとは違った知識や考えに触れようとする柔軟な姿勢であると思うので、できるだけ自分を柔らかくして講義に望みたい。

健康科学など人間の体に関することを学び、又、心理学など興味のひかれるものを受講したいと思う。

数学がなぜいるのかと私もよく疑問に思っていました。京都大学の根本となる、3つのつながり、自分の教養の1つにしたい。「自由」という言葉の意味を重く受け止めていきたい。

自然科学系（B群）で高校では未習の物理を充実させるよう学びたい。文系向けの講座をとりたい。

締切までにゆっくり考えたいと思っている。ガイダンスで予想以上に授業が多くあり、選択の幅が広がり、選択を適当にできるかがやや不安。

外国語を中心に勉強していき、より多くの外国の人たちと交流したいと思います。

薬学部（アンケート提出率 96.5%）

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

高等学校の内容をはるかに越えた深い内容を学んで自分のものにできるように取り組みたい。そして、そのような深い内容を学習できることを求めたい。

薬について興味を持っており、薬学部を志望しました。私自身が日頃、薬に頼らなければならない状況になっているため、その薬の作用などを詳しく学び、副作用のないよりよい薬を開発することが目標です。

新薬を開発したりといった研究とずっと関わっていきたくないので、そういった技能、知識の修得を求めています。以前より興味があった薬剤の人体へ及ぼす影響やその働く仕組み、免疫機能について学び、将来の研究、あるいは薬剤師となるのにふさわしい知識と倫理観を養うため様々な学問に取り組みたいと思います。

人体についての知識を深め、薬を通じてより理想的な体調を維持できるように研究をしていきたい。具体的には疲労回復、毛髪関係、免疫強化など。

有機化学や生化学など、自分から勉学を進め、早く研究の役に立てるようになりたいと思います。図書館や食堂は夜遅くまで開いているようなので、頻繁に利用するつもりです。

薬学についての深い知識を得て、自分のやりたいことについて明確に知ることです。今までは薬学という漠然としたイメージしかなかったけれど、京大薬学部に入り具体的にわかるように責任的な姿勢で学んでいきたいと思っています。又、宇宙にも興味があって、宇宙に関する薬学というものについても学んでいけたらなと思っています。

豊富な実験設備にあこがれて入学したので、それらを十分に活用できるように努力したい。又、人脈を多く築けるのが大学だと思うので、多くの人々と触れあいたい。

将来の職業選択に役立つような知識や経験を求め、専門的な薬学研究に取り組んでいきたい。

環境の整っている京大で最新の薬研究に取り組みたいです。また、同じ目標を持った人たちとの仲を深め、互いに良い刺激を受けながら研究に取り組んでいけることを求めています。

今間で学んだことのない多くのことも学びたい。学問的なことだけでなく、いろいろな人と接していくことによっても得られることは多いと思う。自分にとっての世界が広がればよいと思っている。

様々な人との出会い。部活を真剣にすること。分かりやすい、おもしろい授業。最新の創薬科学の勉強。京都の風土、京大の校風に馴染むこと。薬学の域にかかわらない幅広い知識、教養。

薬学研究者になるための必要な学問や教養を身に付けられる講義を受けたい。また薬学以外の学問も学んで、なるべく多くの知識を身につけたい。そして、大学で上記の学問や薬学の基礎研究、他に余裕があればサークルなどの課外に加わり、自分の狭い考え方をなるべく広げていきたい。

適切な環境・設備のもとで専門的な事を学びたいと思う。薬の研究に必要な知識・技術を得たい。

自己を高めることができる環境を求めます。まだ、大学生活がどのようなものになるか分かりませんが学問、スポーツなど幅広く取り組みたいです。自分に合う分野のものはより深めたいです。

実験や研究のしやすい環境等。難病治療薬等の開発の道にすすめるよういろんな知識を身につけていきたい。

自由な校風だと聞いているので、そのような校風の中で学生生活を有意義に過ごすことが第一の目標です。友情関係を深めていく中で、自分の人間的成長をはかり学業にもいそしみたいと思っています。この大学で学んでいく中で、自分の知らない自分の新しい面をみつけていくことができればよいと思っています。

冷静な頭と暖かい心を持った人間的に大きな人になりたい。薬学には高1の時から興味をもっていたので講義がとても楽しみです。

大学でしかできないことをやりたいです。幅広い知識や教養を身につけ、様々な人と交流し、物事を柔軟に考えられるようになりたいです。

目標を探すために入学したので、それはこれから考えます。

1つの分野にとらわれず、多分野で応用のきく知識を得たい。大学院卒業後、即戦力となる能力を得たい。

高校ですべての科目が広く浅くしか学べなかったため、専門的なことを学べることを期待しています。特に自分の好きな科目である化学を突き詰めて考えていきたいです。

特に理科全般の知識を深め、高校ではばらばらだった各分野のつながりについても知りたいと思います。理科のみでなく大学で習うまだ知らない事柄を学び、理解できるよう努めたいです。内容は難しいと思いますが、それ故に楽しみでもあります。又、学業が中心にはなりますが、大学でしか体験できないようなことにも取り組んで見たいと思います。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

今の時代がどうなっているか理解するために政治や経済について学びたい。また、医学に関する分野も学んでみたい。

自分が将来就きたい職業で何か役立ちそうな分野、将来の生活を豊かにできると思われる学問を学びたい。

将来、研究者になりたいので、研究者としての基礎となることを学びたい。

私は薬学部生だが、哲学や宗教、認識論にも興味があるので学んでいきたい。それに関連して高校のときにやらなかった世界史とかも(今は全くわからない)学びたい。

高校で学んできたことから、専門的分野へとスムーズに移行できるような理解しやすい講義を受けたい。

まだ決められない。授業内容を確認してから決めようと思う。

今日のガイダンスだけでは決定することはできない。手引き等を熟読してから決めるつもりである。しかし、25コマ全部埋めようという意思は揺るがない。

様々な技術革新にも対応できるように、しっかりと基盤的知識を身につけたい。また直接専門とつながりがない科目も広く学びたい。

ここでしか学べない(第一線で活躍する人の授業)を学びたい。

自分の考えを広くするような新しい分野を学んでみたいと思いました。心理とか精神に関することなどを学びたいです。

哲学、法学、歴史など文理選択 受験勉強の関係でほとんど学ぶことができなかったけれど興味のある分野。専門にしたかったなという未練(?)のある分野。

薬品などを作っていく上で、必要な倫理的知識。

外国語をしっかりと学び、又、人文・社会科学系科目で歴史や哲学思想を身につけたい。又、ポケット・ゼミにも参加したいと思う。

自らの専門分野を研究していく際に、意外なところで役立つような幅広い知識を身につけたい。

幅広く学ぶことによって、深みのある人間になりたいと思う。哲学や思想的なものに興味があるので、その分野を詳しく学びたいと思う。

異文化に触れるために必要である。外国語に力を入れて学びたいと思います。

今は具体的にはわかりませんが、幅広い分野に触れて興味をもてたものを深く学んでいきたいと思います。

英語や第二外国語も重視するが、“ヒト”に関する講義を受けてみたいと思います。

文学、古典、歴史、法律、心理学を専門の人達に負けないくらいに学んでみたいです。

できれば実験器具なんかというか装置みたいなものをいじれるようになりたい。

何か1つのことを深く学びたい。文系科目にもふれてみたい。

1回生から学べる専門科目にも力を入れて取り組みたいと思う。また、基礎となる科目も大切であることが分かったので怠けないようにしたい。

将来、グローバルな視野で学際的な勉強ができるようになるための基礎となる力を身に付ける。

基礎が大切だと感じたので、特に語学に力を入れたいと思う。

高校時代から文系科目も興味深く楽しく取り組んでいたため、大学で最先端におられる先生から様々な分野のこ

とはとても嬉しく思います。A群の中では哲学、思想系や歴史などを学びたいと思います。

工学部 (アンケート提出率 97.0%)

1) 地球工学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

自分の夢を叶えるために必要であり、学ぶべき最適の授業。そして、勉強のしやすい学習環境。環境、資源について取り組みたい。

将来の“橋を設計する”という夢への第一歩として、その技術を学んでいきたい。また1つのことに集中するのではなく、いろんなこと(上に書いた夢に直接関係なくても)に取り組んでいきたい。

世間に広く認知されている京都大学の学歴を持つことで、将来の自分のなりたい職業への可能性を高めることができると考えています。自分の場合は地球環境に取り組む仕事がかしたいという漠然とした考えがありますが、大学での講義や仲間との出会いによって、より具体化された道が開けることを望んでいます。

環境破壊や地下資源の浪費が進む現代社会を専門的な観点から見つめ直し、より良い地球を作るために、地球について学んだり新しいエネルギー源などを研究したいと思います。

私はエネルギー資源、地球環境に興味があります。京都大学ではメタンハイドレードなど、新エネルギーについてや、琵琶湖の水質改善などについて取り組みたいと思っています。また、人間的にも優れた仲間と共に学び、人間的にも成長したいと思います。そして英語をはじめとして語学にも力をいれ、「世界に通用する日本人」になりたいと思います。

今のところ細かく何がやりたいとは決まっていない。ただ、将来的には何か巨大な建築物を建てるような仕事に関わりたくいので、そのため専門的な知識を身につけていきたい。その他のことについても興味をひくような事があれば学んできたい。

1つのことだけに精を出すということは、自分の意志に反します。多くの様々なこと(私自身としては工学部ということで、地球やその他惑星におけるエネルギーについて興味があり、学びたいと思っている次第です)を学んで多角的な目で物事をみて取り組んでいきたいと思います。将来、社会に出たとき、どんな環境にも適応し、納得いく結果を得られるよう努力したいと思います。

地球環境をよりよくするためには、どうすべきなのかを研究し、また海外でもいろいろな研究者と議論できるように英語をマスターしたい。

高校のときはあまりよく考えなかったので、自分の将来についてしっかり考えたい。そのために、勉強やスポーツに限らず、様々な活動をして、自分の可能性を模索する。高校の時はサッカー部に所属しつつもバンド活動や演劇をしたいので、継続させたい。

近年問題になっている環境汚染等の解決策を発見すべく、日本で最高の研究施設のある京都大学で勉学に取り組みたいと思います。

自分の課題を探し、向上心を常にもって、あらゆることにチャレンジし、高い教養を身に付けていきたい。又国際経験をどんどん積んでいきたい。

広い視野と専門的な知識を養うための学習。英語を冗談が言えるぐらいまで勉強したい。

ハイレベルな講義、ゼミ、実験など、他大学では真似できないことを求めます。特に地球環境問題について、取り組みたいです。

工学部は特に女子が少ないですが、私はその中で頑張って心技を磨きたいです。自称体育会系です。まず、いろいろ知って自分が何をするとき一番活性するのか分かった後、全力で勤勉します。まじめに頑張ります。自由な校風のもと、自らを人間的に成長させる様々なことを経験していきたい。又学業面においては地球環境の保全・改善を中心に置き、それに沿った人類の発展に就いて考えていきたい。

「環境問題に取り組みたい」という漠然とした思いを抱き、京大を目指しました。これからの生活の中で具体的なものを見つけて、それにチャレンジしていきたいです。

自分の一生をかけられるほど、やりがいのあることを見つけない。地球・人間全体に関わる壮大なことに取り組みたいと思う。

語学・科学など様々な分野についての知識を蓄積したい。その知識を用いて地球環境、人間の助けとなる仕事を

したい。

地球環境工学科ということで、資源について学びたいと思います。地球環境の改善に役立てるようなことを身に付け、将来そういうことができるだけの学力が備わればいいなと思います。

将来、起業するために必要な基本的な学識を得たい。

地球温暖化、森林破壊などの地球環境問題に興味があるので、詳しく学習したい。大学院では地球環境学を専攻したい。

自分の夢をかなえるために必要な知識を求め、勉強だけでなく部活等で、いろいろな経験ができるように、様々なことに取り組みたいです。

他の大学では学べなかったり、単科大学では出来ないことを学びたい。その中で今後、自分の勉強したいことを探したい。

熱い血と広い見聞を手にして、人生の指針を探したいです。

漠然とした目的を少しずつ具体化し、まずは人間を磨く、直接的に社会に貢献することだけでなく、長い目で見た時そう思えることを学びたい。

環境問題に対する深い知識を学び、地球環境問題やエネルギー問題の解決に取り組みたい。

将来に役立つ知識、社会での経験、そして未永く付き合える友達を求めます。そのため私は積極的に行動し、自律した生活をしたいです。

自分が興味をもったことにのびのびと打ち込む自由な環境の中で生活する。将来に役立つ勉強をしたい。

まずは一般教養を身に付けて、それから自分の就くべき職業もしくは院に進むならば進むでどんなことをするかを見つけたい。あとは部活とかがんばる。

友達を多く作ること。新しいエネルギーの開発に関する情報を得ること。

「都市」についてしっかりと学び、色々な学問についても取り組みたい。また、クラブ活動とも両立し、人間的にも大きく成長したい。

高校よりさらに深く、専門的な環境のことについての知識やいろんなことを学び、自分で考えたことが社会に利用されるようになりたい。

深い教養を持った人たちと共に学ぶことによって、将来の自分の人格形成により影響を与えたい。また、多岐にわたる内容を習得するということを通じて、本当に専門として学びたいことを見つけ出し深く探求する。

環境問題に関するエネルギー学の最先端に触れつつ、多々の問題は所詮一個人の意思で行われるものであることを踏まえ、思想面の上でも人間の意志の在り方を変えたい。具体的には面倒なのでこの辺で。

この大学で得られる物をできるだけ多く得たいと思っています。また、より多くの知識を理解し、自分で磨いていきたいと思っています。地球工学科ということで、今、地球を取り巻く環境等を学び、自分に何ができるかを考えていきたい。

部活と勉強を両立させることで、精神面、体力面、勉強面で自分を高めたい。それと大学生活を楽しむ。

僕は工学部地球工学科にて、総合的な視野で土木・環境などについて深く考えていきたい。学生生活としては、スポーツに打ち込んで、積極的に物事に取り組んでいきたいと思っています。

日本中の優秀でかつ人格的にも優れている人が集まってきているので、そのような人達と多く触れ合い刺激を受け、人間的に成長できる場として、京都大学では学びたい。それは勉強にせよ、付き合いにせよ、多くの面で期待できると思います。勉強に関しては理科学研究はもちろんのこと、英語を重要視したいと思っています。自分の視野を広げるには世界に飛び出すグローバルな人間にならなければならないと思うし、そのような人間になりたいと思っています。京都大学にはこうした自分の人格形成の場として、そしてこれからの自分のステップの掛け橋となるように意欲的に取り組んでみたいと思います。

最先端の知識と技術を身に付け、将来的に大学院の研究室で、新エネルギーの研究をしたい。

自分が興味のあることだけを学ぶのではなく、それにつながる基礎的なことを幅広く学び、また授業を受けていく中で、いろいろ興味がありそうなことを見つけ、そういったことを積極的に学んでいきい。

エネルギー関連の研究に取り組みたいと思います。

充実した研究をするための設備環境を求め、それを使って、環境保護につながる技術を開発したい。

勉強面に関しては、自分の興味ある分野についてさらに学んでいきたい。他面に関しては、高校時は勉強が主でさほど楽しんでいなかったもので、大学では様々なことに挑戦して視野を広げ生活をエンジョイできたらいいなと思う。

高水準の教育を求め、自分が興味を持ったことに取り組みたい。

専門知識の修得。地球環境を破壊しないクリーンエネルギーを作り出して、また今あるものを発展させること。

様々なことを学び、教養を高め、色々な人と関わりその意見を聞き、自分を人間的に磨くとともに個人的に注目している風力発電の新しい可能性について研究したい。

新しく学ぶ知識を身に付けていき、自分の進むべき分野について専門家になりたい。後、自由な時間を活かして社会活動に参加し、広い見識をもった立派な人になる。

最先端の研究を行っている教授達による高度な授業を受け、将来的に自分もそこに加わっていけるようになりたい。

京都大学に入学して後悔しなかったと思える教育を求め、学科を越えた勉強に取り組みたい。

適切な教育と適度に遊び(運動)をする機関。生涯の友人と出会える機会。以上を求める。環境工学を学びたい。

「考える力」を養いたい。考えることを止めたくない。考えることをつらいことだと思いたくない。

高度な教育を自由に受けられる環境を求め、東大に負けないくらいレベルの高い研究を将来できるように今のうちから勉強したい。

基礎の自然知識だけでなく、人文知識も身に付けたいです。留学生として日本の本当の姿、日本文化なども知りたいです。

やりたいことや学びたい科目が具体的にないので、そういったものを見つけられたらいいと思う。そのためにできる限り多くのことを学び、多くのことを知りたい。京都大学は「自由の学風」だということなので、そのなかで自主的に選び、行動できるようにしていきたい。

僕はこの大学で地球工学の専門知識を学び、また幅広い学問を修得したいと思います。そのために授業はもちろんサークル活動にも積極的に取り組みたいです。

環境コンサルタントに必要な知識を得る。高校で学べなかった様々な分野を経験してみる。

自由な校風と未知の物への探求に取り組みたい。

自分が全力で打ち込めて、自分の持つ能力を存分に発揮できる事を見つけない。外国語、特に英語を身につけたい。

環境問題を改善するための知識を得て、それを後にいかせるようにしたい。

自分のやりたいことが何かを見極めたい。分野を問わず、幅広く学びたい。

小・中・高とは違ったのびのびとした自由でかつ専門的な学習をし、又、勉強以外にも先輩と後輩、教授と学生など今までより、より広がった世界の中でより良い人間関係を結び、将来より良く生きるための基礎を作っていきたい。

自由な雰囲気の中で、勉学や学校行事に取り組み、将来は環境関係の技術でもって、社会で役立つようになりたいです。

今はまだ工学というものに対して漠然としたイメージしかないなので、これから1回生、2回生と年を重ねながら自分の興味のあるものをみつけ、それを極めたいと思います。

自由と責任、自律するために必要な責任をこなせるように、かつ与えられた自由を最大限に利用できるようになりたい。そのためにけじめのある生活をしたいと思う。

自由な空間において、学術の最先端に先駆ける、先生方の高度な授業を受け、自己の教養を深めること。

様々な講義を受ける中で、自分の進路を探していきたい。又、集中力を高め、自分の頭でもっと、考えるようにしたい。

私は京都大学で思いつく限りのあらゆることに積極的に挑戦していきたい。勉強では将来環境問題解決のための研究をしたいので、環境や国際政治のことなどの本を読み視野を広げたい。クラブ、サークル活動では何か打ち込めるものを探し、思いっきり楽しんで、多くの友人を作りたい。又、様々な人の話を聞いて参考にして自分なりの考えをもてるようになりたい。その他ボランティアやアルバイトなど色々な経験を積んでいきたい。

以前から環境問題が叫ばれていたが、その現状がどのようであるのかを学ぶのに最適な学科ではないかと思い、その最先端を学びたい。

英語を話せるようにして、海外で環境について学びたい。

高校の時に学んだことをより深く、知らなかったことをより広く学びたい。色々な知識をどんどん吸収したい。また、ただ吸収していくだけでなく、その知識を利用できるそして更にその知識を発展させていきたい。専門的な知識だけでなく、専門外といえるような知識の元となるものを自分で積極的に見つけて広げていきたい。

土木に関することに興味があるから、3回生になって、そのことについて勉強してみたいし、詳しく研究もしてみたい。

各々志を持つ、たくさんの人々と一緒にお互いを高めあいたい。自分の目標である環境問題解決に力を尽くせる人になるため、自分の能力を高めたい。

自由に勉強できるところに引かれています。高校とは違い自分の興味のあることをどんどん学べるので、積極的にいろんなことを吸収していきたいです。

学生時代にしか経験できないことをたくさんしたい。貪欲に学び、貪欲に施設、設備を利用したい。

探求したい分野が今はまだ漠然としているので、なるべく早くそれを具体化して一生を費やせるような研究を探したい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

具体的には世界の地理に関して学びたいと思います。上でいったようにグローバルな人間になりたいので、その土地のこともよく学びたいと思います。また、理系といえども法律、特許の勉強はおろそかにできないと思うので、そこらへんも学びたいと思います。

1人の人間としてより豊かな考えをもち、より広い視野でものを見れるように、工学部に関係のないことでも生きていくうえで糧になるようなことを学びたいと思います。

私は児童心理学をしたいと思っています。それはあまり物事を知らない子供がどう感じ思うのかに興味をもったからです。また高校時代は歴史を本格的に勉強をしたことがないので、日本史特に明治以降を学びたいです。

将来、環境問題に取り組もうとすると広い教養が必要になると思う。京大の全学共通科目を最大限利用しようと思った。

外国語の重要さを感じたので、外国語に重点をおいて学びたい。後、A群の科目は文化・社会などに興味があるので、是非とも力をいれて学びたいと思う。特に法学に興味もあるので法律中心に学びたい。

某物理学の話をお聞きしたとき、物理は哲学に収束すると言っていました。私はこの辺の話に興味があります。夢をもちつつも甘い考えではやり過ごせないため、そこを忘れずがんばります。

エネルギーとしての石油を産出している中東地域の情勢・背景等、心理学関係。

古きを知り、新しきを知るとい言葉があるように、昔の人と今の人の相違を見据えながらどのように人々の考えが変わってきたかを知りたいです。

大学の共通教育は、自分の専門外の学習をする最後の機会なので、文系科目もしっかり学んでおこうと思います。理系科目は地球科学など、自分の興味のある科目を受け、自主的に勉強しようと思います。

管理職になったとき、歳をとったときに学んで良かったかもしれないと思えるような教育。手を抜かず学んでいけたらいいと思う。

いろいろありすぎて、よけいにどれがいいかわからなくなった。

学問の専門分野にこだわらず、幅ひろく勉強したいが、絵・美術について学びたい。

自分の好きなやりたいことばかりをやるのではなく、今現在の自分が大人になっていく過程で養うべき規律や道徳を学び、強くたくましい人間へとなりたいと思っている。

世の中に出て、役立ちそうだと自分が思ったこと。

文系科目では、近代芸術論や哲学など、近代の思想や芸術について学びたい。理系科目では、自然史や進化論など、宇宙的規模で考えたい。

自分のやりたい事にとって必要だと思われる科目など、よく調べて損のないよう、むしろプラスになるよう無理せずたくさんを学んでいきたい。

大学院や就職に必要な科目以外にこれから生きていく中で学んでいて良かったと思えるような科目も学びたい。自分に足りない教養を学びたい。

あるものに対して多角的な視野から見て考えることができるようにしたい。教養教育でこれを確立するだけの広さ深さのある人間にしたい。

A群科目は大学在学中よりも、その後何十年後になって、大切さが分かるということなので、熱心に受講したい。

自分の進みたい進路への基礎から応用の知識と、一般的に世界の人々の考えや昔の人々の考えを知りたい。

数学理科に力を入れたいが、文系理系にとらわれず、人文社会系科目にも力を入れたい。

何のためにやるかではなく、やること自体が目的といえることから始める。

集中力が早く切れたため、何を言っているのかがほとんどわからなかった。自分が興味の湧くようなら何でもいいです。

今現在の学生は「常識が無い」と言われていて、自分もそうだと思うので、しっかりとした幅広い知識を身に付けて、社会に出てもしっかり対応できるように幅広い知識を学びたい。

倫理的な立場からの環境問題に対する見方。

特に工学部以外の科目で自分のやっていきたい科目があるかどうかを知りたい。いろんな分野を学んでみたい。これから社会に出ていくにあたって、役立つ知識を身に付け、これからの国際化の流れに遅れないようにしたい。あとは専門分野の基礎を築きたい。

豊かな人格形成のために、A群の講義を積極的に受けたいと思います。

核融合の情報やそれに関すること。多くの実験、実習、心理学、読心学などの文系科目。

できるだけ多くの学問に接し、その中から興味のあるものを見つけたい。

外国語の勉強を通して、その国の文化を理解し、その知識を自身の中に取り入れ、豊かな人間性を養いたい。

言語によって、国によって、人の考え方がどのように違うかを学んでみたい。都市の計画について学んでみたい。

人間の真理。生物系の勉強もしたい。

自分にとって有益となることを学びたい。

工学系に加え、根幹をなす人間そのものについて思想（哲学）論理に関する面から学びたいと思う。全てにおいて、対話を通じた自他との関わりにも配慮していきたいと思う。

世界を相手にできるような人間性を養いたい。

自分の専門としたいことにつながることを幅広く学び、視野を広げていきたいと思う。

経済学とか学びたいと思いますが、いろいろなことをしてみたいので、今はよく定まっていません。

人格形成に役立ちかつ、自分の興味にあうこと。

地球工学科の授業に役立つこと及び興味をもったこと。

バランスのとれた大人となるためのこと。

まだ、具体的に何をやりたいとかはもっていないけど、実際に体験して、自分の進む分野を考えていく。そしてできれば環境問題の分野で貢献したい。

人間性を深め、長期的に見て役に立つもの。

実用的な語学力、環境について学ぶのに必要なだけの計算力。

地域文化系の人文知識とか、社会科学系のような将来に対して役立つ知識を勉強したいです。

やはり好奇心をもって、学問をしていきたいので、専門分野に直結せずとも、豊かな人間性を得られるものを学んでいきたい。それも主観であるが、与えられたチャンスを充分活かしたいと思っている。

社会の一員として、学科の専門的科目だけでなく、人格形成に役立つような人文系科目を学びたい。

今まで気がつかなかったこと。どんなことが研究の対象になっているのかなど。

専門外でも日常生活でも役立つものをしっかり学びたい。

たくさんの科目を取りすぎず、自分が本当に学びたいものだけを学びたいと思う。

将来の専門とは異なるであろう分野についても広く学びたい。

上回生になったときに困らない程度の基礎を身につけたい。

英語、中国語などのように卒業後に社会に出てからも役立つものをはじめ、その他、様々な専門的知識を身に付けることで、幅広い教養を持てるようにしたい。

都市環境、自然環境を学びたい。

資料をよく読み、自分の本当に学びたいことを見つけ、それを思いっきり学びたい。充実した日々を送れるようにしっかりと選びたい。

人間の本質に迫るような学問をしたい。高校の時は哲学や心理学に興味があった。

教養教育ということで、理系でも文系科目を学べるようなので、歴史、法律など、興味があったことについて、積極的に学びたいと思う。

ガイダンス中にまた熱が上がって、いい考えが浮かびませんが、自分の興味にあうものを学びたいです。

幅広い学問に触れ、自分の興味のもてるものを模索していこうと思う。

特に数学や物理学など、より高度なことについて学びたい。

哲学・心理学系の授業に参加し、人間の本質についての理解を深めたい。

外人とコミュニケーションがとれる程度の英語力を身につけたい。生物系の分野にも触れてみようと思う。

専門的なことをする準備として、できるだけ様々なことを学びたい。

哲学や社会科学など。理系学的な事は、何でもやってみたい。

社会に出たときに社会人として、恥ずかしくないような教養を身につけ、また、自分の仕事にいかせるようなことを学びたい。

法律や歴史などの専門とは直接関係のないこと。第二外国語も強くなりたい。

数学や物理、語学など3回生以降の基礎となる科目以外のA群の科目もおろそかにせずに学習したい。
A群科目の中には興味深いものが多いので、たくさん授業を受けたいです。また第二外国語もできるだけマスターしたいと思っています。

現時点で特にこれと言ったものはないのですが、高校で選択しなかった日本史や選択したものの苦手意識が強かった世界史、などを学びたいと思います。

この先ずっと役に立ち、人間性を豊かにする教育を学びたい。

自分の学習したいことだけを学習していくのではなく自分自身を成長させる意味で、よく考えて学ばなければならないことをしっかり取り組んでいこうと思います。

言語中心に学びたいと思う。言語から自分の考えを広げたい。

専門的なことに関係しそうなことか、A群などについては本当に興味ありそうなものを選んで、わけがわからなくならないようにしたいです。あと数学などでは自分で、しっかり考える力をつけたいです。

高い人間性を養えるような学問を学びたい。

まだ、この社会について知らないことが多いので、そのような知識を修得したい。

哲学や外国語など、これまであまり関わりがなかった科目について理解を深めたい。

高校でほとんど勉強する機会がなかった歴史・文化について学びたいと思う。理・数は幅広くいろいろなことに取り組んでいきたい。

色々学びたいが、特に環境問題や人文関連として民族問題について学びたい。

一般教養の大半を身につけたい。特に外国語。

地球工の専門とは縁が遠目の、人文社会系に力を入れたい。

地球環境や文化の違いについて。

入試になかった趣味のあること。

将来にいかせるようなA・B・C群を中心に学びたい。特に化学・物理・数学を学びたい。

1人の大人として知っておいたらよさそうなこと。

今までほとんど学ぶ機会がなかった歴史に関わることで、他では学ぶことのできないようなこと。

2) 建築学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

先進的な分野を数多く持つ総合大学であることを充分に利用し、さらに先進的な複合的な分野を開拓し、研究できる制度、設備などが充実するよう大学が自ら働きかけていき、自分達はその制度や設備を十分に利用し、さらに先進的なことに挑戦していきたい。

僕は父が建築関係の仕事についていることや、阪神大震災の影響などもあり建築学への興味を持ちましたが、実際興味を持っているといってもやはり自分で学べることは、父の話や本を読んだりすることからしかなく、しっかりと学べてはいません。京都大学工学部建築学科に入りもっと建築学について学びたいと思います。又建築学だけに限らず他の分野に関しても幅ひろく学んでいきたいと思っています。

建築史に残るような、芸術性が高く、機能性も備わった建物を建てられるくらい、建築に関するあらゆる知識を身につけたい。

私は京都大学で、専門的な知識を身につけるだけでなく、それに限定せずに広く知識を身に付けたいと思います。取り組みとしては、常に人と同じ事をやるのではなく、人とは違った考え、アプローチを考えていけたらと思います。

僕には建築士になって記憶に残る建築物を後世に残すという夢があります。その為に何が近道になるかを考えた時、ある程度勉強ができたので京都大学建築学科ならば、他の大学、専門学校よりも素晴らしい学問が身に付けられるかもしれないと思いました。基礎理論から実技まで幅ひろくかつ深い授業を受けられることを期待してここまでできました。もちろん京都大学のネームバリューにもひかれましたし、就職に有利かもしれないという気持ちもあります。とにかく自由の校風の下で、自分の夢を目指して頑張っていこうと思います。

京都にしかない歴史的建造物にも興味があります。総合大学なので理系科目に偏らず文系科目も学びたいです。建築学についての専門的な知識を身につけたい。特に建築物を芸術の観点から見ていきたい。構造や強度など物

理的な勉強だけでなく、美術的要素を多く取り入れた講義をききたい。

大学卒業後に独立して生計をたてることのできるために十分な能力を養うことができる教育をもとめたいと思います。そして、その教育についていくためにも、特に語学や海外における芸術分野に関心を持って、勉学には励みたいと思っています。

他の大学より高い知識を得て、真似できないような研究がしたい。

日本の建築業界は飽和していると聞いたので、世界的に通用する知識・技術を身につけたい。ただ人で終わりがたくない。

僕はこの大学で建築学の専門知識を学び、又幅広い学問を修得したいと思います。そのために、授業はもちろんボランティアなどにも積極的に取り組みたいです。建築学に関して言うと、主に免震構造を学んでいきたいです。自分の考えを具体的に持ちたい。高い志を持った人達の影響を受けて、建築に関して、自分が何をしたいのかをはっきりさせたい。具体的に将来の自分を思い描けるようになりたい。それからその具体的な夢を実現できるように、知識を蓄え感性を豊かにしたい。

日本でもトップクラスの環境の中で、好きなことを真剣に学びたい。

専門の建築学を学んで、人の関心をひく建造物を造りたい。又、広く一般的教養を身に付けて大きな人間になりたい。

私は京都大学の中で一般教養部では人間的に幅広く多くの知識をもつ人になるための機会、授業を求め、専門学部では専門的に十二分の知識をもち、自由に創造するのに足りるだけの技術を得られるような授業をもとめる。また、1つのことをみんなで力を合わせて作るような機会を作り、取り組みたいと思っている。

文化、哲学に関する造詣を深め、数学、物理学、化学に関する最低限度の知識、思考法を固めたい。その上で、建築という広い分野の中での自分に最も適した分野を発見し、その限りで努力し将来につながる道を作りたい。ゆとりと平和を求め、創造性を広げ、仲間と協調性を持ちながら限りない可能性を探しもとめていきたい。また、建築学科に入った者として、専門的な分野を学び、最終的に家を建てられるように頑張りたいと思う。

これまで、個人によって学びたい学問を選ぶのは、例えば物理か生物かといった非常に漠然としたものでしかなかったが、大学では学部・学科ともに詳細に区分されている。中学の頃から興味を持ちはじめた建築という分野の学問をこれからは専門的に学べることがうれしい。また、理系の学問以外にも例えば歴史や神話学などの文系とされる学問等幅広い教養を身につけたい。最後に中学から始めたテニスを大学でも続けていきたいと思う。生きる力を身につけたい。建築を中心とした広範囲の学問に取り組みたい。

今まで経験したことのないことにどんどん取り組んで、新しい自分を発見したいです。

興味深い講義、自分の将来像を具体的に確立する。その実現に向けての努力し、人間関係の幅を広げる。。

京都大学で勉強だけではなく、そのほかのいろいろな方面も勉強できます。人間的に成長したいです。そして勉強を通して、物事に対する思考能力を高めようと思っています。

自分の興味のあるものを見つけ、それにじっくりと取り組みたいと思う。

基本的な学力を身につけ、建築の専門的な知識を学び、自分の興味のある分野をさらに細かくやりたい。

知識を深めて、創造力豊かな人間になりたい。建築だけでなく他のいろいろなことも学んで、充実した大学生活を送りたい。

よく言われるように京都大学の自由な校風によって、自分で考える力を身につけられるような環境を求めます。また、専門にだけ取り込むのではなく、広い知識を得られるように、取り込みたいです。

将来の目標の建築設計士になるために、色々と学んでいきたい。それだけでなく福祉などに関するものなどの幅広い知識を得たい。そのための良い環境があればいいと思う。また、他学部の友人なども多く作りたい。

これからの人生の基礎となる、専門的な知識や様々な人との交流がしたい。大学にはその機会を与えてくれることを求めます。そして、精神的にも経済的にも自立したい、つまり大学になれてからは1人暮らしをしてみたい。京都という伝統のある土地で、日本古来の文化を吸収し、後々の建築に役立つように様々なことを学び、それを武器にできるように身につけたい。

建築についての知識や一般教養を身につけ、将来社会に出てからの生活に役立てたい。

今までやったことがなくて、初めて出会う新しいことにいろいろ挑戦したい。第一志望の学科に合格できたので、これから建築学をしっかり学びたい。

倫理性、社会性をもった人格を形成し、人生の明確な目標、もしくは命題を見つけ、その達成に向かい精進する。具体的には未定。

京都で建築に関する多様な知識を得て、世界の文化を学び、自分の力にしたいと思う。学業以外では楽しい人間関係の輪をつくりたい。

日本一の建築技術を学びたい。素晴らしい環境を求む。

建築のことはもちろん、文系科目に分類されるようなものにも興味があるので、学んでいきたい。

幅広い交友関係、素晴らしい先生と出会うこと、自由にやりたい勉強をできる環境、高い専門知識を求め、サークル活動、部活動、アルバイト、授業、課外活動、自習、専門の研究に取り組みたい。

抽象的だが“まち”は海外に行きたい。社会に出て世界で活躍するためには、在学中の海外経験が必要不可欠である。だから、4年間で英語以外の外国語2つを習得することが目標である。もちろん専門の建築学の知識を積み重ねて、世界を視野に入れた勉学に励みたい。

建築にたずさわって生きていくにあたり、しっかりとした知識・技術から渡世術にいたるまで、あらゆる物事に対する土台を築き上げたいです。サークル、学業、私生活、どれもめりこみすぎない程度に力を注いでいきたいです。貪欲に知識を吸収する姿勢は絶やさないうつもりです。時間があれば京都市内の観光名所をまわってみたいです。

学部学科に関係なく、興味ある分野を学習または研究できる場を求め、知力、体力、精神力をいずれも欠けることなく鍛え、向上させ、社会に十分通用する人間になれるよう、色々な経験をつみたい。

専門的な知識を身に付け、自由な生活の中にさまざまなものを見出したい。

大学生活を楽しみ、建築学をまなびたい。あと、留学も出来るならしてみたい。

高いレベルの授業と様々な実習を求め、室内環境や耐震性の研究など意匠建築以外のことに取り組みたい。

建築についての専門知識を身に付け、将来世間から必要とされる人間となるよう勉強に励みたい。また、大学における様々な人間関係を通じて多くのことを学び、自分を向上させていきたい。

国際感覚を育むことが出来る機会を得たい。また、出来る限り英語力を、コミュニケーションを苦しめない程度までは最低限つけたい。その他、多種多様な経験を得たい。

建築科にはいったものの、まったく何もわからないけど、設計とかに興味があるので、いろんな知識を得て、より興味深いものになればよいと思う。

ひとつのことに没頭するのではなく、広い視野をもてるように様々なことにチャレンジしていきたいです。また自分の能力を日々高めていきたいです。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ : 男子、 : 女子）

将来は建築学だけでは不十分で、複合的なものが必要になってくると思うので、例えば心理学など建物を建てる時に必要となる他の要素を学びたい。

優れた人間性を得るために、哲学などをしっかり学びたい。

専門科目はもちろん学びたいと考えているが、個人的に経済関係の勉強を少しやってみたい。経営に興味があるので余裕があればいい。又、海外に行く際に役立つよう外国語関係は集中して取り組みたいです。教養教育は主として自分の学部に関連がないが、興心のある分野を選んでいきたい。（授業で専門分野は十分学べらると思うので）

国際的に活動するために、外国語をしっかりと頑張りたい。工学部の基礎は数学だということだが、僕は数学が苦手なので特に力を入れたい。

自分の学科の特徴からいって、人間の心理や哲学などの建築の背後にあるものを重要になると思うので幅ひろく勉強したい。

大学卒業後、生きていく上で役立つものを身につけたい。

全体論的なものは避け、幅ひろくピンポイントのことをやり、自分の中でまとめたい。

哲学史と歴史を学び国際交流の場で活かしたい。英語、仏語をできる限り学び、学習に役立てたい。

高校までの教育ではできなかったようなことを学びたいと思います。

幅ひろい知識を得るには、異文化交流が必要だと思っていたので、語学はきちんとやりたいと思う。あと思想も学び、人間的に向上したい。

経済についての知識に興味があるので、学びたいです。

幅ひろい知識と基礎的な知識を身に付けたい、外国語にも力をいれたい。又、少しでも建築に関係しそうな知識も身につけたい。

見たことのない科目がたくさんあって、内容など全然わからないけれど、大学でしかできない科目をとりたい。各国の文化や日本の昔の文化。物の見方、考え方の変化。

将来の専門職に関わると思われる講義だけでなく、興味のある講義を学びたい。
世の中の一般常識ではなく、人間心理を広げられるようなもので、自分としても興味のあるものについて深く学びたいと思う。
教養教育をただ目先の利益不利益にとらわれず、人生を通して1つの糧を得るものとしてその授業を貪欲に真剣に受け、自分の物にしていきたいと思う。具体的には哲学・芸術系を学びたい。
高校で学んだ日本史に深い興味を持っているので、それをもっと詳しく学びたい。また西洋史なども中学の頃に少し学んだだけなので学んでみたい。この先、必要となるB群科目だけでなく、A群科目特に文化学を多く学びたい。
建築学だけに限らず、幅広い分野の学問を学び将来自分が進むことになる道にいかしていけるようにしたいです。日常会話を重視した語学だけでなく、専門的、学術的な面での語学にも力を入れたいと思いました。
基礎の部分となる科目を大切に学びたい。又、A群の科目も自分のために、しっかりと取り組みたい。
建築に関係がなさそうな科目でも興味がわけば積極的に学びたい。
私は建築を学びますから、建築を学ぶためにいろいろな知識が必要ですので教養教育を通して、地理とか歴史とかいろんな方面の知識を身につけたいと思います。
自分の将来に役立たせる知識を手に入れたい。
自分にあったものを慎重に選んで、有意義な学習をしたい。
思考力、創造力が養われるような教育を受けたい。
自分の専門の分野とは違う分野を学ぶことにより、自分の分野への見方を広いものにできる分野を学びたいです。幅広い知識を得たい。特に外国語にも力を入れたいと思う。
環境についてのことや生き物についてのことを学びたい。
日本の文化や京都の風土、哲学など。
理工的な専門科目だけでなく、人文社会的な学問にも広く興味をもって学びたいと思う。
建築学を学ぶにあたって、社会心理学にも興味がわいた。心理学はおもしろそうだし、自分が意欲的に取り組めるような教育を選んで学びたいと思う。
自分の興味のあることを極めたいと思う。
C群を根幹として、専門的な科目も幾つか用意されているようなので、そちらにも取り組みたいと思う。
幅広い分野ではなく、自分の興味のあることを学びたい。
いろいろな面から、物事を考えて行動できるようなことを学びたいと思う。
建築の他にも経済学も学んでみたいし、色々なことを身につけていきたい。
一般常識程度の教養を幅広く身につけ、興味をもったものをより深く学びたい。
英語によるコミュニケーションや道徳的なこと。
新入生対象のポケットゼミなども積極的に受けたいと思います。
人間の心理や意識についても学びたい。
専門的なことも可能なかぎり、学びたいと思いました。
専門的なものの土台となること。
自分が建築するうえで、役立つであろうこと。自分が生活を送っていく上で、その生活レベルを高めてくれるようなこと。
多種多様な授業の中から、自分の興味のあるものを選び、積極的に授業に参加し多くのものを吸収したい。
政治、経済などの社会学。

3) 物理工学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(: 男子、 : 女子)

ロボットアームなどの機械制御に関する様々な知識や技術について学び、身に付けたい。又、ロボットの使用、操作にあたり場所によって異なる様々な環境について幅ひろい知識を身につけたい。
私は人体を工学的な立場から研究し、それを人工臓器などの技術に発展させることができるのではないかと考えて、京大工学部を受験しました。そのためまず物理・数学に力を入れたいと思います。
僕は医療機器の開発者になりたいと考えています。なので数学、物理といった基礎を高いレベルでしっかりと身

につけたいです。また医療に進むためには倫理観や道徳観も大切だと考えます。これからも多くの人と交わり、様々な考え方を持つことを通して、身につけたいです。

将来、天王星・海王星などまで高速で行ける宇宙ロケットを開発したいとずっと思ってきたので、ロケットを開発する上での基礎となることを身に付けられたらと思います。特にロケットの推進力などの分野で新しいシステムを作れたらと考えています。京都大学では専門に特化しすぎずに様々なことを学びつつ、物理全般を基礎から学び、将来の開発へのアイデアへの一歩を刻みたいと思います。自分の学びたいことを納得のいくまで突き詰めて学べる環境を提供して欲しいと思います。

サークルとか11月祭とか、友達作りとか、勉強もいろいろけどこの時期にしかできないことをできる限りやりたいと思います。あと、今年から1人暮らしなのでいろいろ生活の知恵を身に付けたいと思います。

NASAで通用する学力をつけるため、高度な勉強にも積極的に取り組む。

現在、僕は宇宙工学関係の職に就きたいと考えています。とはいえ、その夢は人類の多くの課題を考えると、あまり優先すべきでない分野なのかもしれません。いずれにせよ、人類の財産である科学技術を利用するには一定の知識や技能が必要になります。そういった能力 例えば、数学や科学的な考え方などを京都大学で身につけたいと考えています。

航空宇宙関連の大学院に進み、飛行機の構造や仕組みについて学びたいです。またたくさん本を読んで知識を深めたいと思います。

学ぶことを「面白い」ような質がよくやりがいのある(学びがいがある)講義を期待しています。大学では卒業はもちろんですが、その他の活動にも意欲的に取り組み、社会性も共に身に付けたいと考えています。以前から興味を持っていた宇宙工学について学びたいです。

生徒に考えさせる授業、生徒の相談に乗ってくれる教員の提供を求めます。僕は京都大学で教養を付け留学し国際感覚を身に付けた後、グローバルな視点から日本を見つめ、その向上そして世界全体の向上に貢献したいと思っている。

原子力や他のエネルギーについての専門的知識を学び、それを使って現在の環境問題の解決に役立てたいと思っています。更に幅広い分野の知識も学び自分の視野を広げたいと思います。

一個人、一社会人としての自分を磨くとともに、ナノテクノロジーを応用した環境問題への取り組みをしたい。大学院へ入って、京都周辺の技術力の高い企業との共同研究をしてみたい。

教授の方々に質問しやすい環境を求めます。予習・復習を重視した勉強だけでなくサークル等に入って、勉学と運動を両立したいと思います。

国際的に通用する高いレベルでの知識を得て、科学の面から人々の生活を豊かにする研究をしたい。そのために自分の目的とすることに対する必要なもの、又、十分要素を知り学びたいし、それを求めています。

京都大学らしさ、京都大学特有のものを求め、大学生活を満喫できるように、自分の興味のあるもの全てに出来るかぎり、取り組んでいきたいです。

将来、宇宙開発にたずさわるために、必要な専門知識を修得し、幅広く応用できるようにするために専門以外の知識を幅広く学びたい。

人として磨ける場であってほしい。知識だけでなく考え方や、学ぶことの意味を教えてもらえることを望み、また運動などをして体を動かす機会もあるとうれしい。人として成長するため、理系の科目だけでなく、哲学などの文系の科目も幅広く学んでいきたい。

僕の将来の目標は、人々の平和な生活の助けとなることで、特に人間の生活に必要な不可欠なエネルギーについてより安全かつ効率的なシステムを開発していきたいと思う。だから、その分野での深い知識のみならず想像力を養っていけるような学習をしたい。

学業はもちろんのこと、色々な先生の話聞いて、自分の教養を深めたいと思う。将来の展望はまだはっきり決まっていないので、それを探していきたい。

いろいろな人とのコミュニケーションをとって人生経験を豊富にしたい。それが、今後の人生できっと役立つと思う。

空気抵抗などの今の知識ではわからないものに対する見方やその反対。

特に何も求めるものはなし。強いて言うならありふれた学生生活か。でもこれは京大に対して求める訳でもない。取り組みたいことは今はサークル位か。どちらにしるしばかりくないと分らないし、変わるかもしれない。何とも要領を得ず、申し訳ない。

将来必要になる専門知識を得るために、まず土台になる数学、物理の基礎知識を1年の間にしっかり学びたい。また、サークルを通してより多くの人達と出会って人間的にも豊かになりたい。

奇才な学生(友達)を求め、一応最先端の研究に取り組みたい。

将来、研究職に就きたいと考えているので、そのために必要な専門知識を身に付け、同時に人間性を高めていきたいと思う。

新しいエネルギーの開発。又は発電効率の向上といったエネルギーをつくることにすることをしたい。

自分が本気で取り組みたいと思える題材を発見するための機会と教育を期待しています。又、新しい知識に触れられる場へと積極的に赴き、勉学以外の面でもこれまでやったことのないものへも挑戦してみたいと思います。自分が本当に興味をもてることを見つけたい。広い分野を学習したい。広い視野を持てるようになりたい。専門的な知識・技術を身につけていくとともに、サークル等大学生活を楽しみ、信頼し合える友人も作ってきたい。

今まで知らなかったことを知り、したことのなかったことをしてみたい。進学のための勉強ではなく心から学びたいと思うことを学びたい。

これからの進路の選択における、多くの情報や知識、進路自体に関する専門的な知識が得られることを望みます。他にも新たな分野などについての情報を得られたら幸いです。機械の設計や開発に取り組みたいと思っています。だから、それに関係のあることに取り組みでいきたいです。又、新たに興味が出てきた分野があれば、それにも取り組みたいです。

教授との距離が近く、率直に話し合えるような環境。詳しくは分からないが、航空に関する研究にとりくみたい。理系科目だけでなく、文系科目もしっかり勉強して幅広い分野で活躍できる人間になりたい。また、海外での経験を積んで、自分の視野を大きく広げたいと思っています。

京都大学独自の授業で、自分が興味を持って、追及できる分野を見つけ、社会に通用する能力を身につけたい。

エネルギー関係のことをやりたく、基礎知識から応用まで深く学びたい。

僕は京都大学で将来ずっと打ち込むことができるような生きがいを見たい。まだ、自分が何をしたいという強い考えがあるわけではないので、色々と今までやったこともないような事にも取り組んでみて将来について考えてみたい。

大学での実験・研究を重ねることで、最先端の技術を学びたい。また、哲学、思想論についても詳しく知りたい。自分の興味のある分野についての専門的な知識を身に付けることで、自分の夢(将来就こうとする職業など)を明確にする。一般教養を深めることで人間的に成長する。学部等を超えて、サークル活動などで交友関係を深める。自主的な生活(下宿生活・勉強)をすることで、親から社会的に独立(もしくはその準備)をする。

以前から機械に関する職業に就こうと考えていたので、機械に関連することに取り組みたい。

僕は宇宙開発に興味を持っているので、それに必要な流体力学などの専門分野を掘り下げたいと思っています。

又、自分なりに興味をもった内容を幅広く図書館(府立、学内含め)などで調べ、様々な知識を身につけようと思います。今のところ将来的には先ほど書いた方面で携わることができればと考えていますが、大学は自分の中ではまだとても広く、知らないことが多いので磨かれた人達や環境に触れることで、自分の中の考え方に何かプラスになるものがあれば、どんどん吸収しいろいろな世界に入った上で考えようと思います。学内での活動(サークルなど)については、僕は音楽が好きなのでその方面で自分に合ったものを探し、その中で交流の場を広げたいと思います。技術も高めようと思います。

材料関係の研究をしたい。いろいろな資格をとりたい。

色んなことに触れて挑戦してみたいと思います。いい友達も作りたいし、最終的には飛行機を設計したりできるようになったらいいなと思っています。

日本の最高峰のレベルの学問を学び、そこで身に付けた知識を応用して、日本にとどまらず世界に貢献できる研究者になりたいと思っています。

私は京都大学で奇特な人間によって構成されるコミュニティを求め、いろいろなことに取り組みたいです。それは例えば映像作品の製作であったりインドへの旅行であったり、異性との不純交遊であったり、京都探訪であったり、そしていわずもがな授業も。今はまさにアートアンドテクノロジーの時代。科学技術の修得は芸術家の必修事項。

夢を叶えるための力、その力を獲得すること。

学問の自由を肌で感じ、高校までの知識を土台とした更なる教養を身につけ、専門領域はもちろん他の分野の部分教養を身につけて、総合的視点を養いたい。

世界水準の専門教育に触れて研究で結果を出したいと思っています。又、専門以外でも教養を高めたいと思っています。

自分の夢に向かっての通過点及び加速装置として考えているが、大学ではその他の分野についても学ぶことが出

来るので興味のある分野についてもいろいろと学んでいきたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

ポケット・ゼミでは、興味を持てる授業が多いのでとっていききたいと思います。また、A群科目等、自分のする専門的なもの以外にも哲学や歴史等の科目も学んでいきたいと思います。

数学をしっかり勉強すべきだと感じた。

人生の視野を広げることのできるようA群をしっかり学びたい。

A群についてはヨーロッパの歴史や地理を学び、B群では物理学に必要な数学物理を学び、C群ではまじめに単位を決して落とさないようにしたい。

気分転換みたいな感じで、自分の趣味に通じるような分野を学びたい。また、将来の社会生活の中でまっとうに生きるための基本的な知識と知恵を身につけたい。

将来的に社会に出てからのために政治、経済あと世界情勢についてのことなどを学びたい。

今日のガイダンスを受けて、これからの大学での教育を受身ではなく能動的に学びたいと思う。僕は理系だけど英語といった外国語もしっかり学んで、グローバルに活躍できるようになりたいと思う。

歴史を学ぶことによって人のしがちな失敗、成功から教訓、判断力、思考力を学びたいです。また、哲学を学ぶことにより、重層的なものの見方ができるようにしたいです。

高校の時は文系教科はただ適当にやればよいという考えをしたが、大学では大いに人間性を磨くためにやっていきたいと思った。

心理学、精神学を学びたいと前々から思っていたが、深く積極的に学ぶべきなのだと感じた。1週25コマ埋めるつもりでいたが、予習復習を考えれば、不可能ということに納得し、適度に充実生活を送っていききたいと思う。専門分野以外の全く知らないというような人になるのではなく、専門分野以外についても幅広く知っているような人になれるよう学んでいきたい。

選択できる授業が多すぎて何をすればいいのかわからない。

主に語学を中心に学びたいと思いました。

理系科目を学びその分野に進んでいくにあたって、特に工学部などは技術を用いていく上で、倫理的、社会的な問題にぶち当たると思う。教養教育の幅広い知識はそういった時に役立てくれると思うので、広い範囲で物事を知っていききたいと思う。

将来自分が進む分野を選ぶ時に、その分野が心理なのか、または人類に役立つものなのかを判断できる、また人間として高い人格をもった人間になるために、教養科目を学びたいと思っています。

A群の中にも興味のあるものが多くあるので、できるだけ分野をしばって、そのそれぞれについてしっかり学びたい。あまりいろいろやりすぎるのも良くないと思うので、自分がやりたいことだけやろうと思う。

自分の中にある日本人特有の固定観念、先入観を取り除くために多くの国の文化を学びたい。

時間が十分にあるようなので、今までは見向きもしなかったことを興味がわくならばやってみたい。

クリーンエネルギーの導入には世界の協力が、必要である。地球環境や世界の貧富の差などについて学びたい。

宇宙について興味があるので、ポケット・ゼミなども受けて積極的に学習したいと思う。

宝の山から多くのことを学び、広い視野を持った充実した自己を形成していきたい。

自ら進んで専門分野のことだけでなく、幅広い知識を吸収していきたいです。小人数による講義で教授の詳しい話を聞き、自分を高めていきたいです。

物理学に興味があり、進路もはっきり決まっていないので、教養教育として幅広く学びやりたいことをはっきりと決めていきたい。

色々な考え方を知りたいので、哲学や宗教などの思想系それと歴史。心理学もおもしろそう。経済についても知っておいた方がいいと思うので、メディア論など。

どのようにしたら身に付けた知識を後の人生にいかしていけるのかを学びたいです。どのようなことをすれば人間として成長していけるのかを学びたいです。

科学的な立場だけでなく社会学的・文化的な立場での環境問題について学びたい。

世界の歴史を幅広く学び、自分の世間観を広げたい。哲学とは何かを学びたい。

可能性を増やし、ワンパターンにはまらない自由な発想のできるタネを学びたい。

社会にでて恥ずかしくない人になれるように一般的教養を身につけたい。学ぶ姿勢やそういった心構えを身につ

けたい。

自分が今まで興味のなかったことも、説明をよく読み、興味をもてたら本気でその科目に取り組むことによって、様々なことに取り組みたいです。

理系の勉強だけでなく文系の勉強もしっかりやろうと思う。専門的な勉強に入ってもつまづかないように数学・理科の基礎知識をしっかりとつけようと思う。

高校では世界史を学んだので、科学史や哲学史など1・2回生のうちに早めに学んでおきたいと思う。

哲学や倫理のようにじぶんが今まで敬遠してきた学問に再挑戦し、自分の人間性をより深めたい。

優れた教授のもとで、興味があったり将来有益なことを学びたい。

おもしろそうだと思うものを選択して学びたい。どのようなものがあるかはよくわからない。

工学のみでなく文系の範囲の学問も学んでいきたいです。幅広い価値観や思考を身につけたいと思います。

4) 電気電子工学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

自分がこの京都大学でやりたいことは、人間形成である。知識をつけて自分を高めるだけにとどまらず、人間関係について多くのことを学びたいし、本もよく読み、物事を様々な目で見たいような人間になりたいと思う。つまり全てのことに全力投球していきたいと思う。

文理を問わず、幅広い教養と専攻分野の確固たる実力を獲得したい。学部生活の間にバランスの取れた実力を養って、研究者としての資質をおおいに伸ばしたい。京都大学は全国区の総合大学なので、専攻の同じ友人ばかりでなく、特に文化系の友人をたくさん作りたい。学業面ではまず英語でたくさんの論文を読み、かつ書けるように一日もはやくなれるよう努力する。本をたくさん読む。

高校では学べないような、専門的なことを学びたい。いずれは新しいエネルギーの開発や、電気の有効利用などについて研究し、工学の分野から環境問題について取り組みたい。

私は音楽が好きで、小さい頃から今までずっと音楽を続けてきました。そこで京都大学ではAUDIO 関連など、今までとは違った観点から研究してみたいと思っています。

型にとらわれず自由の学風らしく研究に取り組みたい。ロボットなどの機械の中にすばらしい電気信号を送れるようにしたい。部活・サークル・バイトの時間もしっかりとりたい。

電気電子の分野の深い知識をそれに関連してくる分野の幅広い知識を身につけたい。またその知識を応用し、未だかつてないような機械を作りたい。知識は電気系に限らず得たいと考えている。また外国語も勉強し、日本だけでなく世界に通じるエンジニアを目指したい。

コンピュータ、ハードウェアに興味があるので、半導体など電子部品について学びたい。また将来、次世代コンピュータの開発にたずさわりたいと思っているので、ナノテク、超電動、光コンピュータ等について学ぶことができると思っています。社会に出た時に必ずしも望む仕事ができるとは限らないので、基礎を固めることも怠ってはいけないと思っています。

具体的にこれといった目的、目標があるわけではないが、漠然とだが工学部という学部に興味があり、入学して実際にどのようなものかを目にして自分がどうしたいのかを求めようと思っている。

量子力学をしっかり身に付けてナノテクノロジーに活かしたい。

自分の漠然とした目標を具体化してくれる高レベルの授業、留学できるだけの英語力を身につけたい。半導体、特に太陽電池などのエネルギー変換装置や量子コンピュータについて学びたい。周囲の友人や先輩から影響を受けて、自分の身の程を計りたい。

人口知能やロボットの研究。

電気電子の専門分野についてはもちろん、他にも広範囲の分野で一般的な知識、これから社会に出ていくにあたっての生きていく力を身に付けていきたい。また、高校までの習った分野は大学の習う分野に比べてほんの一部にすぎないと思うので、これからはどんどん奥の深い内容についても追及していきたいと思う。あと、勉学のみになく部活(サークル)などにも力を入れるように頑張り、新たな友達とも良い関係を築いていきたいと思う。高校では理論のみに終わっていた物理内容を実験的に確認するとともに、それらに基づいた発展的な学習、実用に耐える能力を身につける。

京都大学は日本の国立大学の中でもトップクラスに位置しているので、やはりここでしか受ける事のできない講

義やここでしか聞けない話など、京都大学特有のものを求めたいです。また、将来は超伝導、物質などの世界に関することに取り組んでいきたいです。

最先端の専門技術の理解、把握、そしてそれに携われるだけの能力を求め、発電から消費に至る全ての電気についての学問に取り組みたいです。

高校では勉強中心の生活だったので、大学では勉強、部活動、バイトのいずれにも励みたいです。又、たくさんの人が集まる大学で、いろんな人と付き合い様々な価値観に触れたい。

大学でどんな勉強ができるのかはまだよく分かりませんが、物理学の実験などに積極的に取り組んで、将来に役立てられるようにしたいです。又、学んだことをいかして何かのロボットを作製してみたいです。

学問的にも人間的にも、社会をひっぱっていく者として恥ずかしくないようしっかりとした教養を身につけたい。何か熱中できる1つのことを見つけて取り組みたい。電気電子なので、パソコンをできるだけ使いこなせるようになりたい。

多くの異文化圏の人を理解するための宗教・思想における教養と実用的な専門知識。

知識を広げ、専門分野について深く学び「京都大学」という伝統ある学校のすばらしい設備と環境を楽しみながらキャンパスライフを送りたい。

ロボット工学に興味があるので、それに関係したものの役立ちそうなものは出来る限り学びたいと思います。生物やエネルギー関係について多く学ぶつもりです。

専攻する分野を将来、世界に通用するように深く学びたいと思います。学問以外にも京都大学で積上げられてきた伝統や文化にも幅広く触れ、大学でしか出会えないような様々な価値観をもつ人達と出あって、柔軟な考え方を磨きたいと思います。

日本のコンピュータ産業の発展に関わるために必要な知識や技術。デバイスの開発や集積回路設計などを考えているが詳しくは未定。

実際に企業が求めるような知識、技術を学びそれを身につけたい。現在自分が学びたい分野に固執せずに、幅広い分野の知識を得て、視野を広くしたい。

分かりやすい授業を求め、勉学とよき友人作りに取り組みたいです。また、海外旅行など社会にでるとすることが難しいことをしてみたい。

人と違うことを、協調性を重視しながらも取り組んでみたい。本当の意味での自分を見つけてみたい。

将来、取得、使用するスキルの基礎全てを求め、知識にとどまらない実践に取り組みたいです。

僕はよくいわれる自由の学風にひかれて京都大学を志望しました。ここなら自分の興味のある学問に熱中することができると思いました。自分のなかでは漠然と電子工学系の学問に興味があって電気電子工学科にはいりましたが、興味があれば何でも勉強したいと思っています。

分野を問わず広くいろいろなことを学んでみたい。部活、サークルでは大学でしかできないものに取り組んでみたい。ひとまず1つのことに偏らずに全体的に手をつけたい。

電子関係をはじめ興味のあるものはいくつかありますが、どれと取り組むべきかはまだわかりません。

自分の夢である半導体、LSI等の勉強に励むのももちろんのこと視野を広げるために、それ以外のこともいろいろ手を伸ばしていきたい。又、するからにはきっちりとやり遂げたい。それから閉鎖的な人間にはならないよう人とのつながりも大事にしていきたい。

勉強をまず第一に、サークルなどの集団活動に取り組みたいです。京都大学で真の学問を求める。

社会生活を営む上で必要な基礎知識と学力を得ることを求めます。又、近年国際化が叫ばれている中で、国際性豊かな人間として成長したいと考えています。京都大学という大きな共同体の一員であることを自覚し、またそのことを誇りに思い勉学やスポーツなどに取り組みたいです。さらに電気関係の専門的な研究によって多くの知識を得、それを社会に役立てることを目標に研究を進めていきたいと自負します。

知識は国境がないものです。日本は小さい国ですけど、たくさん分野が世界をリードします。電気電子はその中の1つです。留学にとって、その研究で有名な京都大学の中で、知識と進歩的な科学技術を身に付けただけでなく、日本人の一生懸命努力の精神も学びたいです。

専門的知識、技術の習得。超伝導について特に詳しく勉強したい。

社会の要望に答え、またそれ以上の器をもつ人物像を求める。主に専門知識の吸収に取り組む。

整備された研究設備を活かし、専門的な分野において満足いく実践を行い、また将来的には実用性の高い分野でその学習を活かせるような研究開発を行いたい。

人の役に立てる研究をし、人に役立つものを開発したいと思います。

これから先ずっとやっていきたい。真剣に打ち込みたいと思えるようなことを探し、それに対し積極的に取り組

みたい。

授業でより高度な情報を身につけ、実習を積極的に受けようと思う。

京都大学の名に負けないような人になり、歴史に名前を残したい。人の暮らしをもっと良くしたい。京大だからこそということ自分で体験したい。

社会人としての一般教養を求めます。自分の特に興味のある研究にとり組みたいです。

真理の探究。

中学、高校時代は特に体力をつけたりすることはなかったが、大学では勉強だけでなく体を鍛えたい。

友人、コンピュータに関する深い知識、博士号を求め、自分の好きな分野の勉強、研究、サークル活動に取り組みたい。

理系科目にも文系科目にも偏ることなく、しっかりと勉強したい。イギリスかアメリカに留学してみたい。資格をなるべくたくさんとりたい。まだ何がやりのかはっきりとは決めてないので、やりたいことを見つけたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

とにかく興味のあるものを、後悔のないように勉強する。

将来の専門知識についてのB群、そして興味のあるA群、そしてC群のフランス語と英語を履修したい。

いろいろあって、目移りしてしまうが、哲学を主として、歴史などを学び価値観、世界観の形成に役立てる。理系だからこそ人文社会科目をよく学んで、研究者として、さらには人間としての資質を磨く必要がある。

職場で、専門分野以外で、他の人と議論できるような分野を学びたい。地域・文化系に興味がある。

社会に出た際に、恥ずかしくないような人間になるための教養。

工学部の専門科目以外の言語や人文系の科目にも力を入れて学びたいと思います。それは将来、職に就いた時に役立つものであり、人間として成長するのに不可欠であると考えようになったからです。もちろん、専門分野も深く学習し、総合的に教育を受けて、学びたいと思います。

暗記をそれほど必要としないもの。

単位をとるのが大変そうなので、最後までできることができるような本当に興味のあるものを見つけ一年受け通そうと思った。

哲学的なことや日本史学など、専門以外の科目や興味のある分野については、時間の許す限り積極的に学びたいと思う。

広い視野を持つために理系に偏らないように、人文科目もまじめに特に地理などに興味があるので、学び続けようと思う。哲学は一度西田哲学に、触れてみようと思う。

英語がかなり苦手なので、実用レベルまでにしたい。

A群は一見不必要なようで、実は必要だとわかったので、しっかりと何をやりたいのか考えて選んでいきたいと思います。

個人的に興味はあるが、独学が困難であろう分野。

哲学、歴史、芸術、文化などの直接工学に関与しない講義にかなり興味が持てた。仕事だけでなく、趣味や人間性の豊かさにもつながる勉強がしたい。

いろんな文化や“人はどうして生きるのか”みたいなことこそ学びたいです。

現在、日本ではグローバル化だといわれているが、僕は日本人として世界に出て行けるよう自分を磨きたい。

哲学、論理学など人間形成に役立ちそうな事を学びたい。具体的なことはまだ考えていない。

数学や理科は授業に遅れないように勤勉を努力するとともに、柔軟に物事を考えられるようにする。

文系のことでは、日本とアメリカの関係の歴史について学びたい。

今までTVなどで興味をもったものなど。

外国語が重要でなさそうなので実は大切な科目であるという気がしたので、外国語とその他専門的な科目を学びたいと思う。

専門的な知識は勿論のこと、歴史なども興味もてるものを受講し、受け身にならず幅広い知識を身につけたい。

私は今まであまりにも理系に偏りすぎていたので、文系科目もできるだけ学ぶようにしたいと思います。大学受験に関係がないからと思って関わらないようにしていた、興味のある事柄について学びたいです。

哲学思想系や行動科学系のを学びたいと思う。

社会科学系を学んで世の中の動きを学びたい。

文化系の科目を中心に学んで、幅広く物事に対応できるような基礎力を身につけたい。

私は理系の学部に入學したが“ A群科目 ”に関心のある科目がたくさんあるのでそちらにも力を入れたい。無理はせずに幅広い学問に首をつっこんでいきたいと思う。

A群の学習を十分したい。高校時代から文系科目が不得意であったが、興味はある。

自分の関わる仕事に直接つながるような科目しか学ばないのではなく、人として生きていく上で必要な事なるべく多く学びたい。

歴史には少し興味があるので、学んでみたい。哲学についても人生において役立つと思うので学んでみたい。

趣味にならなくても自分から頑張っ て学び続けられるものを選びたい。できればおもしろいもの。

専門科目やB群の科目が重要だと思っていたがガイダンスを受け、A群も自分の興味があるものを中心に卒業後にも役立つような講義を受けたい。

元々地理に興味があったので、地理の勉強もしてみたい。

30年、40年経った後にでも自らの知性の糧となるようなこと。

今までとは違った知識を身につけて、おもしろい人間になれるようなこと。

社会人として役にたつこと。視野を広めることができること。

専門につながるものだけでなく、幅広い知識を身に付けられるような学問を学びたい。

イタリア語を熱心に学びたい。英語が好きなのでがんばりたい。

現時点で役に立つかどうかは別として、単に興味を湧く、こういったものがしたいという衝動を基に習得したい。

今すぐには役立たないように見えても大切なことを学びたい。

ガイダンスを受けて、自分が思っていたよりもはるかにしっかりした教育理念や考えをもっていることにより刺激を受けた。今日の話聞いて自分の学問への取り組み方をもう一度しっかり考えていきたいと思う。

大学の勉強は厳しそう。自分が自主的に勉強していかななくてはと思う。

人格の根本に関わる教養を身につけたい。

専門科目の基礎となるものだけでなく、一般社会的な常識を身に付けるための学問、例えば哲学や倫理、憲法に関するものなどを学んでいきたいと思ひます。

国際経済、国際政治、心理学、バイオテクノロジー、ITベンチャービジネス、神経科学、脳科学、技術経営。外国語を普通に話せる程度以上にはしたい。人文系も興味をもったものからしっかり学んでみたい。

5) 情報学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

大学卒業後に役立たせることのできるものを学びたい。特に自分はプログラマーになりたいので、そっち系の知識を特に豊富にしたい。

多岐に渡る高度な教養と技術を身に付け、卒業後それらをフルに活用し、社会とともに自己にも有益なことをやりたい。それが何であるかは在学中に見つけたいと思ひます。またサークルや大学外でも様々な特技などを身につけ、将来プラスになるようにしたい。

ちゃんとした教養と世の中の役に立つような技術を身につけたい。人間の頭で考えても分からないような面白い問題をパソコンを使って解いてみたい。

高いレベルの講義に積極的に取り組み、高水準の知識と創造する力を身に付けて、将来の職業において最前線で活躍できるよう努力したい。

ソフトプログラミングの知識を深めたい。できる限り多くの言葉を習得し、多くの人とのコミュニケーションをとれるようにしたい。

学問の分野においては、認知科学を学びたいと考えており、その為にはできるだけ学際的に学習していきたいと思ひます。またサークル、バイトなどを通して人間的にも成長したいと思ひます。

勉学面では今のところ、人口知能に関する研究をしたいと思ひます。他にも部・サークル活動などにも積極的に取り組みたいと思ひます。今しかできないということもたくさんあると思うので、そういったものもやれそうならばどんどん参加していきたいと思ひます。大学院への進学は当然考えています。

世界に通用する知識と技術を手に入れるため、自分の知らない領域を切り開いていきたい。

社会に出られるだけのそして社会で生きていけるだけの力を得たい。具体的には資格、免許、教養、協調性など。

サークル等の人間関係も含む。それでいて終わった後に楽しかったと思えたら文句なし。希望する進路に進めればなお良し。

まずパソコンなどについての基礎知識を身に付け、自分で色々できるようになりたい。そして、自分の好きな分野を見つけていきたい。1人暮らしも始まるので、サークルやアルバイトにも参加して社会勉強をしていきたい。そして、地元と離れた土地でも交友関係を築いていきたい。

今はどのようなことが学べるか、まだ分かっていないので、自分がそれがわかるようになることの手助けをして欲しい。そして興味深いことを学んでいきたい。

昔からコンピュータが好きだったので、コンピュータや情報、通信に対する理解を深めたいと思います。

様々な人々と出会い、豊かな思考力や視野、人間性を育て学問の面においても、多方面の知識とともに、将来にも繋がるような専門の知識を身に付けたいと思います。

既存の知識を掘り下げ、新たに今まで知らなかった分野の知識を得たい。プログラミング等、IT分野の研究を修めたい。

将来の目標というか、入りたい企業がかなり具体的にあるので、その目標を達成するに足る専門知識 etc を養いたいことが一番です。そのため周りに流されることなく、とった科目の講義は命に別状がない限り全て皆勤し、高い意識を持って、一步一步這い上がっていきたくと思います。

社会に出たときに役立つようなことを学びたい。情報化社会に貢献できるような人間になりたい。

大学での学習を通じて、大学生としての自覚を学びたい。

京都大学で行われている最先端の授業を学びたい。

高校まででは学べなかったような高い専門知識を身につけたいと思いますが、それ以上に知識だけでは解決しない問題に取り組み考える力を養いたいと思っています。

きっちり勉強したい。スポーツもおもいっきりやりたい。

コンピュータ技術を身につける。京大交響楽団での充実した日々。自分の将来の道をより明確にする。アルゴリズムに興味がわきました。

プログラミングが好きなので今まで自分で本を読んだりして知識を得てきましたが、大学でさらに専門的ことも学んでいきたいと思っています。

僕は数学が好きなので高校より進んだ数学を勉強したいです。

情報学とそれに関する学問を中心に幅広い範囲の分野を学習し、社会人としてふさわしい人間性を育むとともに、社会において生活していく上で、十分な収入を得るために職業に向けてという意味で自身の技術・知識を磨く。

「未見の我を発見する」これが私が高校生の時に学校で行われた講演会の題目だったのですが、この言葉を実践したいと思っています。そのために大学の勉学はもちろん、人間関係等を通じて自分の可能性の発見に努めたいと思います。

経営工学を学ぶ。ハングルをマスターして韓国に行く。楽しい大学生活を送る。

自由な学習環境。自分にあったテーマを見つけ、それを研究していきたい。

高いレベルの学習環境。経営・経済に関するシステムの構築。

京都大学にはいって、自分で決めた研究課題を満足いくまで研究しつくしたいと思っています。だから忙しすぎて自分の研究に全く手がまわらない状況にならないようになってほしいです。又、勉強と他のことを両立したいと思っています。

自分の夢を現実的にする手がかりを得たい。

人に役立つことをしたいとかでなくて、目標に向かって燃えていたい。目標が人に役立つ事ならなお良し。頑張っている人が好きだ。心に芯の通っている人が好きだ。そんな人になりたい。大学を何かのきっかけにしたい。

学問とかに限定されずに、もっと大きな枠組みでこれからの目標やきっかけをつかみたい。

初めての一人暮らしで不安が大きいけれど、その中で自立するために様々な知識を大学で学びたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（　：男子、　：女子）

理科系科目は是非ともしっかりと身に付けたいと思いますが、現代の技術社会を作り上げてきた人類の歴史・文化についても理解を深めたいと思います。特に思想・哲学に関心があるのでそのあたりの教養は高めたいと思います。

法律と言語に興味があるので、法律関係の科目、ラテン語を取りたいと思いますが、具体的にはまだ決まってい

ません。

今まで考えたことのない、興味がなかった科目でも、授業を受けてみて面白いと思えるようになればと思う。食わず嫌いでないように選択する授業を考えたい。

経済・経営にも情報学と同様に興味があるので、将来情報学のアプローチによって、それらのことを学びたい。従って、それらの基礎となることを学びたい。

僕は自分の感情推移が分からない。だから、脳と心の移り変わりを科学的見地から調べたいとずっと思っていた。京都大学では授業のとり方の自由やポケット・ゼミ、図書館などたくさんの情報を得る機会・場所があると思う。それを上手く活用し、又研究し、自分の好奇心を満たしていこうと思う。

広く浅くいろいろな系列の授業を受けるべきだとも思うが、興味がなければ続かないという考えの方が強いので、哲学・思想系などの興味があるものにしばってみようと思う。一年目は単位に余裕があればいろいろと興味も広がるだろう。

自分の興味に応じて、又社会に出た後の活動に有益と思われるような科目を履修していきたいと思います。単位数にはこだわらず、様々なものに触れていきたいと思います。

単位を気にせず、本当に自分がやりたいことを学びたい。心理学など前から興味があるし、スポーツ実習もやりたい。

A群を幅ひろく、例えば心理学と歴史学といった感じで、学びたいと思います。又初修外国語を学ぶことで、言語の新しい発見ができればいいなと思います。

時間割にはある程度余裕を持たせて、サークル等自分の時間を十分にもってしっかりと社会勉強をしていきたい。大学の論理的な数学やどのようなものか興味がある。

一般常識というよりも「トリビアの泉」にでてくるような多少マニアックなことを学びたい。

まだA群がどう役立つかは分からないが、今までの人が役立つと言っているなら興味のある心理学か日本史関連のことを学びたい。

役立つかどうかは後の問題として、好奇心の赴くまま学びたい。まずは日本史。

大学だからといって、あまり身構えず、今までと同じスタンスで学んでいきたい。

専門知識を身に付けることは当然として、それを応用する幅を設けることが必要だと思うので、A群科目であろうとしっかり学びたいと思う。

哲学や宗教、美術史など高等教育では学べなかった倫理的なことを学びたい。

自分の興味をもっていることはもちろん、いろいろなことを幅広く学びたいと思います。また大学で学んだことを社会での生活にいかしたいです。

法律及び心理学について学びたい。俺の中では歴史の勉強は無意味となっている。

生涯を通して自分の基礎となるようなこと。

手引きなどを参考にして、自分が工学部であることにとらわれず興味がひかれたものを学びたい。

経済・経営と情報技術の関わり。

自分が興味をもって最後まできちんとやりとげることができると思われるもの。

全科目そうですが、特にB群の科目について基礎を重視し、完璧にしたいと思いました。発展につなげるための基礎的な事項の大切さがガイダンスでよくわかりました。

法律など現在の社会の姿の手がかり。

高校でまじめに勉強しなかった、又は履修しなかった文系科目を一般教養として身につけたいと思います。

6) 工業化学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

化学と生物の知識を学んで、研究する方法も身につけて、将来は産業の最先端の研究者または技術者になるように努力したいと思います。

多くの人と交流し、一生涯付き合っていけるような人物を見つけたい。ハッキリとした将来の展望がもてるよう、興味関心のある分野を見つけたい。

僕は生命工学の分野に興味を持っているので、高校では習わなかったような専門知識を学びたいと思っています。又、部活動の方でもバスケに興味を持っているので、文武両方の面で精一杯努力して頑張っていきたい。

将来、高分子化学に関することを勉強、研究したいと考えている。よって、高分子はもちろん理系科目のやりがいのある環境を求め、その修得をしたいと考えている。

高校までのように、詰め込み学習、暗記学習ばかりさせられていた環境から解放されて、自分の意志で自由に選択し、判断し、思考できる環境で勉学に励みたい。これからは視野を広げ興味のあることにはどんどん挑戦していきたい。

京都大学で科学的、物理的な知識を深め、社会でいかしたい。この大学でピニロンが作られたように、化学分野で研究をしたいとも思っています。まだその知識がどのような形で社会で役立つかわかりませんが、化学や物理が好きなので学びたいです。

化学の有機に関する仕事がしたいということしか自分で決めていないので、まず、自分の進みたい方向をしっかりと決めて、それに関することなら何でもやっていきたいです。

何か打ち込めるものを1つでも見つけたい。内面を磨きたい。教養を身に付け、友人を作りたい。

社会に出てから困らない程度の一般教養と専門的な知識を身につける事を求めている。工学的な面からも地球環境問題に役立つようなことに取り組みたい。

存分に勉強・研究に打ち込める環境と、最高に質の高い講義を求めて入学しました。受験期に化学という教科に興味を持ち始め、中でも高分子化学をもっと専門的にやりたいと思いました。大学ではそれらを含め、もっと幅広くできるだけ楽しく勉強したいと思います。

化学を極めて色々な新しい世界中の人々に物質を作り、ノーベル賞をとりたい。

化学に興味があるので、分野にとらわれずに様々なことを学びたいし、京都大の特色である“最先端の研究”について知り、将来それに携われるような人間になりたい。

京大では KUINP 等の国際協力プログラムが豊富だと聞いている。私は語学、異文化理解に大変興味があるので、積極的に取り組み、第二外国語の学習と合わせて、幅広い視野を身に付けたいと思う。また、一気にレベルアップすることになる自然科学科目についても、しっかり土台を固めて、上回生に移れるようにしたい。

現代の科学の最前線でのどのような事が行われているのかを学びたい。特に、今は生物工学に興味があるので、そのようなことに関して深く学びたいと思う。又、機会があれば物理工学など専門外のことも学びたい。

世の中で役に立つような化学が勉強したい。具体的には新薬の研究がしたい。又、英語が話せるようになりたい。

自分が将来何をやりたいのか知りたい。今は環境化学に少し興味があるので、その辺について学び、また興味が変わったら変わったらで発展させて学んでいきたい。

京都大学は基本的に放任主義の大学だと聞くので、常に自分から学ぶ意思を忘れず、大学にはそれに応えるようなやりがいのある授業を提供して頂きたいと思います。学生の中に最終的には自分にしかできない何かを見つけないかと思うので、工業化学の基礎をしっかりと学び、それを応用できる力を身に付けたいです。

僕は大学で教養、1人暮らし、勉学など将来必要となることや恋愛など一度は体験しておくべきことを求め、欠点の少ない人間になるために必要なことに取り組みたいです。

高校であやふやなままの事を自分の中ではっきりさせ、さらに深く突っ込んだ内容を学びたい。大学では更なる洞察力を身に付けたい。

何か好きな分野をみつけて、一流の専門家になりたい。

将来、化学の知識を生かしたものの作りを通して、環境問題に取り組みたいと思っているので、そのための知識と経験を得たい。京都大学の自由な学風の中で、積極的に勉学に取り組み実験をたくさんしたい。友人をたくさん作りたい。

必要な教科だけでなく、より幅広い知識をつけたい。特に理科はどのような仕事につながるかも考えたい。2、3年先にいりそうになるようなものを考えながら取り組みたい。

数学、数論、化学等の理数系科目の高度な授業を望み、それを修得するだけでなく発展させていくために講義をはじめ実習・実験などに積極的に取り組んでいきたいです。

研究、実験の基礎をかため柔軟な考え方を身に付けたい。大学在学中にできるだけ多くの実験に取り組みたい。将来直面するいろいろな物事に対応できる思考力や視野の広さを身に付け、国際的な分野を学んでいきたい。

将来研究者として働けるよう、高い学力と柔軟な発想力を身につけたい。専門だけでなく幅広い知識を得たい。興味のある分野が自由に研究できるような研究設備と研究の最先端をいく先生方の講義を期待しています。化学の視点から環境問題に取り組みたいです。

将来の自分に役立つような能力を身につけたい。日本だけでなく世界にも通用するような能力を養いたい。将来人生をかけて打ちこむことのできる「研究」と出会いたい。漠然とではあるけれど「勉強」をしたい。生涯をかけて取り組むことのできるものを得たいと思います。その「もの」が何であるかはまだわかりませんが、

とにかく勉強、サークル、バイト等に打ち込むことで糸口をつかみたいです。

最新の研究内容とさまざまな考え方を学びたい。又、自分が将来、進むべき道分野を発見できるよう色々なテーマ、分野を勉強したい。

自分が将来なりたい素材の研究者のための知識と技術を手にいれたい。今まで家にべったりの生活だったので自立したい。

現代の自然科学の最先端を実際に見てみたいし、それに参加したい。専門的には化学を学びたいが物理、生物などと関連して学びたい。

専門的なことの習得は当然として、それ以外にも様々なことをサークルやバイトなどを通して学んでみたい。私は京都大学で、ただ単に知っているという意味での“知識”ではなく、思うように運用できるという意味での知識を身につけたいと思います。

高校の途中までピアニストを志し科学とは無縁の世界で生きてきました。ゆえに科学的要素などが(浪人中科学誌等を読み補いはしましたが)足りないと思っています。京都大学では積極的に知識を広げ、科学者として必要な力を確実に身につけてみたいです。

進路をはっきりと決めていないので大学の授業を受けつつ、決めていきたい。

将来に対するいろんな道を示してくれるような授業を求めます。

化学を極めたい。最終的には金を稼げる人間にならしていただきたい。

将来、化学系の研究職に就きたいと考えていて、そのための基礎をしっかりと身に付けようと工業化学に入った。京大の学風を知り自分に必要なことができると思っている。

質の高さで日本のトップクラスである京都大学において、文理を問わず様々なことについて勉強していきたいと思う。また、周囲の人間との競争においても力を入れたいと思う。

大学に入ると学校側で全て決められていた今までとは違い、自分で自由に選択できる機会が増えるので、自分のしたいこともたくさん出来ると思います。でも当然のことかもしれませんが、私はまず勉強をしたいと思います。高校では学ぶ範囲はとても限られていて本当に一部のことしか学んでいないと聞きました。高校に入学したばかりの頃はどの教科が好きなのかも分かっていなくて文系か理系かさえもわかりませんでした。高校は理数科だったので、実験の授業があり、それで化学が好きになりました。それでもまだ本当に少ししか学んでいないので大学ではもっと深く学びたいと思います。

他の大学には無い選択の自由を求めて入学しました。化学系の教科だけではなく、物理や生物、あるいは全く違う方向性を持つ人文系の学問にも幅広く手を出そうと思っています。化学に関しては今のところ、新しい素材、物質の研究をし、理解を深めたいと考えています。

これから一生付き合っていく友人を作りたい。大人として社会に出ていくのに必要最低限のマナーを身につけたい。化学を中心に専門科目の深い知識を身に付けたい。

将来、分析化学系の職業に就きたいのでそれにつながる内容。

自由に勉強に取り組み自分の興味や関心の赴くままに研究したい。化学分野の最先端の部分や液晶などの普段身近に感じる技術の仕組みを知りたい。

自分の夢の実現に必要なこともそうでないことにも取り組んでいきたい。

高校の段階で自分がひかれた分野を学ぶことができるので、その分野の知識を深めるとともに他の分野についても知りたい。サークルに入ることにより、人間関係を築きたい。

自分の力で生活ができるほど一人前の人間になることを求め、取り組む。

将来の夢である弁理士のために、特許のことなどを特に勉強したい。

自分の学力向上、今までの受験勉強とは違い自分で自分のやりたいことを選択し、専門知識を深めていきたい。多くの素晴らしい教授、友人に出会い、人間的に大きく成長したいと思っています。又、学業にも努め将来国民に大きく貢献できるような人間になりたいです。

知的財産、精神的なゆとり、専門性技術性を求める。有機化学の研究、その他化学の各分野の研究又全般的な教養を身につけ、社会に役立つような人物となるために努力する。化学に限らずあらゆる分野も勉強、研究したい。最先端の研究に触れ、それに対して多角的な視野で見ることができるような講義を期待しています。

自分を成長させるために常にベストを尽くす。忍耐強くなるためになんでもあきらめずに取り組む。化学についてもっと多くを知る。

自分の将来について考える期間にしたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

知的財産問題が注目されている。特許法の授業を受けてみたいと思う。

専門的な分野とは別に将来役立つことを学びたいです。ただし、選ぶ教育は自分が本当に学びたい事だけにして、ただこなすだけの勉強にならないようにします。

自分だけではなく、他人の役に立つ為に必要なことを学びたい。

心理学や法律、金融システムなどA群の科目にも自分が興味のある科目が多いので、そのような科目をどんどん学びたいと思います。

科学的な知識だけでなく、様々な人との関係や触れ合いを学ぶことができる教育を受けたいと思います。

理系・文系に関わらず、現在の国際社会で恥じることのないような語学・地理・歴史など幅広い知識を身に付けたい。

第二外国語をしっかりと学びたいと思います。ゼミがとても面白そうなので、ゼミをできるだけとりたいと思う。

今の自分はずごく視野が狭いと思うので、少しでも自分の世界を広げることができるようなことを学びたい。

先輩の話を聞いて、とにかく楽に単位が取れる科目を選ぼうと思っていたが、教養教育の意味を聞いて、長い目で見て選ぼうと思った。

無駄な科目だと思わずに、将来役立つと思えるような内容をしっかりと習得したい。

率直にいうと今日のお話を聞くまでは、A群の科目はほとんど必要ないのではないかと感じていました。でも、興味がないからなどという理由でいらない科目だと決めてしまうのは間違いだと改めて実感しました。やるからにはどの科目も真剣に取り組みたいです。

文系科目の多くは将来もう学ぶ機会がほとんどないと思うので、その勉強に力をいれたい。又、専門科目の基礎を一回生のうちにしっかりと固めておきたい。

日本人として恥をかかないだけ、日本の歴史を学びたいと思った。

自分の生き方について考える時に少しでも参考になることを学びたい。

授業は絶対にサボらないで単位をちゃんと取り、化学や英語のような自分の好きな科目に積極的に取り組みたい。京都の歴史について学び、実際にその場所へ行ってみたい。

高校の頃から関心のあった哲学、宗教について学びたい。キリスト教とニーチュ、ユダヤ～イスラム教など。

専門科目とは直接関係のなさそうなこと。同じようなことばかりしていたら、飽きてきそうだから。

犯罪が多いこの時代、なぜ人を殺したり、傷つけたり、だましたりする人のそのような行動をする際、そしてそれまでに行き着くまでの心理に大変興味があり、学びたい。

小・中・高を通してずっと好きな日本の近代史についてのことや、高校には無かった哲学なども学びたい。化学では特に有機化学をもっと学びたいと思う。

現代社会で問題となっているようなことを中心に、体系的な学問として詳しく分析していけるようにしたい。

大学を卒業してからの人生に役立てることができるような教養教育を受けたい。

自分にとって未知なる教科にも積極的に取り組み、新たな知識をつける。

現代の環境問題についての授業を受けたい。

社会で生きてゆくのに大いに役立つものを、特定分野に偏らないように学びたい。

「教養を学ぶためではない」や「学問がどんな風になっているのか」という話を聞いて、自分に興味のあるところを学ぼうと思った。今まであまり触れる機会がなかったものに触れてみたい。

前・後期合わせると一年かけて授業を受けることになるので、やはり自分が興味のある事をやりたいと思います。

自分が興味があり、今までは「広く浅く」しか学べなかったものにおける教養をより深いものにしたい。(例えば、脳について ポケット・ゼミ)

A群の中では高校でやらなかった哲学や歴史、経済について学びたい。

環境関係のものか中国、ヨーロッパ史など。

少人数制の充実した、研究・実習の中で自分自身で考え、行動する力。

イタリア語を話せるようになりたい。ポケット・ゼミをとって興味を深めたい。歴史への理解を深めたい。

学問の積上げの教育だけでなく、それに加えて一見関係のなさそうな知識も身につけていきたいと思う。

生きていく上で重要と思われる知識だけでなく、人間性をも豊かにするような知識を学びたい。

自分は理系に進むのでA群はあまりとらなくてもよいのだが、自分の生き方に関わってくるような講義も多いのでできるだけ多くの科目をとりたい。

人類規模での研究の為、理系だからと言って文系科目を疎かにしないようにしたい。社会、政治、哲学と言った分野にも目を向け、広い知識を身につけたいと思います。

大学で学べる専門的な知識はもちろんですが、日本、世界の歴史なども学びたいと思います。

フランス語、交通安全、集中力をつけること。感性を磨くこと。

哲学とか宇宙の起源とか抽象的っぽいこと。あと心理学。

環境問題について物質化学の面から学びたい。物理史、化学史を人や時代背景を中心にみていきたい。

英語をがんばりたい。いろいろな分野を見てみたい。

専門的なもので主にA群のものを早いうちから履修していきたいと思います。そうすることで早い段階で様々な視点から物事を見ることができるようになりたいです。

高校ではうけることのできなかつた歴史・文明系や社会科学系の科目に非常に興味があるので、積極的に取り組んでいきたい。

今は役に立たないからといって学ばないのではなく、広い範囲にわたって学びたい。

ドイツ語をしっかりと学びたい。グローバルな社会で役立てられるように幅広く学びたい。

3回生での実習に向けて、基礎を確実につけたい。

A群科目を重点的に学びたいと思う。また、これからは外国語が必須になるので語学についても積極的に学ぼうと思う。

基礎科目を中心に学び、高校時代に世界史をほとんどやっていないのでやってみたい気もする。

自分の学部とはあまり関係なさそうに見えること(特に経済や文学について)を学んでみたい。

あまり色々なことを知らないなので徐々に知識をつけていきたい。

専門的なことをやる上での基礎を固め、応用力がつくように学びたい。

外界を学ぶ自然科学については今までなじみがあるが、人間の中身を学ぶ哲学や宗教とはなじみがない。これは日本人一般にいえることだと思う。京大で化学を学ぶ者として、こういった人文系について深く学びたいと思う。

語学は苦手だったけど、克服して理解したいです。又、全般的に文字を読むのが好きでなかったのですが、精神的に向上するためにも努力してみようと思います。

とりあえず取れる単位は落さないようにしたい。でも楽な単位をとるのではなく、本当に興味のある授業を受けて、とりあえず卒業単位は絶対取る。

文系の科目であるA群から人間関係等についても学べたらいいと思う。語学を学び、国際的な力を身につけたい。専門の基礎。人文系の概要。

A群には、古典哲学と心理学を勉強したい。B群には化学はもちろん、数学にも力を入れたいです。C群には英語をさらに学ぶ上で、ドイツ語をマスターしたいです。D群には、体をよく鍛えられる運動したいと思います。

農学部 (アンケート提出率 94.2%)

1) 資源生物科学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

まず第一に経験豊富にして、理解力の大きい人間になりたい。その為に勉強にも取り組むと同時に部活やサークルさらに学校外ではアルバイトなどで、様々な人付き合いや社会勉強をしていきたい。勉強では漠然としたことであるが、環境問題特に水質汚染に関することをしたいと思っていて、これからさがす予定である。

21世紀は人口増加による食糧不足、資源の枯渇、また環境破壊など様々な問題を抱えており、今世紀をこれから生きていく我々は、これまでの行動を反省し、これからをどのように改善してゆくかを考えていかなければならない。そういった生物系の学問を学びたくて農学部を志望しました。優秀な人材を多数輩出してきた伝統のあるこの大学で、真にやりたい分野を発見し、それに必要な教養や技術を身につけたいと思います。

多くの授業を積極的にとることにより、幅ひろい知識を得たいと思います。特に生物学を新しく勉強したいです。また、部活やサークルに参加して、いろいろな人と知り合い自分の世界を広げたいと思います。

社会に出たときに自分の力になるものと、そのときもつながっている友だちを求め、ひたすらテニスに組みたい。

未だに知らぬ色々なことを学びたい。心理学、哲学とか、特に求めるものは他にない。あとは専門的な知識を身

につけていき、専門家として生きていくための土台作りに励みたい。

専門的な知識、技術を修得し、将来に役立てたい。色々な経験をし幅広い知識に順応性のある社会人になりたい。色々なことに興味を持ち、できる限りたくさんのことを学びたい。教えていただく先生方には質問しやすい雰囲気でもらえたらうれしい。きれいな環境で学びたい。

バイオテクノロジーについて高校時代からすごく興味があり、実際に大学へ行きより深く学びたいので、京大を目指しました。そして今、京大に合格したので、バイオテクノロジーの第一人者となり、安心して食事ができるような食物をつくることに貢献するという夢を果せるように勉強したいです。

学業に専念することはもちろん、積極的に色々な行事に参加していきたい。外国語を学ぶことを通して、様々な異文化に触れ合いたい。

生涯のしっかりした目標を確立し、その目標へ近づくために必要な力を養いたい。又、学問だけでなく人間関係などでも今まで以上に充実させたい。

広く生物学の知識を身に付けたい。今、特に興味をもっているのは海洋生物学だが、1・2回生の授業を通じて今後意欲的に取り組めるものを探したい。勉強以外の活動も高校ではあまりやらなかったので何か自分に合うものを見つけて取り組みたい。

勉強、部活、サークルなど、大学内にあるものの中で自分の興味の引かかるものには積極的に手を出していきたいと思う。これまで興味を持っていたことについてより深く学んだり体験したりするのはもちろんのこと、これまで敬遠していたことについても、手を出してみたい。そうすることによって、自分の世界が少しでも広がればと思っている。そのための環境は既に求めるまでもなく京大の中に揃っているように思う。

自主的に積極的に学習に取り組んでいきたい。将来は研究職に就きたいと思っていますが、今は研究したり学んでいきたいことがたくさんあるので、大学生活を通して何か自分が一生取り組んで行けるような課題を見つけたいです。

小学校の時以来、理科で習ったことに興味を持ったまま、勉強してきました。京都大学ではもっと深い知識を手に入れたく、またできることなら最先端のところで活躍できるようになりたいと考えています。

自分の視野を広げ、これから社会に順応できる人間になりたい。色々な立場から地球環境について眺めたい。動物学、微生物学に興味がある分野で、そういった勉強をしてこれから先、人間と自然とがどういふふう共存していくのが良いか考えていきたいです。農学部では自分の知らない色々な分野があるので多方面に目を向けて挑戦してみて、自分の専門とする分野を決めたいです。

自分で新しい事を発見し、それを研究し解析し理論付けられるようになりたいと思う。ハンマーオーキッドのように動く植物がいる。そういった植物の能力によって、自由に移動できる植物が可能かどうかを知りたい。動物が光合成できるかどうかを知りたい。大学としては自分で如何に選択し、それに対応し学んでいけるかを試す場であると思う。4年間じっくりあせらず学べればと思う。

学業に関しては、農学及びそれに関する本格的な知識を身に付け、それをできるようにしたい。そのためにも自分が選択した科目を真面目に学習し、かつ自ら進んで実験及び研究などに取り組みたい。又、精神面に関しては物事を様々な面から考察し、偏見や誤解無く理解できるように努めたい。そのためにもできるだけ多くの人々と接し、様々な意見や考え方を知りたい。

僕の好奇心を“こしょこしょ”とくすぐってくれるような出逢い・出来事を期待します。はっきり言って興奮したい。そのためだったら苦労(しんどいこと)にも喜んで取り組みます。又、人の役に立てるような人間になりたい。人間関係を大切にしつつ学んでいきたいと思えます。

昔からあまり他人の世話になりたくないと思ってきましたが、近頃はどうも人間の繋がりからは抜け出せないものだと感じております。とはいえそのような繋がりには煩わしいものではなく豊かなものであります。すなわちその繋がりの中で誰かに支えられつつも自らも誰かの支えとなるということなのです。やはり高等学校を卒業した程度では大したこと、できませんから大学で学び繋がりの中で幾つか貢献できるような人間になりたいです。

今は不景気であるがこの4年間で社会に出て即戦力となれるような人材に育ててほしい。将来何になりたいのか決まっていないので、いろんなことに挑戦して自分の進みたい方向を決めたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

理系の専門分野に進む前にして、語学、人文科学系の科目をやっておきたい。直接には関係なくてもそういった科目の考え方を身に付けることで、物事を多角的に見る能力が養われると思う。

本格的な知識を学ぶためにも、基礎が非常に大事であるという意見には大いに賛成する。だから、基礎を怠らせずに、その積み重ねで本格的な知識が学べるよう努力したい。また、自分は将来海外での活動も視野に入れているので、英語だけでなく第二外国語のほうも力をいれてやりたいと思う。

自分に一番興味を持てるものを見つけたい。

私は元々生物や化学に関心があって、農学部を選んだのですが、中国語や中華思想にも興味をもち始めています。A群の科目には制約がないため、自分の興味が湧くものを選んでいこうと思いました。実社会では役に立たないかもしれませんが、自分を磨くよいチャンスだと思っています。

語学の講義が楽しみです。出来れば高校時代には苦手だった分野もやってみたいと思うのですが、基礎が重要ということで、登録日まで色々悩んでみたいと思います。

様々な価値観を知りたいので、自分が今までにあまり知らなかった分野を学びたい。

最先端科学の論文をそのまま読めるくらいにまで英語を勉強したい。

3回生になったときに専門を学ぶのに、十分な教養を身につけたい。

人文系の授業をたくさん受けて自らも学びたいと思う。

社会に出ても恥ずかしくなく、又、指導的立場に立てるように基礎的知力と専門的知力を兼ね備えることを目的に少人数で対話を重視した授業を学びたいと思う。

断片的ではなく文理総合的に学んでいきたいと思うが、特にこれというものははっきりしない。考える力、判断する力を付けられればと思う。

心理学や法学基礎など文系の基礎も学んでおきたい。理系でも情報関連など工学分野も学びたい。

自分のやりたい職業につながるような内容を学びたい。高校時より深い内容を学びたい。

1つの分野に偏ることなく、様々な分野に取り組み専門分野を研究していく基礎を固めたい。又、外国語には特に力を入れて取り組み、グローバルな視野をつけていきたいと思います。

僕も以前から「専門科目以外の勉強もやるべきだ」という考えを強くもっていたので、ガイダンスを受けて自分の考えが間違いではなかったとうれしくなりました。教養教育のもたらす「目に見えない効果」を信じる僕としては、何事に対しても幅広く積極的に学びたいと思います。

生物系のポケット・ゼミなどを積極的に参加したいと思った

有機を中心とした化学、今までほぼ全く知らない言語である中国語、高校で少し学んだ倫理学などを学びたい。

革命に興味があります。西洋史学を学びたいと思います。

食と環境の問題に直接結びつかないものでも、その背景として生産を行う人間というものを学びたい。

2) 応用生命科学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(: 男子、 : 女子)

生物分野の特に遺伝子などのことについて深く反省し、またそのことに関連した研究に携わって生きたいと思っています。

自分の学科の勉強はもちろんしっかりやりたいけれど、1つのことしか知らないのではなく、他の分野の教養も身につけたい。高校までには実験や自分の興味のあることに対する専門的な勉強はほとんど出来なかったが、大学はそういったこともできるような場だと思っているので、積極的に取り組みたい。

京大の自由でほとんど干渉されることのない環境の中で、自分の好奇心を満たしてくれるものについて、深く学びたいと思います。つまり、英語以外の新しい語学や高校では学ばなかった現代の最先端の生物学を学びたいです。またサークルや授業等を通じ、友人を増やし人間的に成長したいです。

友だちや教授や先輩など、様々な人々との安定した人間関係を深め、学生だからできること、京都大学生だからできることを見つけて積極的に取り組みたい。

わたしは京都大学で「科学と言う道の行き先にあるもの」を求め、それに向かって突き進んでいくのと同時に生命科学の世界を自分達の手で、切り開いていくことに努めていきたいです。

自立した勉強と生活がしたい。勉強も高校での勉強や受験勉強と違った、興味をひかれるものや、自分の好奇心をみたくようなものに取り組みたい。

この道を進むにあたって、充実した設備を求め、いざ何かに取り組むときに支障のないようにしてもらいたい。まだ漠然としたイメージしか持っていないので、これから何に取り組むたいかを探していきたい。

化学系のことをやりたいと考えているので、化学、生物系の知識をできるだけ多く吸収し、卒業後社会にでるとき選択肢を増やしていきたいと思います。

自分はDNAのメチル化について学びたい。DNAのメチル化が原因で、正常遺伝子をもっていながら、正常遺伝子の発現ができない人がいるから。

大学に入ると自分の好きなことに取り組めるので、優秀な教授やその講義を受け、教養を高めていき、将来的には研究者になるために研究を重ねたいです。

人脈を拡大することにより、多様な知識、思想にふれ人生の指針を求めたい。

あらゆる分野において常に最先端の研究を行っている京都大学で高い教養を身に付け、豊かな人間性を育みたい。具体的には、応用生命科学科は生物の世界を化学で解釈すると聞いているので、ぜひ生化学の研究に取り組みたいと思う。

自分の本当にやりたい分野を見つけ、その専門知識を得る。

まず、知識・技術を十分に身に付け、社会で通用し、又世界で貢献できるような人間になりたいと思います。

又、経済的には自立してはいませんが1人暮らしをすることで十分に1人で生活する能力を身に付け、サークルや部活を通して、人間関係をよりよいものとし、活動的になれるよう努力したいと思います。

化学を通して生命の仕組みを理解したい。専門の勉強だけでなく、様々な勉強をして幅広い教養を身につけたい。

知らないことを知る。ほとんどの人が経験しないようなことに取り組みたい。

語学を身に付け、国際交流の活動や留学をしたい。専攻分野の知識を身に付ける。課外活動に参加したい。

これから大学生として、またその先の社会人として持つべき総合的な教養をこの大学で見つけたい。又、自分は院に進学を希望するので専門的な知識も身に付けたい。

人脈を広げる。最終的に生命科学にまつわる創薬に貢献できる研究。

生物学(主に遺伝子やDNA系)の基礎を学び、自分の進路を決める。部活動も活発にやりたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

高校までのいわゆる“五教科”以外にも社会科学、国際関係学や理科系の学問を学んでみたい。

まだはっきり具体的には決められないが、私は理系なので、文学や歴史は全学共通科目でしか学ばないと思うから、そういった科目もとりたい。

現在、国際情勢に興味があるので、世界の動きが理解できるような科目を学びたい。その他いろいろ歴史など学びたいことがあるので楽しみ。

高校ではほとんど学ばなかった歴史等の分野を勉強したいと思う。また外国語、第二外国語を出来る限り自分のものとしたいと思う。

哲学・社会科学・現代社会学などがおもしろそう。歴史の知識が全くないので、敢えて歴史を取るのもいいかと思う。

自分は生化学に興味があるので、是非ともポケット・ゼミの化学系のもものを選択したいと思う。

今まであまり学んでこなかったA群科目やポケット・ゼミに興味湧いてきたので、そのあたりから掘り下げていこうと思う。

この大学ではたくさんのすばらしい講義が用意されているようなので、自分の興味の向くままに教養科目を学びたいと思う。

自分の進みたい専門分野の基礎となるような科目はもちろん、それ以外にも倫理学や社会科学など、多少興味のある科目は学んでみたいと思います。

幅広い知識を得たい。具体的にはまだあまり考えてはいない。

専門分野とは関係もなく、しかも高校時にも縁のなかった分野をしてみたい。

今まで知らなかった人の思想や理科で選択しなかった生物について。

語学の他に、主に生物学をベースにして無理なく登録して学ぶ。

生物に関する知識が不足しているので、とりあえずはその知識を身につけたいと思います。

A群では自分の興味のあることを中心に、B群以下では生物系を中心に考えていきたい。

自分の興味の持てることを真剣に取り組むと思う。

3) 地球環境工学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

現在、問題になっている様々な環境問題を解決していきたい。その為に、高校で学ばなかった生物学を学び、有機的な問題を考えると同時に、物理を用いた環境関係のシステムについて考え、現在どのようなことが一番の解決すべきものなのか、自分はどのようなものに特に興味をもっているのかをハッキリさせ、それに取り組みたい。自分が興味を持っているが高校時代には専門的に学ぶことが出来なかった環境の分野を詳しく学びたい。京都大学は決まりきった規律にとらわれず、昔起きた滝川事件や学生運動がさかんだったことから分かるに、自由の学風があると聞いたので、その学風に乗っ取って学んでいきたいと思えます。今、地球規模で問題となっている環境問題に興味があり私は地球環境工学科に所属しているので、積極的に環境問題に取り組んでいきたいと思えます。

理系の理路整然とした論理を頭の中で築き上げていく力、そしてそれを文章に表す力を身に付けることで理科を楽しみたい。またそれを人に説明できるようになりたい。そのほかに、文系の科目は人間としての深みをもてるように頑張りたい。

知識・教養を身につけることを求め、社会に出て、何をするかをはっきりと決めることに取り組みたい。温暖化や大気汚染などの環境問題をいかにしてこれ以上進めないようにするかということに念頭をおいて、人間と自然との調和・共生を目指す。

良い友人が出来ること、高度の教育が受けられること、社会で生きていくためには何が必要かを教えてくれることを望み、明確に取組むことは決めていないが、なるべく多くのことに取り組みたい。

今はただ与えられたことぐらいいやり返すぐらいにしか考えてない。その上で自分に合った分野が発見でき、それに没頭できたら素晴らしいです。またサークル活動をとおして幅ひろい付き合いをして、将来の礎となるような人間関係をたくさん築きたい。そのために様々なイベント等にも進んで参加していきたいです。

教養を深めるとともに、農学を詳しく学ぶことで、将来の方向性を探りたいので、多様な授業内容に接したい。勉学だけでなく学生生活もクラブ活動などを通して充実させたい。

様々な分野を学ぶことによって視野を広げ、自分が生涯を通じて取り組んでいけるような事を探したいと思えます。部活動などを通じ協調性、率先性を養うことも必要だと思えます。

とりあえず、自分が熱中できることを見つけたい。

生物と環境のかかわりに関して知識を深めて、それを応用した研究をしてみたい。部活、サークル等に積極的に参加したい。大学の施設、設備を最大限に活用したい。机上の勉強だけでなく体を動かす勉強もしたい。

この農学部地域環境工学科において、今問題となっている環境問題を解決するためには、どのようなことをすればよいのかを学び、少しでも環境保全に役立てるような人材になりたい。

土壌改良の技術を身につけたい。国際的な場で人の役に立つ事ができるための技術を身につけたい。様々なことに挑戦し、視野を広げたい。多くの「変人達」と触れ合ってみたい。自分の持っている様々なアイデアを教授のもとで深く研究したい。

興味のあることをトコトン学んでいきたい。又、色々な講義を聞くことで、自分の興味の枠を広げ、幅広く学びたい。

とりあえず、学問っぽいことをやりたい。

楽しみながらも役立つことをする。

科学技術の修得及び先輩、後輩そして教授の方々との人間関係を求め、この2つの調和のとれた人間になるよう取り組みたいです。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思えますか。

A. 以下のとおり (:男子、 :女子)

積極的にならないとだめだと痛感しました。僕は昔から精神科(といっていいいのか分からないが)に興味があり、また最近近代史や法律について無知のままではいけないと思いはじめたので、それらを計画的にこみこみしたい。学びたいことは条件をクリアしたらかなり学べるようなので、自分にとってプラスとなるような人間味が深くなるようなことを学びたい。

芸術関係といった、専門教育とは分野が異なる科目や専門教育で学ぶ内容の補助になるようなものを学びたい。能力・考え方・人間性・価値観を養成する不可欠な過程です。将来発展の礎です。全学共通教育と専門知識は両方重要です。

ポケット・ゼミがおもしろそう。

今回のガイダンスを聞いて、どの授業を受けたいかわからなかったけど、手引きを見つつ、生物に関する授業に出ようと思った。

自分の興味がある環境をしっかりと学ぶために、幅広い分野のものを学んでいきたい。

具体的にはまだはっきりとはしませんが、多角的に自分の知識を深めていくことができるようなものを学びたいと思います。

専門と遠い、あまり関係ないものを学びたいと考えた。漢文とか。

自分の人間性を深め、思考力を養えるような学習をしたいと思います。

自分の目的とは一見遠回りに感じるような学問にあえて挑戦したい。

まだ具体的には決められませんが、自分の能力を伸ばせるようなものを学びたいと思っています。

1つ1つの授業を大切に様々なことを学びたいと考えている。

将来自分が学びたいことを学ぶのに、必要な知識。

自分は農学部で理系であるが、文系科目をとって学ぶことも必要であることが分かったので、語学と共に力を入れて学ぼうと思う。

理系分野だけでなく文系分野も教養として社会科学なども学びたいと思う。主としては自然科学系がいいと思う。

幅広く色々なクラスを取りたい。興味深いクラスも多いので全く新しい事も学びたい。

日本の近代史など少しでも興味のあるものは学びたい。

4) 食料・環境経済学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

自分が何が出来るかを見極めたいです。京都大学では様々な考え方をもった人がたくさんいると聞いているので、その人たちから刺激を受け自分を深めていきたいです。

社会問題を中心に、広く深く勉強したいと思います。研究をするよりは教養を身につけて将来的には新聞記者やライターを目指そうと思います。自由という校風を充分にいかして、出来ることは何にでもチャレンジするこれがとりあえずの4年間の目標です。

アメフト部に入る。勝ちを目指すことを通じて自分をしる。学問もおろそかにしない。自分のほんとうにやりたいことを見つける。

自分の入った学科でどのような内容のことがなされているのか全くわからないので、具体的な事は分からないが、農業経済の分野から食料不足に苦しむ国々の手助けとなるようなことがしたいと思っている。ただ、まだ何も分からないので、これから学んでいく中で目標をハッキリとさせたい。

農産物の市場での流通の仕組みを学び、無農薬の生産物の流通を促進したい。もし出来るならば、一年間に世界人口の3倍近くもの人々を養えるだけの穀物生産がありながら、8億人の人々が飢えているという状況を改善するのに役立ちたい。

私の第一志望は資源生物科学科だった。でも食料・環境経済となった。前の希望通り、生物の生態(海洋生物、昆虫など)がやりたいが、この学科になったことで、発展途上国の農業指導とかにも興味をもつようになった。

1、2年で出来るだけ多くのことに触れてみたい。京大では幅ひろい友人と出会いたい。やっと受験勉強以外のことができるので勉強も頑張る。

教養を身に付けるとともに、専門的な学問に取り組みたいと思います。また、様々な人との交流など、よい人間関係を作りたいです。

様々な科目の勉学に一生懸命励み、将来の夢を実現するための土台を形成したい。それと同時にクラブ活動などの課外活動にも力を入れ、多くの友人と共に楽しみつつ、様々な経験を通して大学生活を充実させたい。

農業経済、国際農村発展論などを学び、将来海外で農業開発に関わることをしたいので、それに役立つようにしたい。

豊富な知識を身に付け、日本や世界における食料問題等について、広い視野をもって取り組んでいきたい。英語

や第二外国語を習得し、国際的に活躍できるようにしたい。

まず広い視野を持ちたいと思います。断片的な情報に惑わされてばかりなので、考えを深めるための知識を得たいと思います。特に、環境問題、食糧問題について深く理解し問題が解決の方向へ向かうにはどうすればよいのか見つけたいと思います。又、生活については乱れることなく、健康でありたいと思います。また、ずっと体を動かすことをしていないので運動もしたいと思います。

生涯にわたる「生きがい」を探し、その後社会に貢献したいです。又、真理を求めたいです。スポーツにも取り組み、文武両道を実践したいです。あと、生涯にわたる親友もみつけないです。

入学前から自給率や環境問題について興味があり、そのことについて関係した仕事につきたいと考えていました。大学では今まで漠然としていた「何を自分ができるか」ということを具体化できるような勉強をしたいです。又、新たな人間関係を築くために色々な課外活動に取り組みようと思っています。

様々な勉強や活動に集中できる環境を求めたいです。有機農業に興味があるので、その方面の勉強がしたいです。それと経済の勉強もしたいです。幅広い勉強をすることで自分の視野が広がればよいなと思います。

高いレベルの農業経営のあり方などについて研究し、将来の日本の農業を支えていく上で重要なことを学びたい。大学卒業後、社会に出て役に立つ人間になれるような教育を求め、高校までではできなかったような新しいこと(はっきり決まっていない)に取り組みたい。

私は京都大学へより良い学習環境、人間としての成長を求めてやってきました。なので、私が求めるのはまさにより良い学習環境、人間として成長できる機会です。そして、自分自身、京大に求めたものを用い、目的を達成していきたいと思います。

幅広い知識が自分に深く浸透し、その状態が普通となるような勉強に取り組みたい。

これまでに抱いていた漠然とした問題意識を明確なものにし、又、自分の視野を広げていきたい。

受け身の勉強ではなく、学問をしたい。

僕は中学の頃から栄養学に興味を持ち始め、学校以外にもそちらの勉強も自分なりにしてきた。そして高校の時に栄養学に関する大学を調べていると他大学もたくさんあったが、どうせ学ぶなら全国でもて又、世界的にも最先端のことが学べる京都大学にした。だから、自分の力で豊富な量のある図書館を利用したり、又、教授と個人的にいろいろ話をし、栄養学の知識を増やしていきたい。

農学について学び、環境問題に関することを専門に扱うような職業につきたい。そのために語学、農学、法律(環境関係)の知識を身に付けたい。積極的に自分の意見を述べられるような自信をつけたい。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

自分の狭い視野にとらわれることなく、多岐にわたる分野で吸収できるものは吸収していきたいと思う。その上で、柔軟な思考力を身に付け、人間性を豊かなものにしていきたい。

一般大衆になじみのある諸問題を、1つ高い視点からみるような科目を積極的にとりたいたいと思います。

学ぶ期間はあまり長くないけれど、第二外国語もしっかり学んで教養の豊かな人間になれるようにしたい。数学と物理学の基礎を特にしっかり学びたい。

ちゃんとした人格形成が出来るような教育を学びたい。

目的を達成するためには、多くのステップを踏まなければならない、その1つとして教養がある。教養教育としては、3・4回、大学院生になって力が発揮できるよう語学「常識」を磨きたい。

実生活につながる勉強をし、そして自分の考え方などを構成するのに役立つような教養を身につけたい。

幅広い知識と考え方をもって、専門につながるような基礎教養教育を学びたい。

まだ選んでいないのでよくわからないけれど、自分の将来進もうとしている道に役立つようなものを選んで学びたい。

専門科目について学ぶ上で、全く不自由がなくなるようにしたい。

生きていく上で役立つこと、哲学、語学、コミュニケーション、基礎となる学問。

A群文系科目を選択する際に、今まであまり触れてこなかったことに関心をもち、積極的に学びたい。語学についても話す、聞くことだけでなく、歴史的背景についても学んでいきたいと思う。

専門知識を身につけるための基盤として多様な分野を学び、又、外国語にも力を入れて外国の文化も学びたい。積極的に広い教養を身につけることに努めたい。

専門分野だけでなく幅広い学問を学びたい。まずは慣れていきたい。

理系だがもともと社会学等に興味があるのでA群科目でその方面の講座を多くとりたいと思っている。

5) 森林科学科

Q.1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり (: 男子、 : 女子)

出来るだけ幅広い知識を身に付け、森林の保護、復元をしたいです。特に熱帯雨林に興味があるので、ぜひ現地へ行ってみたいし、ドイツなどへの留学も希望しています。演習林など実際に山や森の中に入り、生態系とか昆虫、小動物の観察にも取り組みたいと思っています。実際に使える知識を身につけ、それを使えるような人になりたいです。

特に何というものは無い。この大学で起こること全てを糧としたいし、自分の力の及ぶ範囲でなら何ごとにも挑戦したいと思う。時には背伸びをしながら取り組み、いずれ背伸びをしなくてもよくなるように成長したい。いずれにせよ、今から何かに限定してしまうことはしたくない。

森林科学科で森林について学ぶ。そして緑化の新しい方法を考える。目指すのは緑の惑星と世界単位で考えたいので語学の修得。

これからの時代は工より農の方があらゆる局面で大事になっていくと思いますので、その農学である程度の知識を備えておきたいのでその方面のトップの京都にしました。分野としては砂漠に興味がありますが、京大に入ったからには最低限の教養をつけられるようにしたいです。

自分ないものを持っている人が大勢いるように思うのでそういう人と出会い、学びたい。又、将来的に世界に通用するスキルと見識を持った大人になりたいので、そのための基礎作りを固めることの出来る環境を求めている。そういう環境の中で一見無駄であるものを含めて、自分に必要なものを含めて自分に必要なものを極め、取り組みたい。

京都大学には強い志と高い能力を持った人が多く集まると思うので、そういった人の中で自分を試したい。自然科学全般にについての知恵と知識を身に付け、それを総合して環境問題に取り組める人間になりたい。

環境問題に対する知識を深め、その解決のためにはどうすればよいかを学びたいです。また、新しく興味を持ったものにも積極的に取り組み、自分の可能性を広げたいです。

農学部森林科学科への入学動機が、「現在の森林の減少に関して勉強したい」というものなので、そのようなことを勉強したいです。開発される里山の保全や熱帯雨林の減少を止める方法、砂漠の緑地化などについて勉強したいと思っています。また、小さい頃から歴史が好きだったので、1・2回生の全学共通科目に関しては歴史を多く学びたいです。

自分は森というのは人間を含めた動物、植物の源のようなものであると思います。だから、この学科では、人間とあらゆる動植物との共生を考えて取り組みたいです。また、社会学や人間学、工学、理学といったいろいろな学問を学び、広い視野で環境問題に関わる研究をしてみたいと思っています。さらに、人間関係を広げ、国内外の様々な人と出会うことで自分の考え方に何かい影響があればと思うし、又、様々な年代の人と出会い学問だけでなく生きていく上でい関係を持てるようにもしたいです。

野生動物の保護等の仕事ができるようになりたい。自律できるようになりたい。

現在の人間と自然との関わり方には、多くの問題が存在する。以前から僕は環境問題に関心があったが、今は特に森林と人間の関わり方について学びたい。京都大学での学習の中で、森林と人間の関わり方はどのようなべきなのか、現在の状況を改善するには何が必要であるかを知り、将来人間と森林との関係を改善のための活動を僕が行っていく際の礎となるものを身につけていくことが、京都大学入学の抱負である。

充実した学習環境のなかを、森林・自然について深く学び、得られたものをもとにして、人間生活と自然の関わりを追及していきたい。

森林関係のことについて学びたい、特に生態系について興味がある。まだ明確には決まってないので大学の授業を受けながら決めていきたい。

将来、仕事で役立つであろう様々な事や自分とは違った視点での考え方を学び、多種の活動に参加したい。

自分の能力でどのように社会に貢献できるか知りたい。

農業や環境問題でどんな問題が起こっているかを深く理解し、自分の進む方向を考えたいと思っています。

心身ともに大人になる。天才と出会う。森林を増やすプロジェクト。ソーラー電池の low cost 化。

様々な実験施設、実験手段の教授を求め、環境問題についてどのような対策をすればよいか、又、どのような

ことをしていけばよいのかについて取り組みたい。

良き環境の中で心身ともに成長したい。自分の興味ある分野に関して徹底的に深く研究したい。幼い頃から緑が好きなので、森林について、又、木質バイオマスなどについてもたくさん学びたい。

将来海外で活動できるような国際的な力、農学に関する専門的知識。

農協の存在意義、快適さと環境の同居、森林が人間の精神に与える影響等の考察を深めるための知識を得ること。

多様な価値観に触れること。そのための外国語の習得、それとサポートするための音楽技能の維持(音楽は人類共通の言語となり得ると思います)、興味を持ち楽しいと思われる分野を広げること。

Q. 2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

期待した以上に様々な学問が出来る場であり、それらを学んでいくと同時にただ単位を取るだけの勉強にとどまらず、学問としての本質をできる限り追及していきたい。そのためにも教養課程で基礎的学力を身につけようと思う。

語学学習を通して国際人として通用する人間になりたい。自分のあらゆる可能性を広げるために理系・文系に偏らず勉学に取り組みたい。最先端の研究をされている先生に学べることを嬉しく思います。

広く浅く様々な内容、特に専門で学べない他学部の学問。後々何が必要になるのか検討もつかないので、なるべく多様なジャンルを味わってみたいです。

人間がどのように生活範囲を広げてきたかということ。又環境に対する政策学などを学んで、専門学問につなげていきたい。主にA群では人類の生活に関することを学びたい。

今までは進学のため学習が中心だったので、自分が興味を持ち自分を成長させてくれると感じた科目を楽しみながら学んでいきたいと思う。

無理して手を広げすぎないように、1つ1つを確実にしたい。あと、高校で選択しなかった物理をやろうと思う。

自分の人間性を高め、将来自分の進む選択肢が増えるように自分の苦手な分野に関して積極的に学びたい。

理系学生だからこそ文系科目の受講が必要だと思うし、それが可能な教養教育はやはり意義深いものだと思う。

1・2回生のうちにできるだけ柔軟な考え方をA群の科目から得られるように努力したい。

宗教、哲学という高校では触れずらかった分野を学びたい。

理系なので、社会をあまり学ぶ機会がないのでそのあたりも積極的に学びたい。

高度な学問を吸収できるだけの土台をしっかりと作るべきだなと感じました。

自分が学びたい分野、それ以外でも興味のあることを中心に学んでいきたい。どうしても理系として教科は偏るかもしれないけど、出来る限りバランスを取って視野を広げていきたい。授業は内容が自分にとって興味のあるものをとりたい。

心理学等の学部では学べず、自分が興味のあるもの。

歴史に興味があるので、関連する内容の講義から学びたい。

教育のための脳科学、認知科学。

本日のガイダンスのみではとてもイメージがわからないので何とも言えない。今は限定してしまいたくない。柔軟に考えたいと思う。

6) 食品生物科学科

Q. 1. あなたは京都大学で何を求め、どんなことに取り組みたいですか。

A. 以下のとおり(:男子、 :女子)

社会に出てから最先端の研究や開発をしたいと思っているので、大学にはそうできるように授業やサポートをしてもらいたいと思います。また、勉学だけでなく社会人としての勉強もしていきたいと思います。最終的には社会に役立つ研究をしたいと思っています。

新しい出会いを求め自分が一生懸命取り組める何か(まだ具体的に決めていないが、世界の飢餓をすくえるような食品や誰もがおいしいと感じるような食品の製作など)に取り組みたい。

仲間、将来役立つ関係作り。ただ、教えられるだけでなくいろいろなことに自分の視点で取り組みたい。

自分の興味のあることについて、真剣に学び自分の力で様々なことに対応する力を身につけたい。勉学と共に自

分の生活を全て自分で責任をもち、1人の人間として自立したい。

研究施設の充実。少人数での授業。いろんな授業をとりたい。いろんな学問の研究内容に触れてみたい。その中で自分が一番興味のもてたものを集中的に勉強して行ってみたい。

勉強の面では農学の理解を深め「農業」という人が生きていく上で、最も重要な食に関するものを世界中でやっていきたい。そのための「外国語」「農業科目」を特に取り組んでいきたい。勉強以外では「テニス」を極めたい。「テニスをしに大学に行っている」といわれるぐらい頑張りたい。しかし、テニスのせいで学問をおろそかにはしたくない。難しい両立だと思うがやっていきたいと思う。

今まだ将来の夢がない状態なので、大学の4年間で具体的な夢を見つけたい。大学にいる色々な人達の色々な考え方を理解して、物事を色々な切り口から見られるような人になりたい。サークルやバイト活動を通して、出来るだけ多くのことを体験したい。食糧難を解決できるような研究に取り組みたい。

将来、研究職に就きたいと思っているので、研究環境の整っている京都大学で勉強したいと思って入学した。自分に合う専門を見つけるまであらゆる分野で励みたい。

豊富な教授陣、実験設備に惹かれて入学した。農学のみでなく幅広い分野を学び、深い教養を身につけたい。さらに興味のある化学・生物を深く学びたい。

世界が抱えている問題を解決できるように、深い知識と教養を身につけたい。

幅広い知識を修得し、自分の視野を広げたい。又、その知識をいかして社会に何らかの形で貢献できたらいいと思う。

自分が持つ疑問の答えを見つけるために努力し、またそれができる環境というものを望みます。そして広い分野に興味を持つということにも努めたいと思っています。

将来に対して、まだ漠然とした目標しか持っていないので、京大での生活を通して自分の学びたいことと興味のあること熱中できることなどを見つけ将来の目標を明確にしたい。

京都大学の「自由の気風」を大いに活用したいと思います。自分で学習の意欲を出して科目を選択するシステムでは、強制的に学ばせられるよりすくなく学力が身につくと思うし、又、身に付けたいと意欲が出てきます。

3・4回生になったら研究にスムーズに取り組めるように、勉強に励みその傍らでサークル活動などで色々な人に出会い、感化されていきたい。趣味や考えの合う人とも違う人とも交流を深め、自分自身の世界を広げていきたい。今興味があるのはチョコレートの機能性、サークルでは音楽・ダンス系で歌って踊れるボーカルを目指しています。

自分の知らない世界、やったことがないことがあればとりあえず手を出してみてそれから考えるというように、大学でしかできない経験をたくさんしたいと思う。

Q.2. 本日の全学共通教育のガイダンスを受けて、あなたは、教養教育としてどんなことを学びたいと思いますか。

A. 以下のとおり（ :男子、 :女子）

外国語は話すためだけでなく、研究や学習のために学ぶのだということをしっかり頭に入れて学ぶ必要を感じた。行動学、特に人間が恋をするメカニズムなどを知りたい。色々な分野に興味を広げていきたい。また全ての基礎となる数学も手を抜かずに学んでいけたらと思う。

私が学びたいのは、科学系のものが多くあまり選ぶことができないのが少し残念ではあるが、その分指定のものをしっかりやろうと思います。またA群についてはすくなくでも興味を持てるものを選びたいと思います。

あまりにもたくさんの科目があって、迷ってしまう。私は健康科学などに興味があるのでそういったことが中心に選んでみようかと思う。また、高校で生物を学んでいないので、今から学びたい。

少ない科目を奥深く勉強することが重要だということがわかったので、よく考えて無理のない学科選択をしたい。

まだよくわかりませんが、書類をしっかりと読んで、将来役に立ちそうでおもしろそうなものを学びたいと思う。経済学や法律に関することを学びたいと思います。余裕があるなら人間行動学についても学んでみたいです。

学問がおもしろいと思えるくらいまで、学んでみたいと思った。いろいろな国の文化も学びたいと思った。

高校で選択しなかった生物を中心に人文科学系の分野も積極的に学びたい。

今まで関わったこともない分野のほうが多いので、どんなことでも学んでいきたいと思いますが、これから選択した外国語について、その文化なども含めて学びたいです。

外国語の勉強に励んでコミュニケーション力をつけたいと思う。

抜けている教養がないように、幅広く基礎的なものから学びたい。

第二外国語の学習を大切にしたい。外国語を学ぶことで日本語に対するより深い理解が得られることを期待します。

平成16年度新入生アンケート報告書

平成17年3月発行

発行 京都大学高等教育研究開発推進機構

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL 075-753-6513